

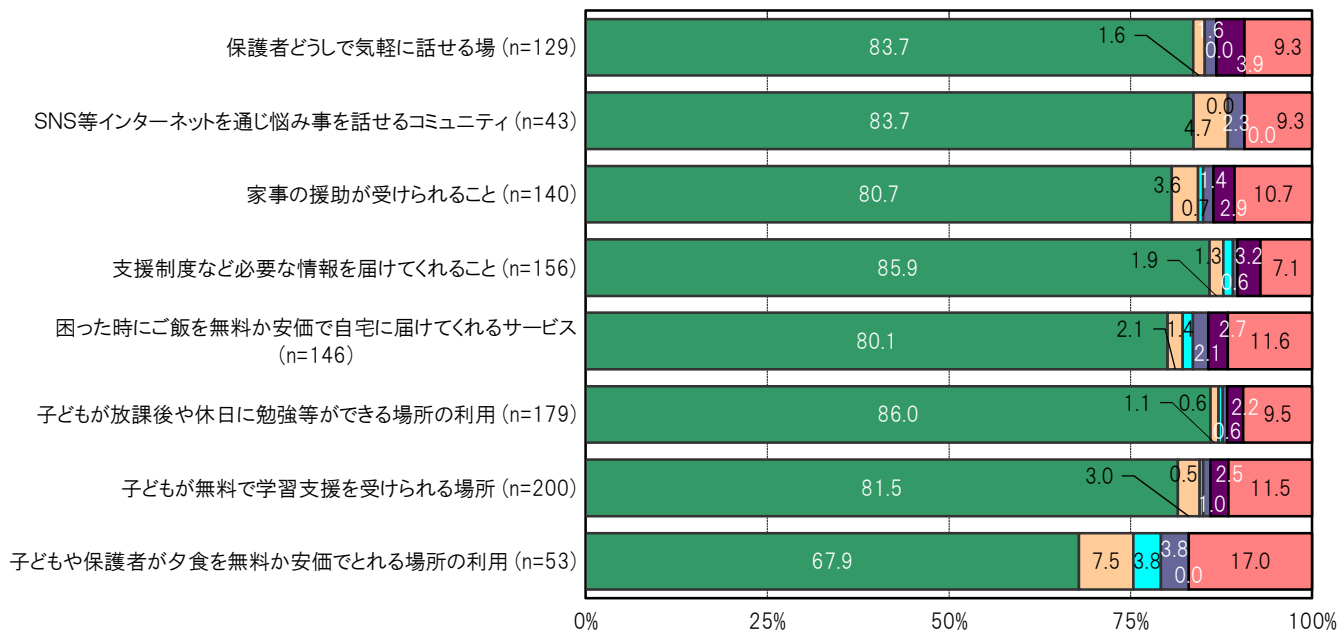
A-201.身近にあると良いと思うもの別にみた支援制度を利用しない理由／ひとり親家庭等就業・自立支援センター〔保護者 問24e〕

大阪市中央区の身近にあると良いと思うもの／困った時にご飯を無料か安価で自宅に届けてくれるサービス群においては、「制度の対象外」80.1%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」2.1%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」1.4%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」2.1%、「それ以外の理由」2.7%となっている。

大阪市中央区の身近にあると良いと思うもの／子どもが無料で学習支援を受けられる場所群においては、「制度の対象外」81.5%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」3.0%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」0.5%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」1.0%、「それ以外の理由」2.5%となっている。

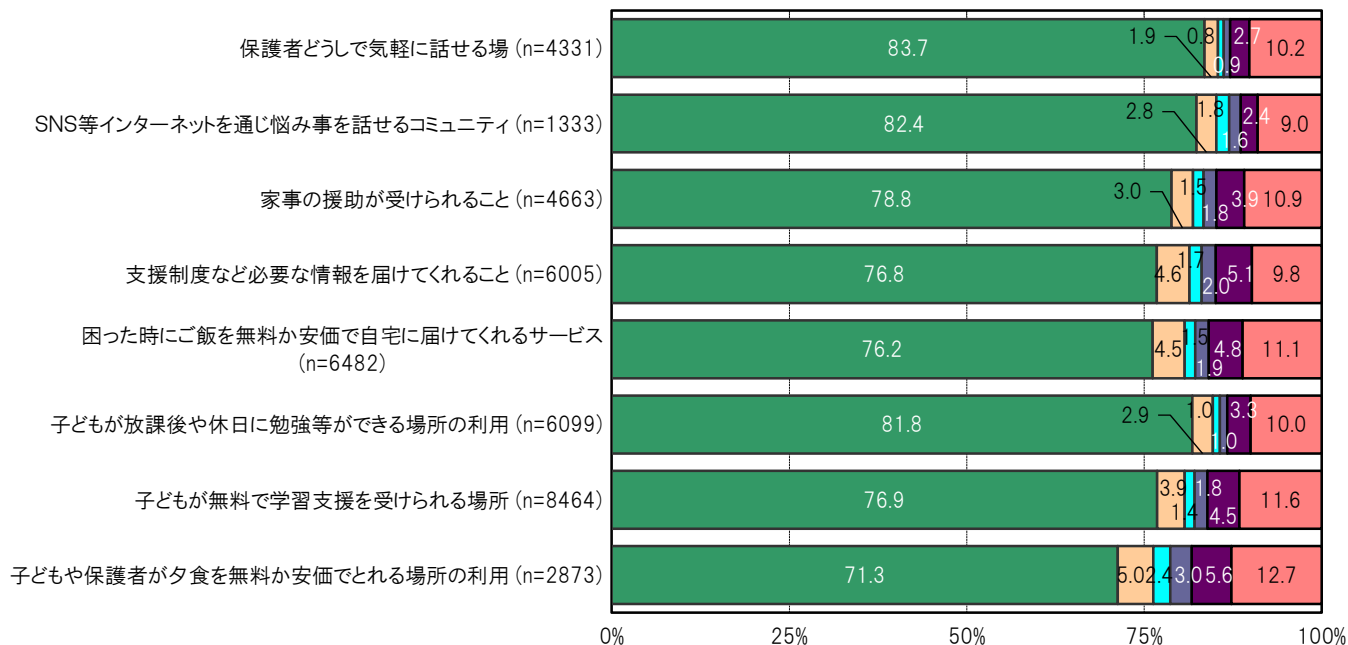
〔大阪市中央区／身近にあると良いと思うもの別〕

- 制度の対象外
- 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
- 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
- 利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから
- それ以外の理由
- 無回答



〔大阪市24区／身近にあると良いと思うもの別〕

- 制度の対象外
- 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
- 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
- 利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから
- それ以外の理由
- 無回答



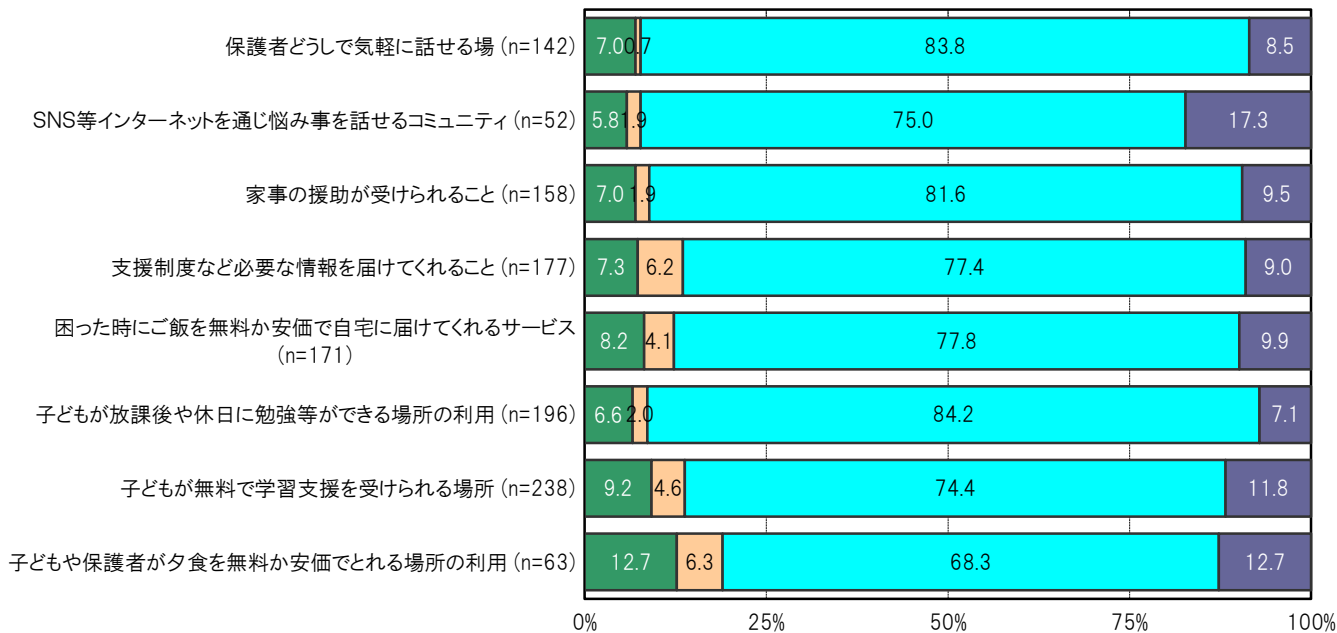
**A-202.身近にあると思うもの別にみた支援制度の利用状況／
低所得世帯への世帯生活支援特別給付金〔保護者 問24f〕**

大阪市中央区の身近にあると思うもの／困った時にご飯を無料か安価で自宅に届けてくれるサービス群においては、「現在利用している」8.2%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」4.1%、「利用したことがない」77.8%、となっている。

大阪市中央区の身近にあると思うもの／子どもが無料で学習支援を受けられる場所群においては、「現在利用している」9.2%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」4.6%、「利用したことがない」74.4%、となっている。

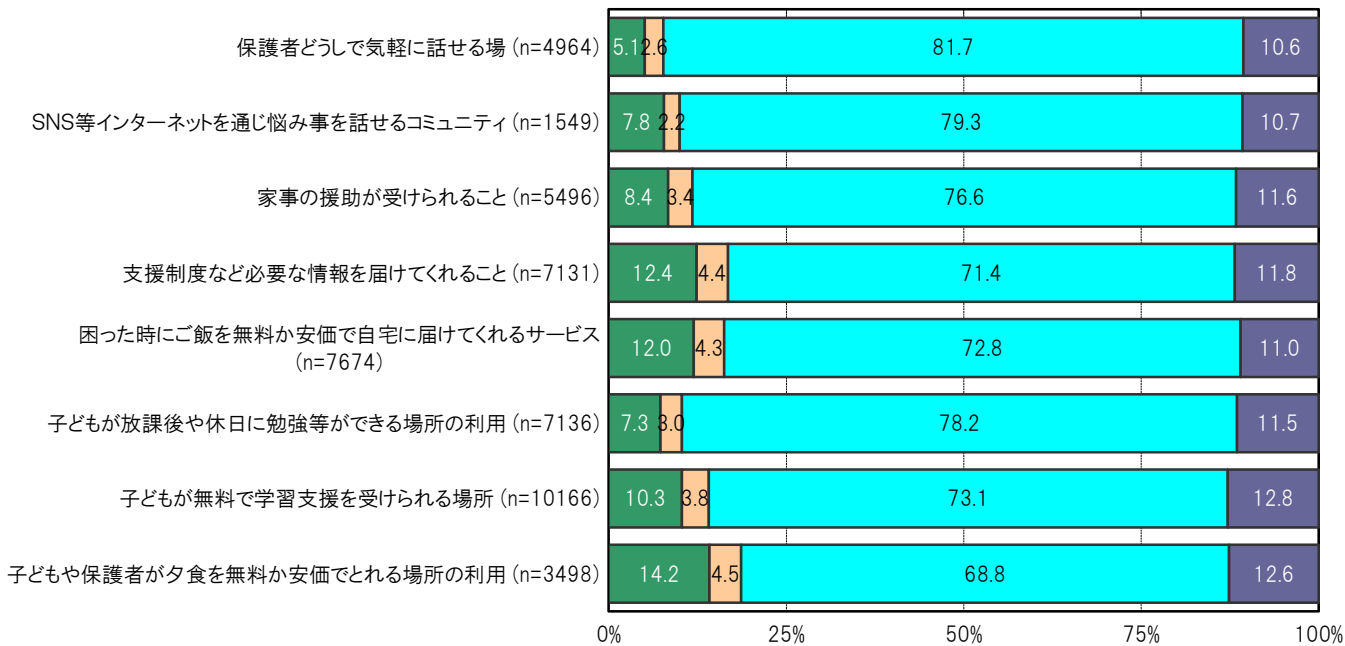
〔大阪市中央区／身近にあると思うもの別〕

■現在利用している ■現在利用していないが、以前利用したことがある ■利用したことがない ■無回答



〔大阪市24区／身近にあると思うもの別〕

■現在利用している ■現在利用していないが、以前利用したことがある ■利用したことがない ■無回答



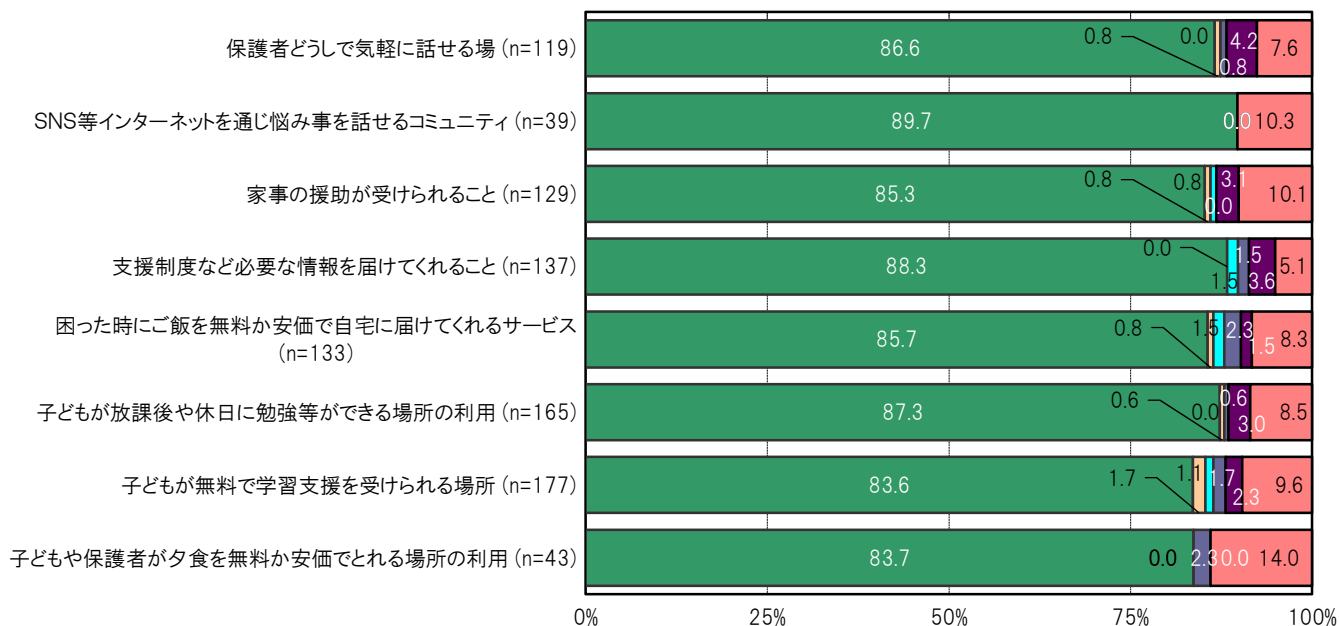
**A-203.身近にあると思うもの別にみた支援制度を利用しない理由／
低所得世帯への世帯生活支援特別給付金〔保護者 問24f〕**

大阪市中央区の身近にあると思うもの／困った時にご飯を無料か安価で自宅に届けてくれるサービス群においては、「制度の対象外」85.7%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」0.8%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」1.5%、「利用したいが、手順がわからなかったり、利用しにくいから」2.3%、「それ以外の理由」1.5%となっている。

大阪市中央区の身近にあると思うもの／子どもが無料で学習支援を受けられる場所群においては、「制度の対象外」83.6%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」1.7%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」1.1%、「利用したいが、手順がわからなかったり、利用しにくいから」1.7%、「それ以外の理由」2.3%となっている。

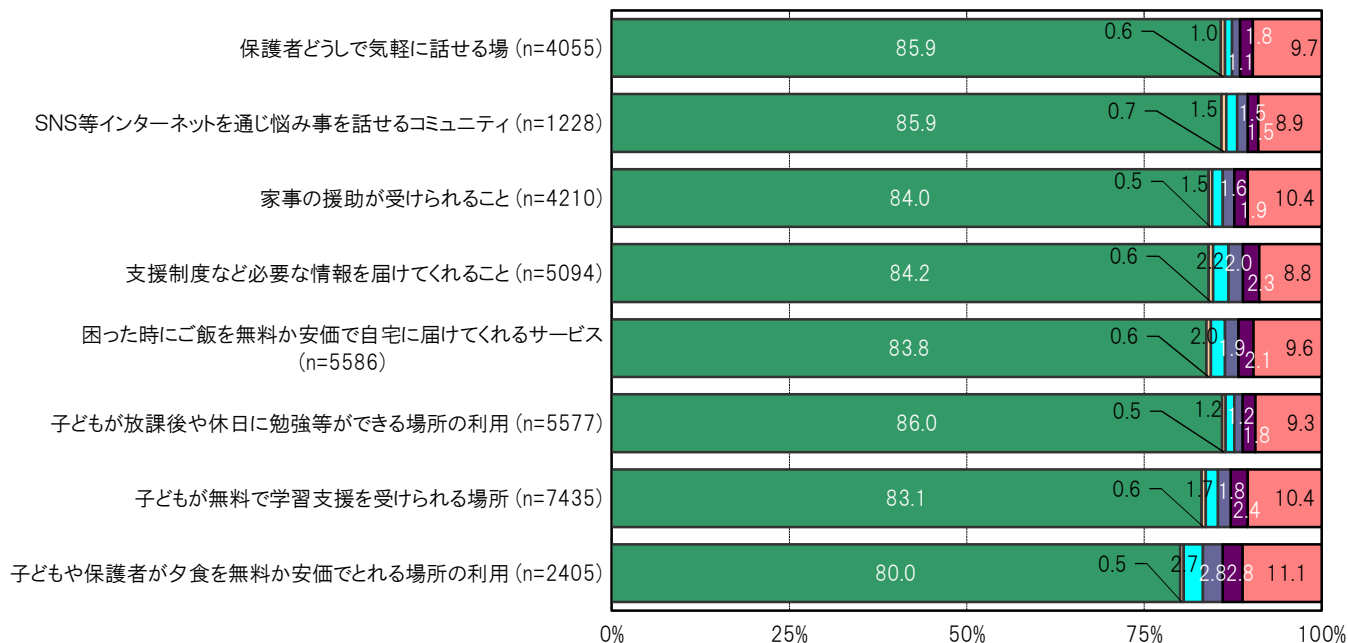
〔大阪市中央区／身近にあると思うもの別〕

- 制度の対象外
- 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
- 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
- 利用したいが、手順がわからなかったり、利用しにくいから
- それ以外の理由
- 無回答



〔大阪市24区／身近にあると思うもの別〕

- 制度の対象外
- 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
- 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
- 利用したいが、手順がわからなかったり、利用しにくいから
- それ以外の理由
- 無回答



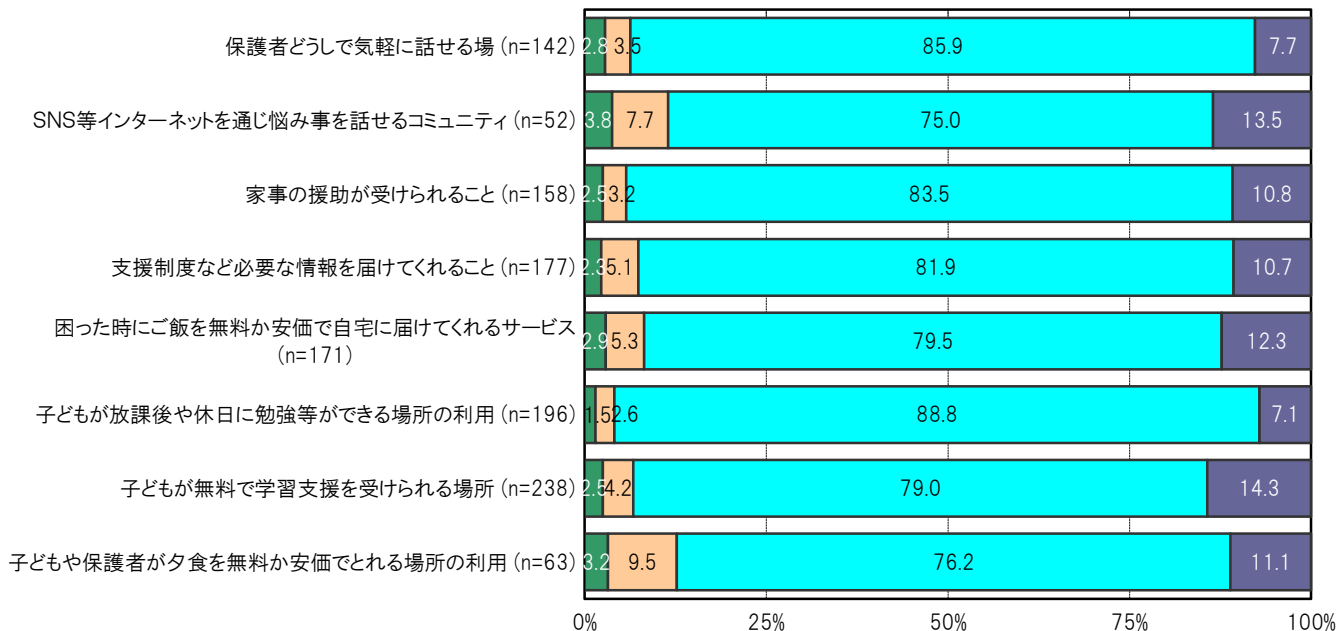
**A-204.身近にあると良いと思うもの別にみた支援制度の利用状況／
新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金【保護者 問24g】**

大阪市中央区の身近にあると良いと思うもの／困った時にご飯を無料か安価で自宅に届けてくれるサービス群においては、「現在利用している」2.9%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」5.3%、「利用したことがない」79.5%、となっている。

大阪市中央区の身近にあると良いと思うもの／子どもが無料で学習支援を受けられる場所群においては、「現在利用している」2.5%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」4.2%、「利用したことがない」79.0%、となっている。

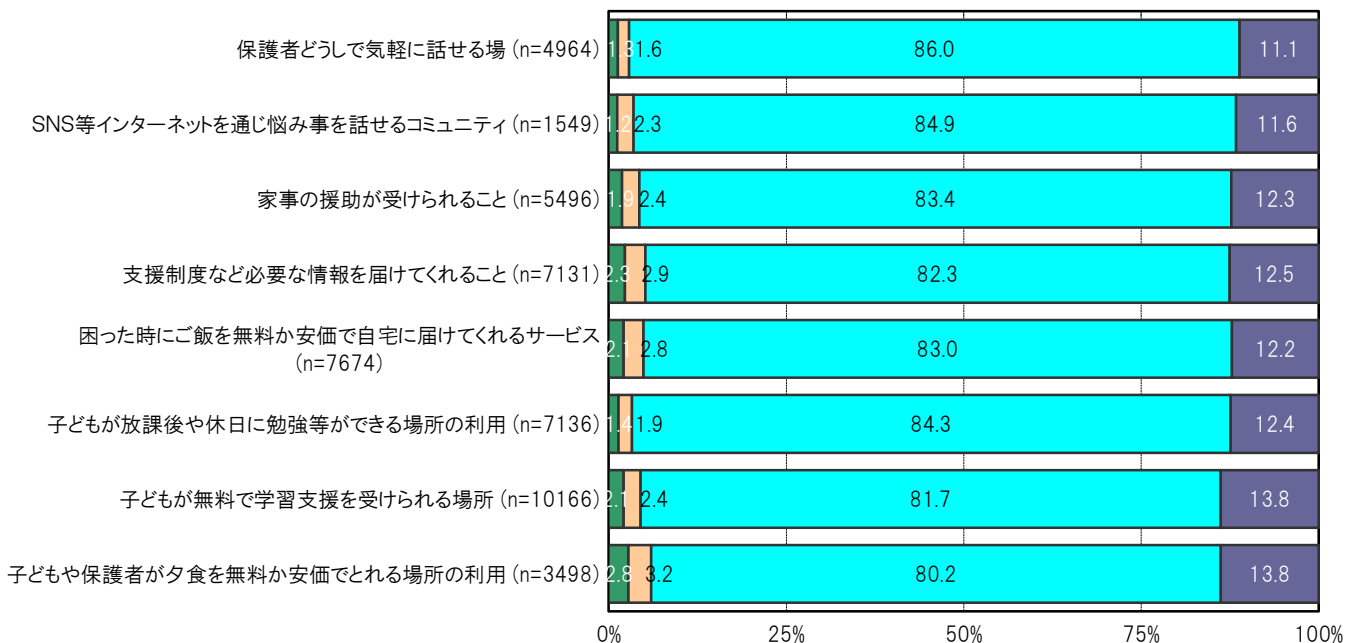
〔大阪市中央区／身近にあると良いと思うもの別〕

■現在利用している ■現在利用していないが、以前利用したことがある ■利用したことがない ■無回答



〔大阪市24区／身近にあると良いと思うもの別〕

■現在利用している ■現在利用していないが、以前利用したことがある ■利用したことがない ■無回答



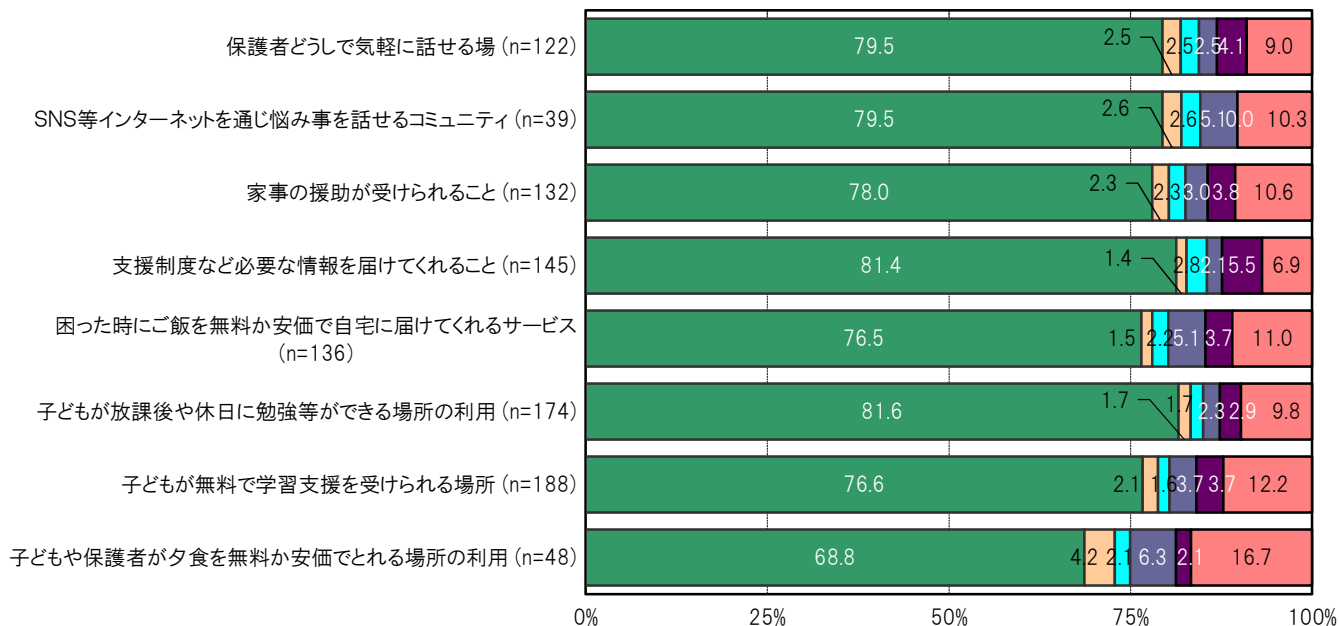
**A-205.身近にあると良いと思うもの別にみた支援制度を利用しない理由／
新型コロナウイルスに伴う生活福祉資金【保護者 問24g】**

大阪市中央区の身近にあると良いと思うもの／困った時にご飯を無料か安価で自宅に届けてくれるサービス群においては、「制度の対象外」76.5%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」1.5%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」2.2%、「利用したいが、手順がわからなかったり、利用しにくいから」5.1%、「それ以外の理由」3.7%となっている。

大阪市中央区の身近にあると良いと思うもの／子どもが無料で学習支援を受けられる場所群においては、「制度の対象外」76.6%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」2.1%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」1.6%、「利用したいが、手順がわからなかったり、利用しにくいから」3.7%、「それ以外の理由」3.7%となっている。

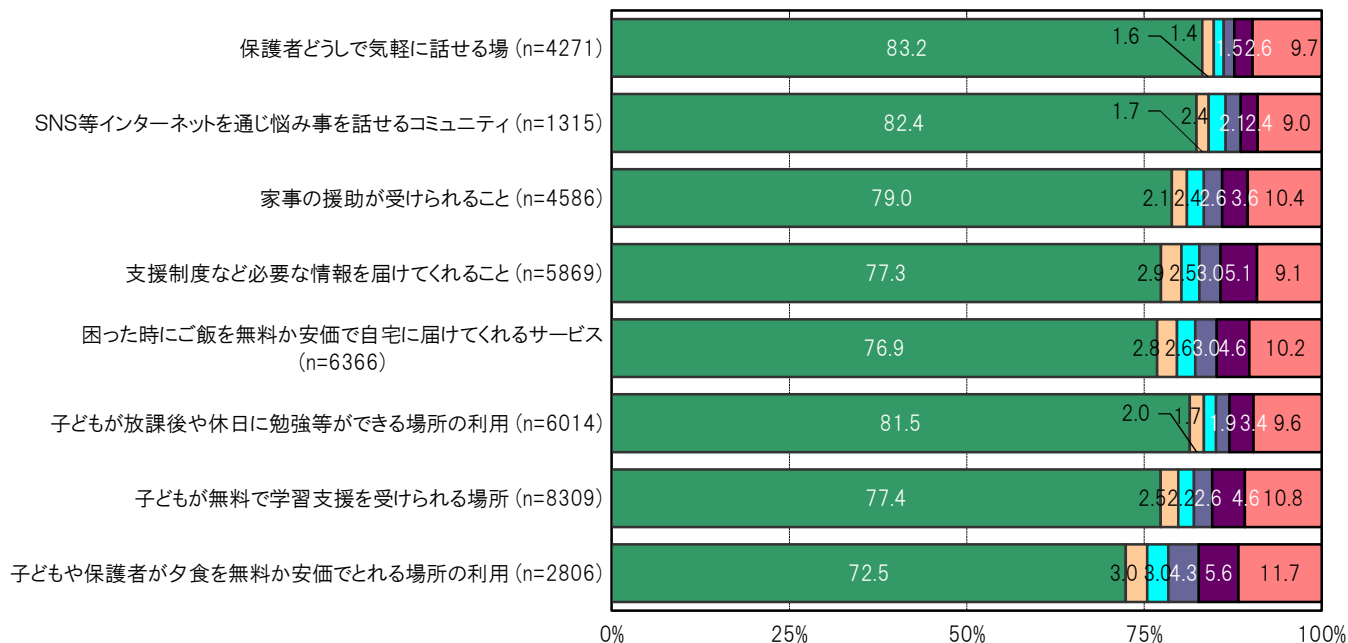
〔大阪市中央区／身近にあると良いと思うもの別〕

- 制度の対象外
- 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
- 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
- 利用したいが、手順がわからなかったり、利用しにくいから
- それ以外の理由
- 無回答



〔大阪市24区／身近にあると良いと思うもの別〕

- 制度の対象外
- 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
- 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
- 利用したいが、手順がわからなかったり、利用しにくいから
- それ以外の理由
- 無回答



〔家庭状況(制度等)に関する考察〕

就学援助の利用状況については、全体で、「現在利用している」が8.8%となっている。困窮度Ⅰでは、40.9%、困窮度Ⅱでは、9.1%を占めている。次にひとり親世帯を対象とする児童扶養手当の利用状況は、全体で48.6%、困窮度Ⅰで73.1%、困窮度Ⅱで50.0%となっている。生活保護制度の利用状況は、全体で0.8%と低水準にとどまっている。困窮度Ⅰでは、3.4%となっている。今回調査の回答者から一定層の貧困層が漏れ落ちている可能性についても留意しておく必要がある。生活保護の利用状況が1%を下回る低さであることに加え、就学援助と児童扶養手当は5割に満たない利用状況であることから、社会保障制度に関する情報の周知の仕方やタイミングを工夫したり、手続きを簡素化したりなど、捕捉率を上げるための施策の改善が必要である。支援者が貧困に関わる支援ニーズを把握できた時点で、部局間や関係者間で情報を共有したり、相談窓口につなげるために同行支援したりなど、多機関・多職種による協働体制による支援が求められている。

ひとり親世帯について、特に母子世帯に着目すると、養育費の「取り決めをしており、受け取っている」世帯は、全体で39.5%にとどまっている。「取り決めをしておらず、受け取っていない」と回答した割合は、困窮度Ⅰで29.4%となっている。「取り決めをしているが、受け取っていない」と回答した割合は、困窮度Ⅰで23.5%、困窮度Ⅱで66.7%となっている。養育費を受けとっていない母親は経済的余裕のなさだけでなく、精神的・身体的な負担を抱えて生活を送っていることから、地域で孤立する可能性がある。養育費の確保のみならず、経済的支援・子育て支援等の様々な社会サービスにつながるための支援体制が必要である。

初めて親となった年齢と最終学歴について、特に母親に着目すると、「10代」で高等学校中途退学が75.0%と、他の年齢階層に比べて高くなっている。10代の母親の心身の健康状態の変化に配慮した子育て支援や、学修の継続や学び直しが可能な支援体制の充実が求められる。

住宅形態別に家計の状況をみると、全体で「赤字である」と回答した割合は、14.3%、「赤字でも黒字でもない」と回答した割合は、26.3%である。今回調査の回答者から一定層の貧困層が漏れ落ちている可能性への留意が必要であるが、「府営・市営の住宅」において「赤字である」と回答した者の割合が60.0%となっており、他の住宅形態と比べて高くなっている。同様に、府営・市営の住宅については「子どもの将来のための貯蓄状況」についても「貯蓄をしたいが、できていない」と回答した者の割合が40.0%と、他の住宅形態と比べて高くなっており、経済的に余裕がない状況がうかがえる。家賃負担が生活費を圧迫しないよう、家賃減免や子育て世帯を対象とした住居提供など生活支援の施策が求められる。

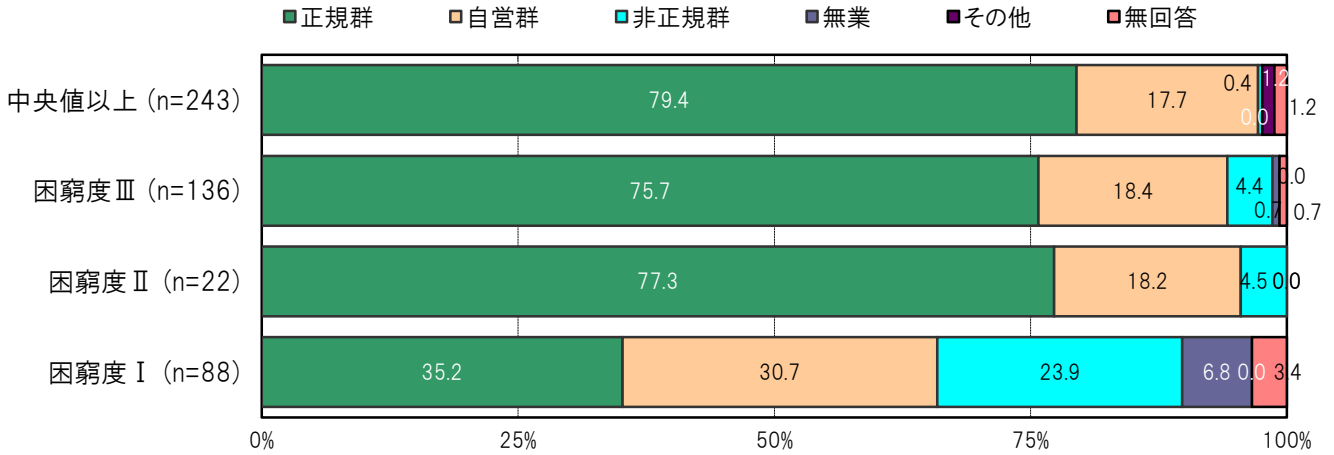
3-3.雇用

A-206.困窮度別にみた就労状況【保護者 就労状況】

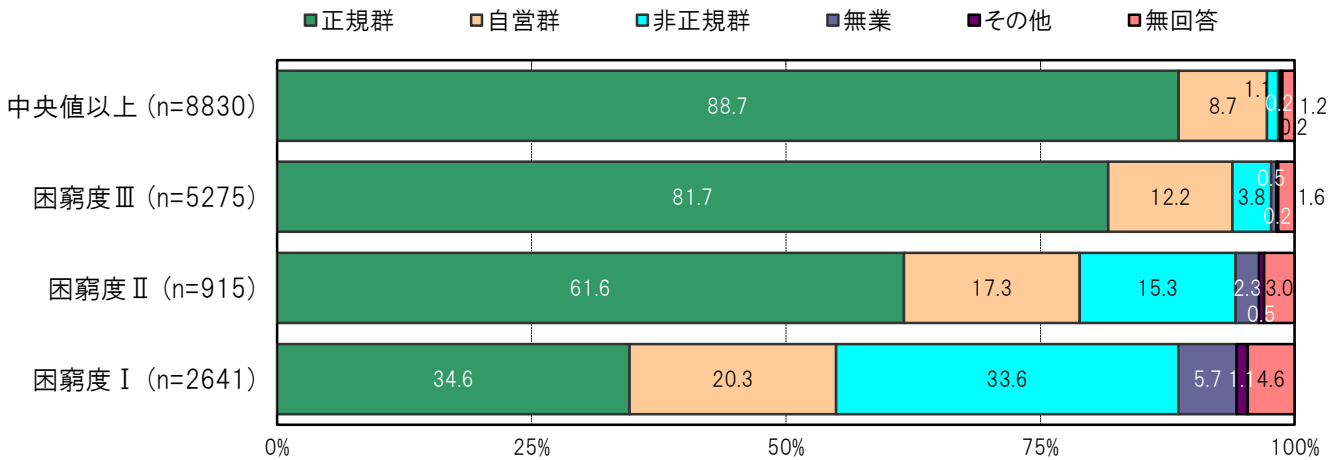
大阪市中央区の困窮度Ⅰ群においては、「正規群」35.2%、「自営群」30.7%、「非正規群」23.9%、「無業」6.8%、「その他」0.0%となっている。

大阪市中央区の中央値以上群においては、「正規群」79.4%、「自営群」17.7%、「非正規群」0.4%、「無業」0.0%、「その他」1.2%となっている。

〔大阪市中央区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

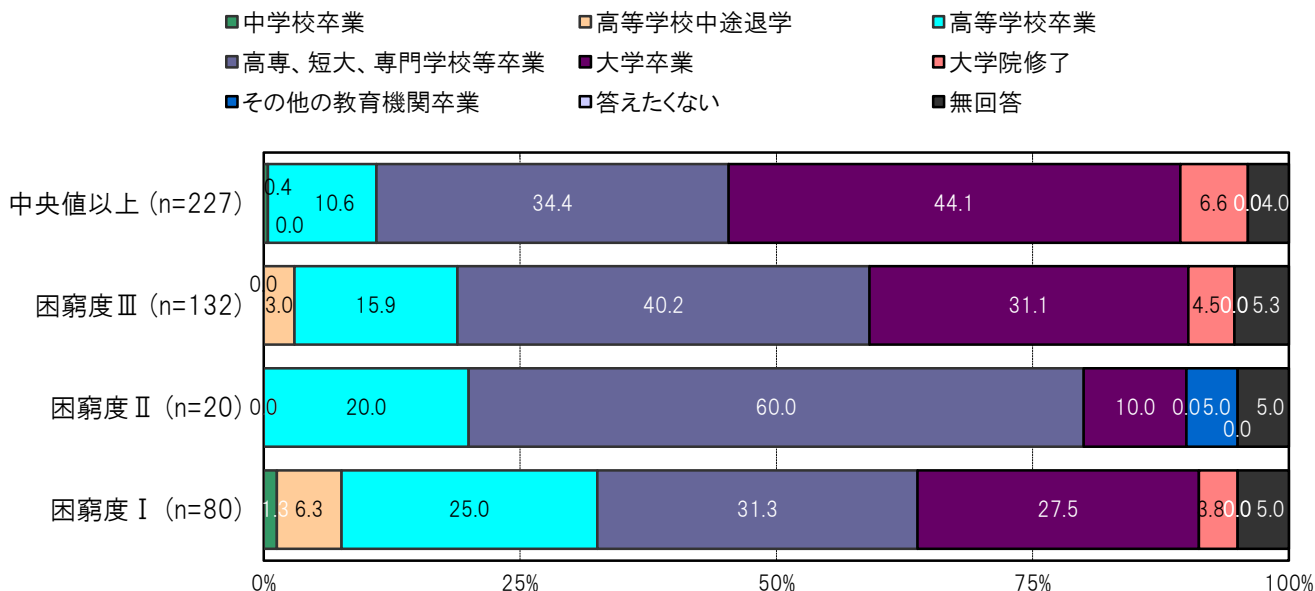


A-207. 困窮度別にみた母親の最終学歴【保護者 問9】

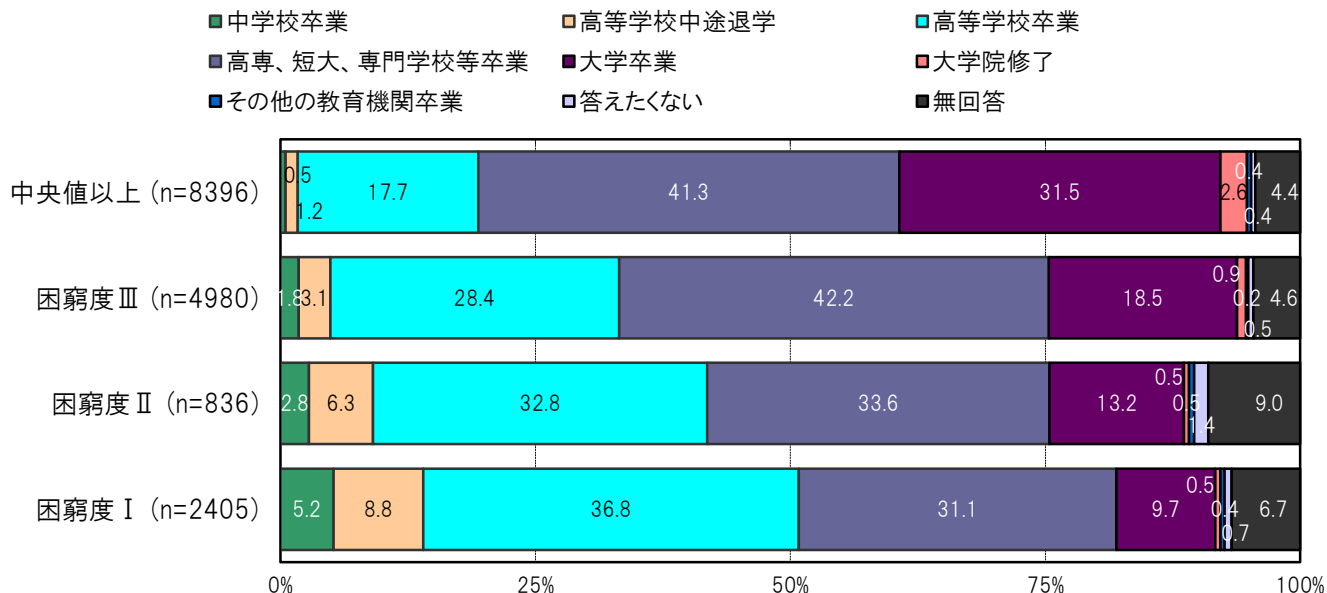
大阪市中央区の困窮度Ⅰ群においては、「中学校卒業」1.3%、「高等学校中途退学」6.3%、「高等学校卒業」25.0%、「高専、短大、専門学校等卒業」31.3%、「大学卒業」27.5%、「大学院修了」3.8%、「その他の教育機関卒業」0.0%、「答えたくない」0.0%となっている。

大阪市中央区の中央値以上群においては、「中学校卒業」0.4%、「高等学校中途退学」0.0%、「高等学校卒業」10.6%、「高専、短大、専門学校等卒業」34.4%、「大学卒業」44.1%、「大学院修了」6.6%、「その他の教育機関卒業」0.0%、「答えたくない」0.0%となっている。

〔大阪市中央区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

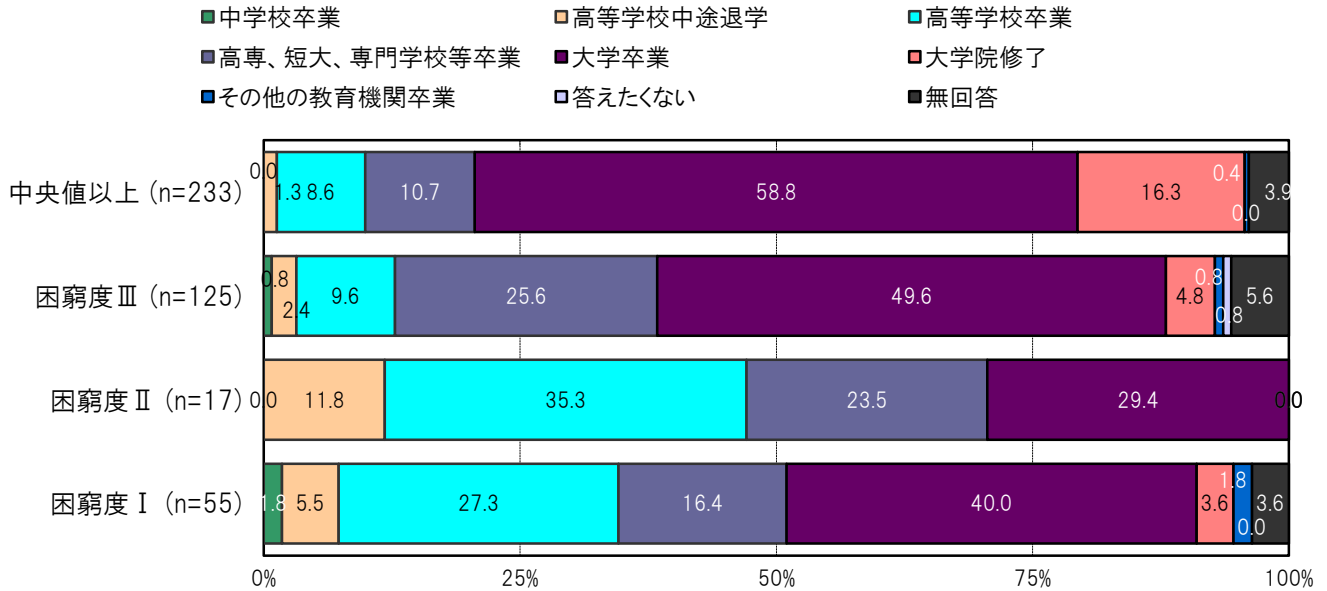


A-208. 困窮度別にみた父親の最終学歴【保護者 問9】

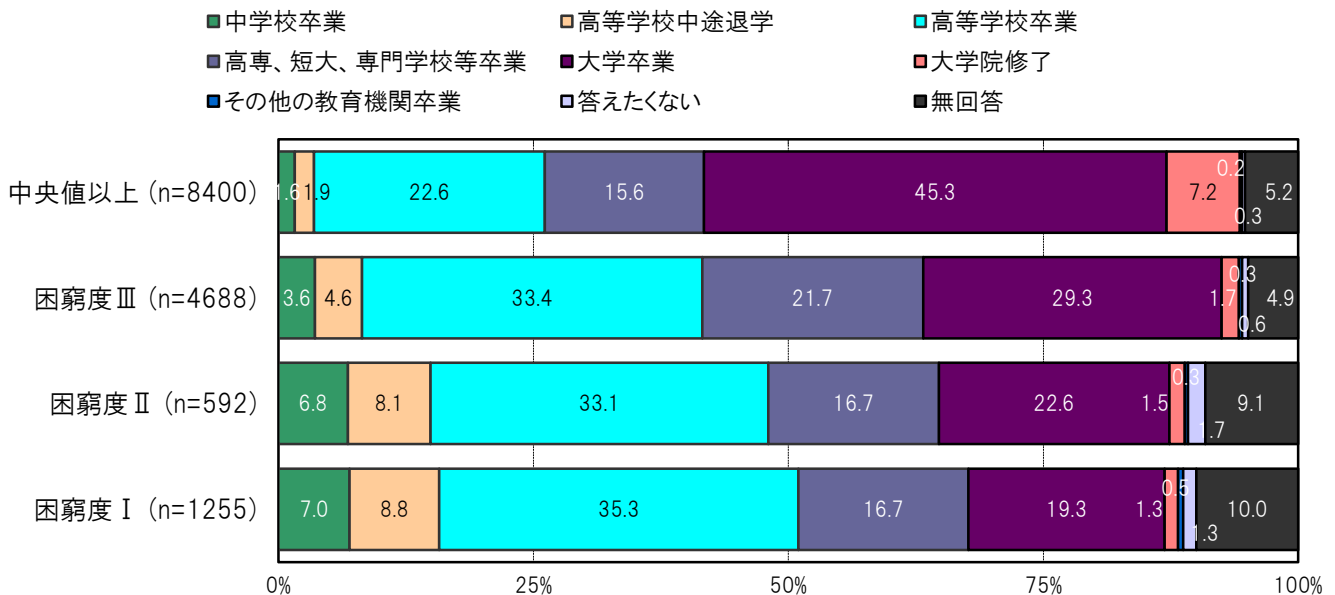
大阪市中央区の困窮度Ⅰ群においては、「中学校卒業」1.8%、「高等学校中途退学」5.5%、「高等学校卒業」27.3%、「高専、短大、専門学校等卒業」16.4%、「大学卒業」40.0%、「大学院修了」3.6%、「その他の教育機関卒業」1.8%、「答えたくない」0.0%となっている。

大阪市中央区の中央値以上群においては、「中学校卒業」0.0%、「高等学校中途退学」1.3%、「高等学校卒業」8.6%、「高専、短大、専門学校等卒業」10.7%、「大学卒業」58.8%、「大学院修了」16.3%、「その他の教育機関卒業」0.4%、「答えたくない」0.0%となっている。

〔大阪市中央区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

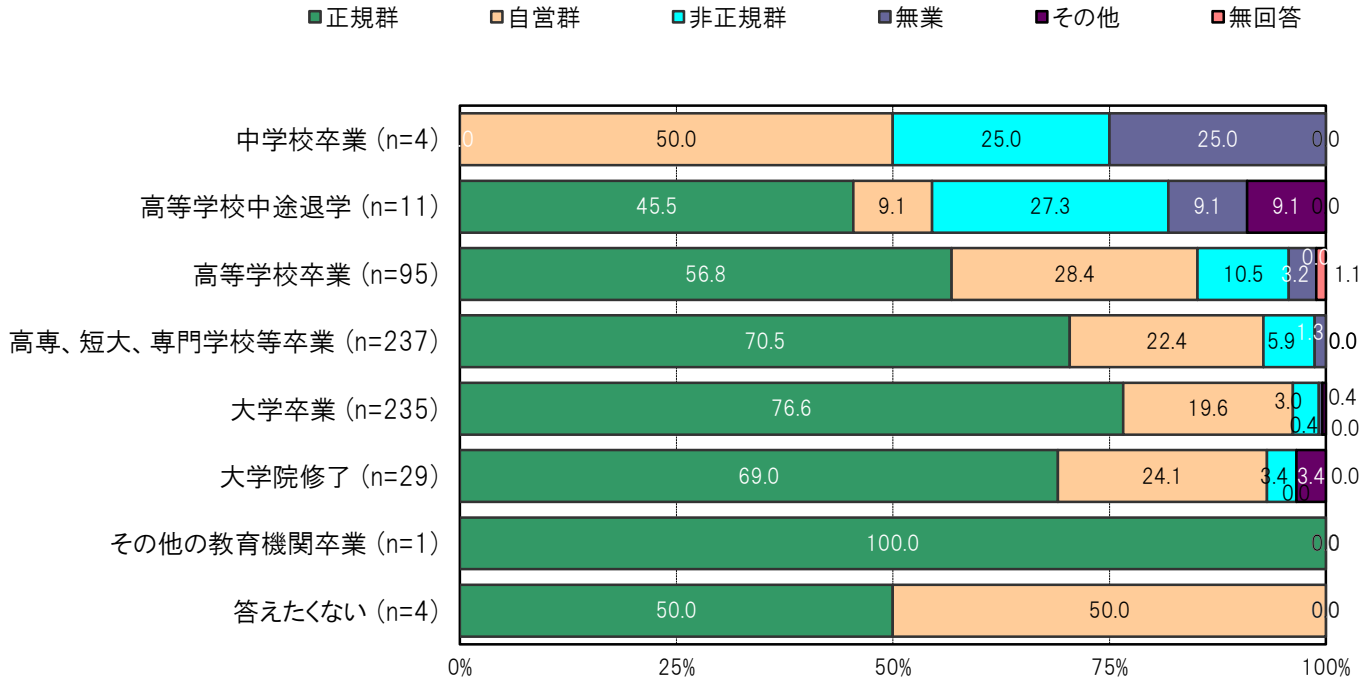


A-209.母親の最終学歴別に見た就労状況〔保護者 就労状況〕

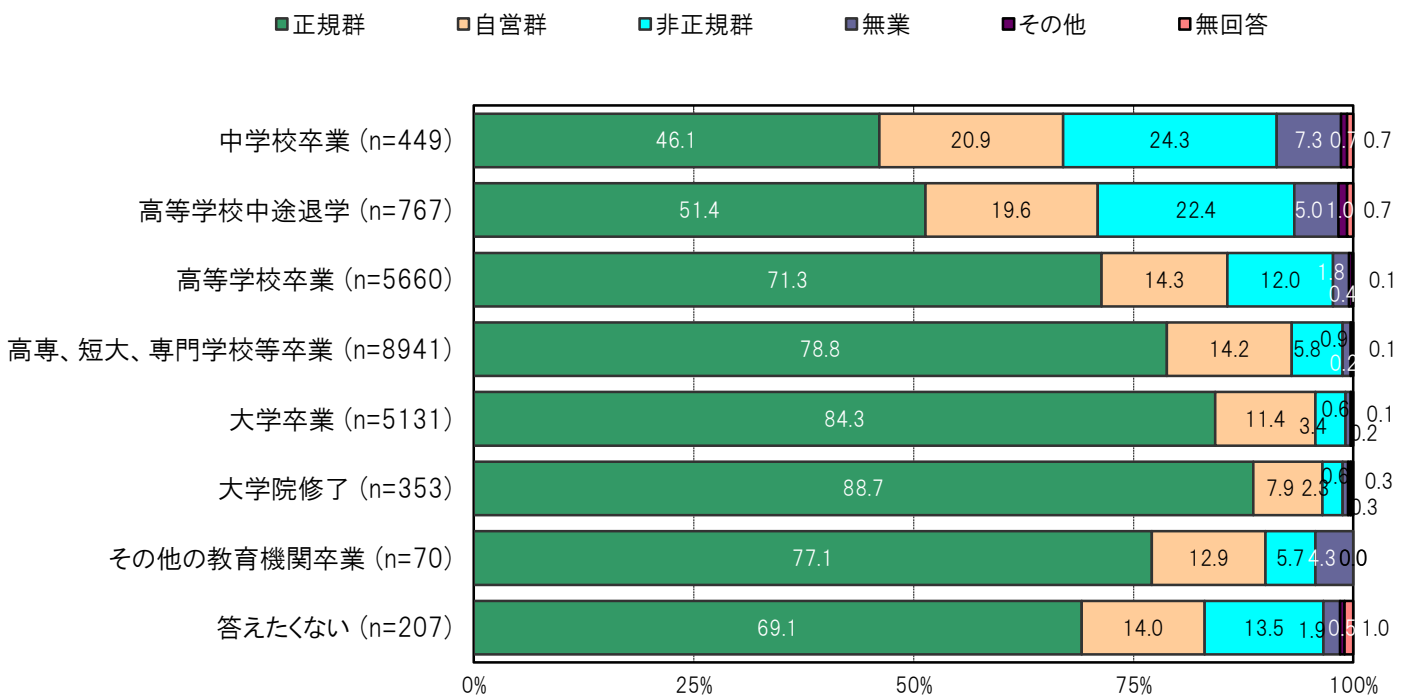
大阪市中央区の母親の最終学歴／高専、短大、専門学校等卒業群においては、「正規群」70.5%、「自営群」22.4%、「非正規群」5.9%、「無業」1.3%、「その他」0.0%となっている。

大阪市中央区の母親の最終学歴／大学卒業群においては、「正規群」76.6%、「自営群」19.6%、「非正規群」3.0%、「無業」0.4%、「その他」0.4%となっている。

〔大阪市中央区／母親の最終学歴別〕



〔大阪市24区／母親の最終学歴別〕

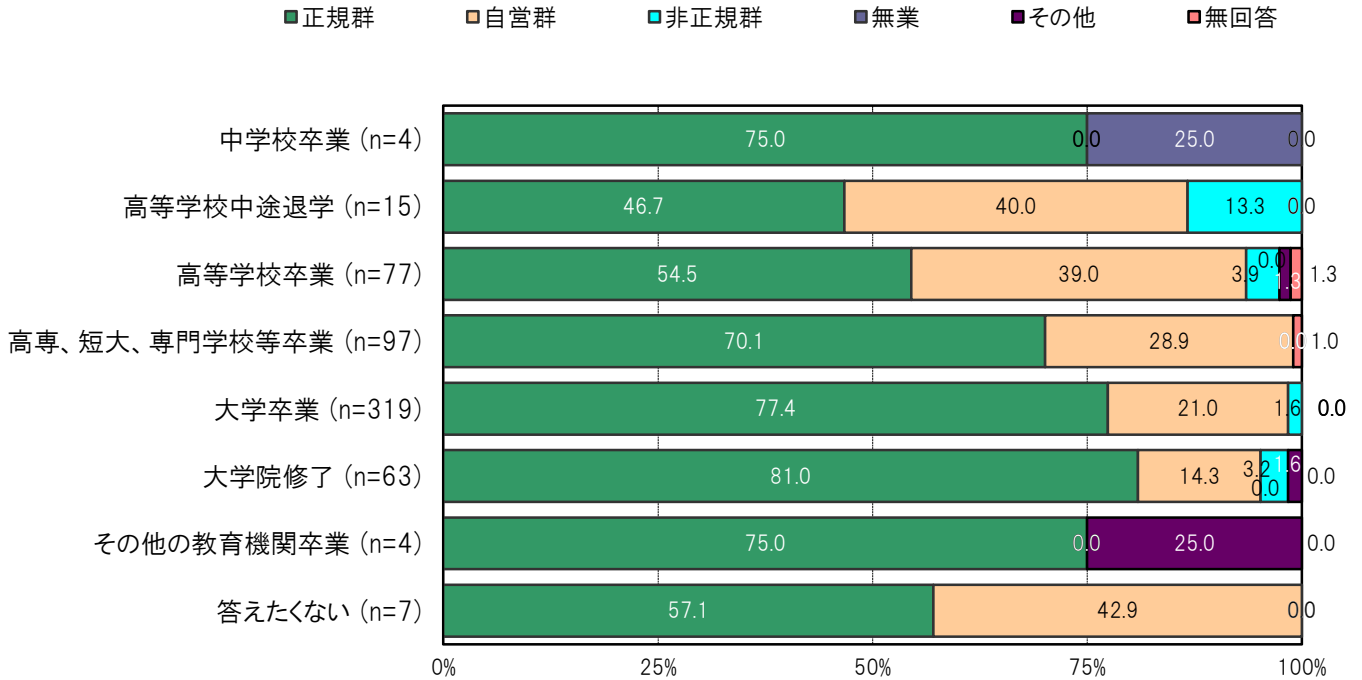


A-210.父親の最終学歴別にみた就労状況〔保護者 就労状況〕

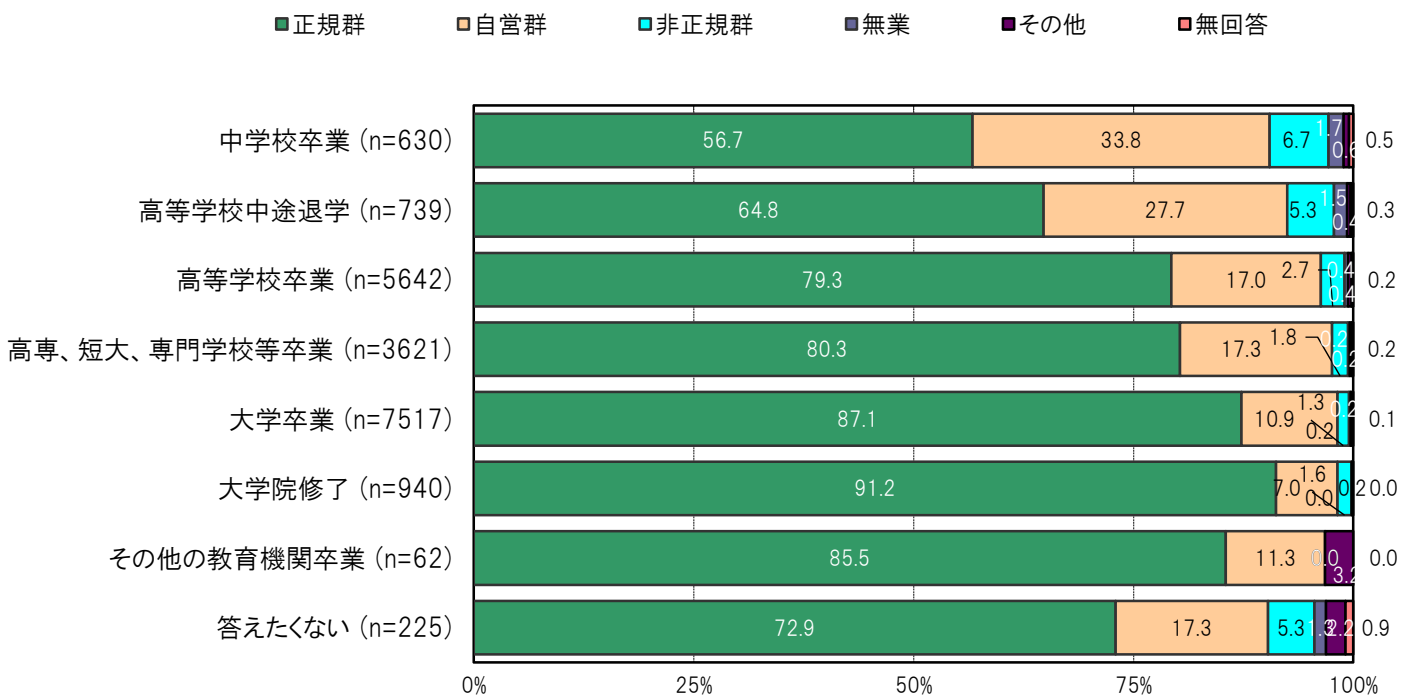
大阪市中央区の父親の最終学歴／高専、短大、専門学校等卒業群においては、「正規群」70.1%、「自営群」28.9%、「非正規群」0.0%、「無業」0.0%、「その他」0.0%となっている。

大阪市中央区の父親の最終学歴／大学卒業群においては、「正規群」77.4%、「自営群」21.0%、「非正規群」1.6%、「無業」0.0%、「その他」0.0%となっている。

〔大阪市中央区／父親の最終学歴別〕



〔大阪市24区／父親の最終学歴別〕

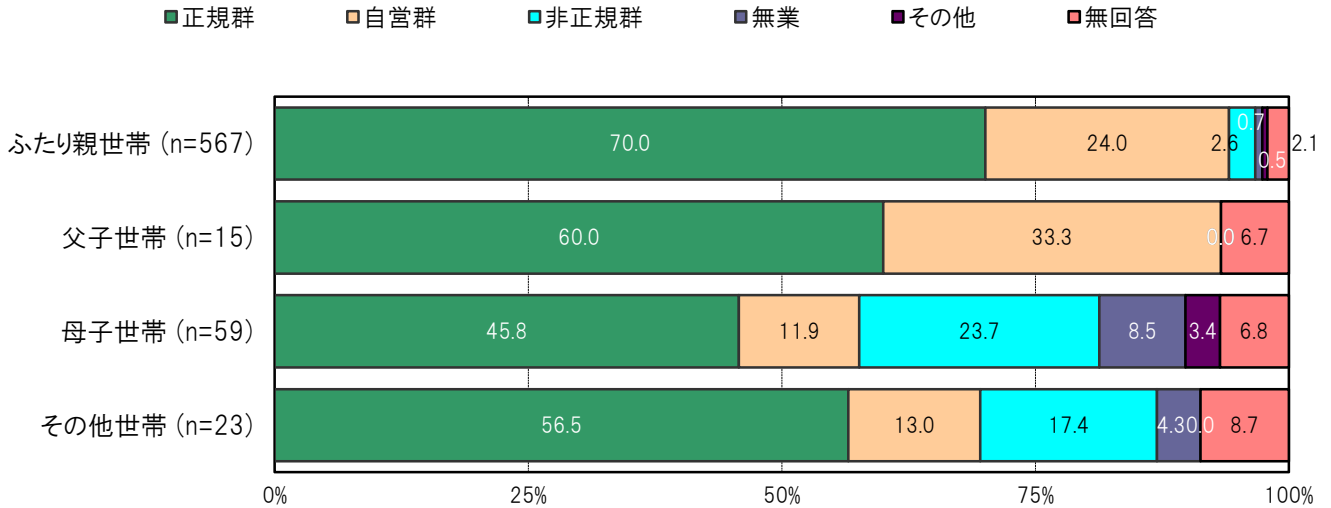


A-211.世帯構成別にみた就労状況【保護者 就労状況】

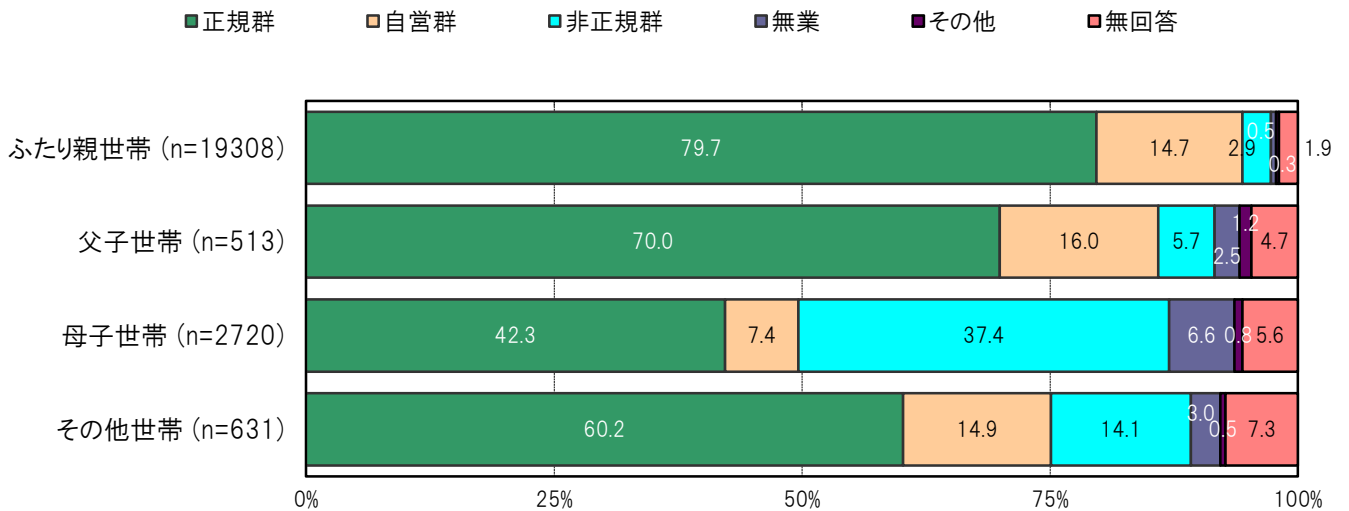
大阪市中央区の世帯状況／ふたり親世帯群においては、「正規群」70.0%、「自営群」24.0%、「非正規群」2.6%、「無業」0.7%、「その他」0.5%となっている。

大阪市中央区の世帯状況／母子世帯群においては、「正規群」45.8%、「自営群」11.9%、「非正規群」23.7%、「無業」8.5%、「その他」3.4%となっている。

〔大阪市中央区／世帯構成別〕



〔大阪市24区／世帯構成別〕

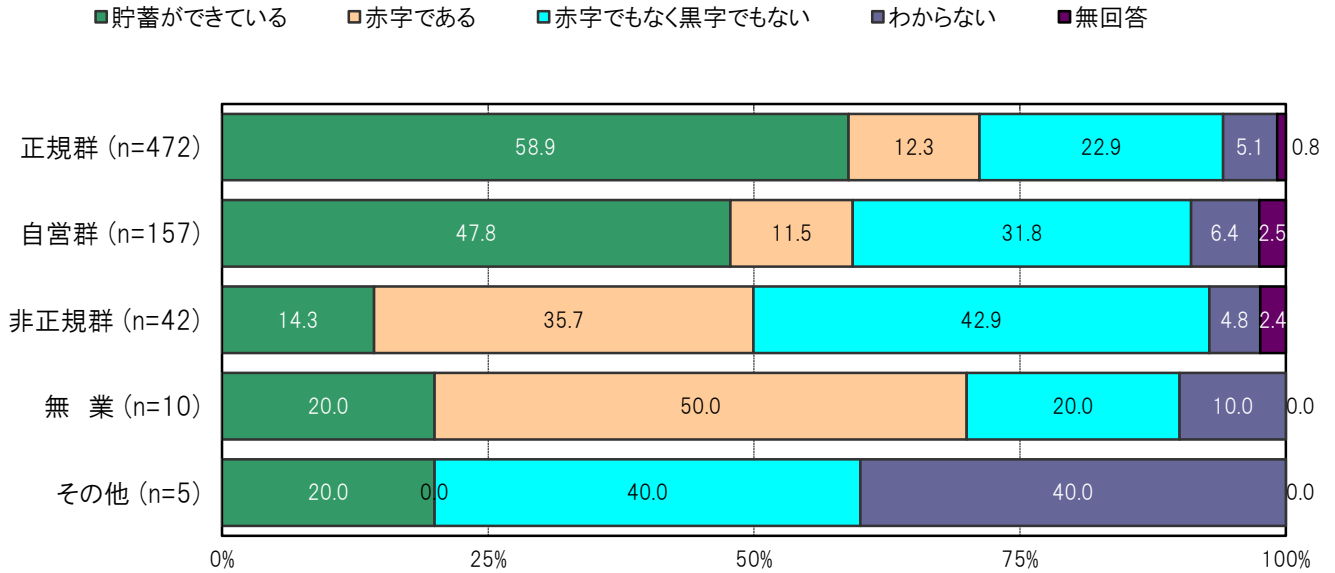


A-212.就労状況別にみた2022年の家計状況【保護者 問7(1)】

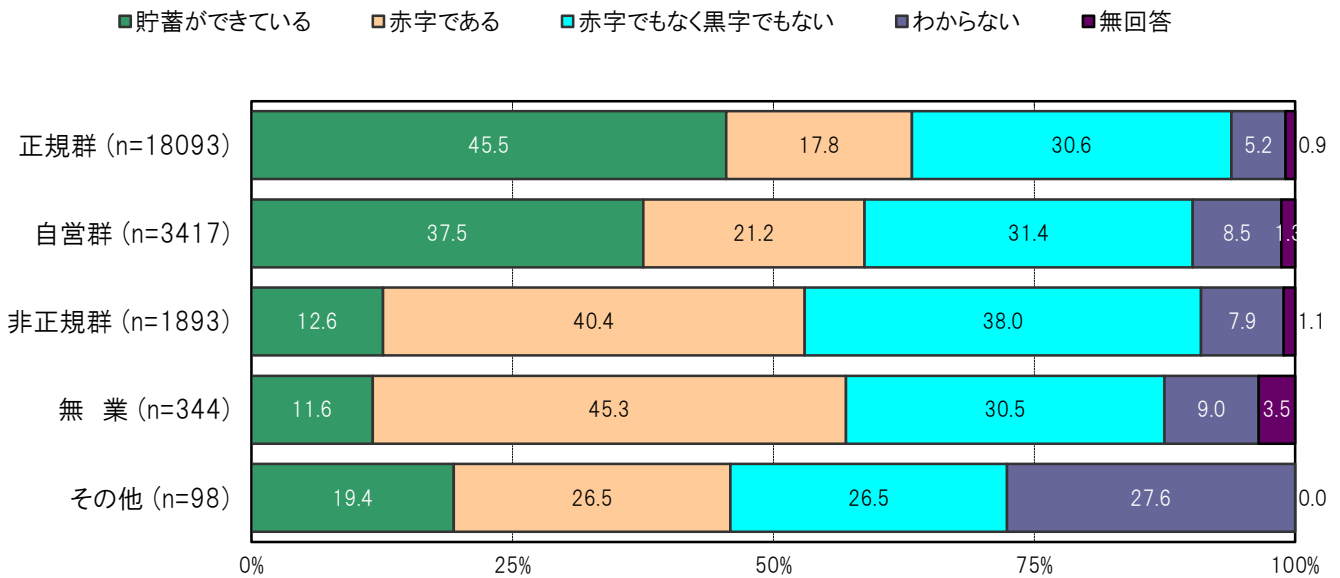
大阪市中央区の就労状況／正規群においては、「貯蓄ができています」58.9%、「赤字である」12.3%、「赤字でもなく黒字でもない」22.9%、「わからない」5.1%となっている。

大阪市中央区の就労状況／自営群においては、「貯蓄ができています」47.8%、「赤字である」11.5%、「赤字でもなく黒字でもない」31.8%、「わからない」6.4%となっている。

〔大阪市中央区／就労状況別〕



〔大阪市24区／就労状況別〕



〔雇用に関する考察〕

はじめに、困窮度別の保護者の就労状況と最終学歴について、中央値以上群と困窮度Ⅰ群の間で差が大きい項目に着目して述べる。親の就労状況を困窮度別に見ると、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「正規」群（79.4%対35.2%）が2倍以上で、大きな開きがある。一方、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「非正規」群（23.9%対0.4%）が20ポイント以上高くなっている。また、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「自営」群（30.7%対17.7%）が10ポイント以上高くなっている。母親の最終学歴を困窮度別に見ると、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「高等学校卒業」群（25.0%対10.6%）が約15ポイント高くなっている。一方で、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、大学以上（「大学卒業」と「大学院修了」）群（50.7%対31.3%）が約20ポイント高くなっている。同様に、父親の最終学歴においても、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「高等学校卒業」群（27.3%対8.6%）が3倍以上である。また、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「大学卒業」群（58.8%対40.0%）が15ポイント以上、「大学院修了」群（16.3%対3.6%）が10ポイント以上高くなっている。これらの結果から、経済的に困難な世帯の保護者の雇用形態が所得階層の分布に反映されていることがわかる。また、困窮度が高い群では親の最終学歴が低い傾向が見られる。

次に、保護者の最終学歴別に就労状況を確認する。母親の最終学歴別に見ると、「大学卒業」群は「高等学校卒業」群と比べ、「正規」群（76.6%対56.8%）が約20ポイント高くなっている。同様に父親の最終学歴別で見ると、「大学卒業」群は「高等学校卒業」群と比べ、「正規」群（77.4%対54.5%）が20ポイント以上高くなっている。この結果から、学歴が高い群ほど正規雇用の割合が高いことを示唆している。

さらに、世帯構成別に親の就労状況を確認すると、ふたり親世帯は母子世帯と比べ、「正規」群（70.0%対45.8%）が約25ポイント高くなっている。また、父子世帯は母子世帯と比べ、「正規」群（60.0%対45.8%）が約15ポイント高くなっており、母子世帯の正規雇用の割合の低さが顕著である。さらに、母子世帯は、「非正規」群（23.7%）の割合が他の世帯構成に比べて極めて高くなっており、不安定な就労状況にあることが示唆される。

最後に、保護者の就労状況別に見る家計の状況に着目すると、「正規」群は「非正規」群と比べ、「貯蓄ができている」（58.9%対14.3%）が4倍以上と、大きな差があることが確認できる。一方で、「非正規」群は「正規」群と比べ、家計状況が「赤字である」（35.7%対12.3%）は約3倍である。この結果から、保護者が正規雇用であるほど、貯蓄ができるなど生活が安定している傾向が見られる。

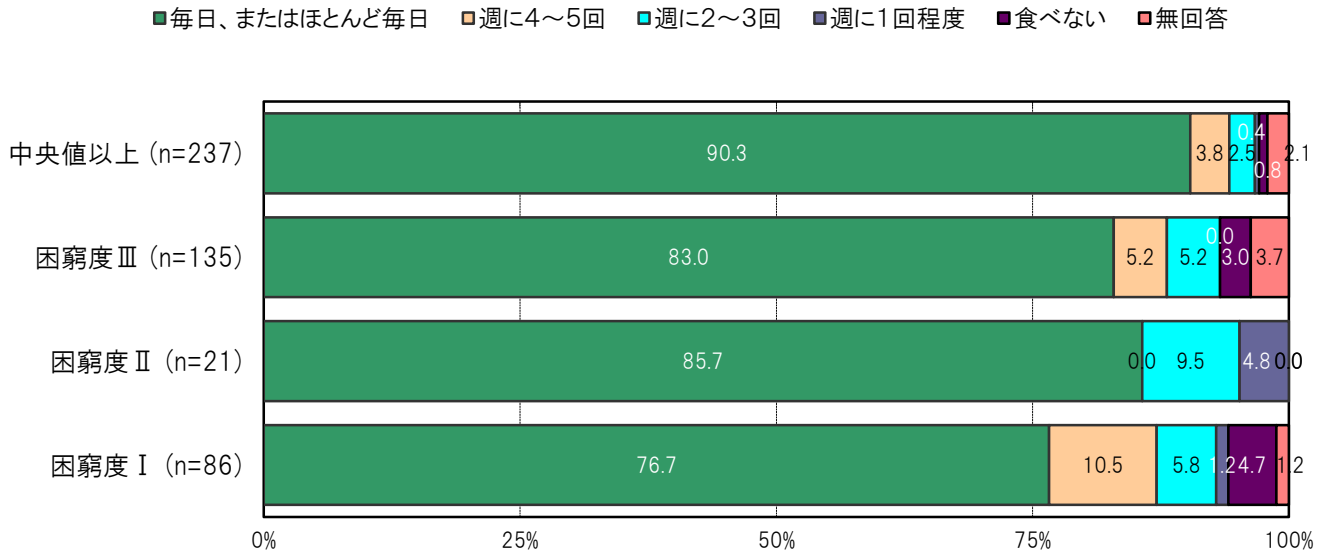
3-4.健康

A-213.困窮度別にみた朝食を食べる頻度〔子ども 問4(1)〕

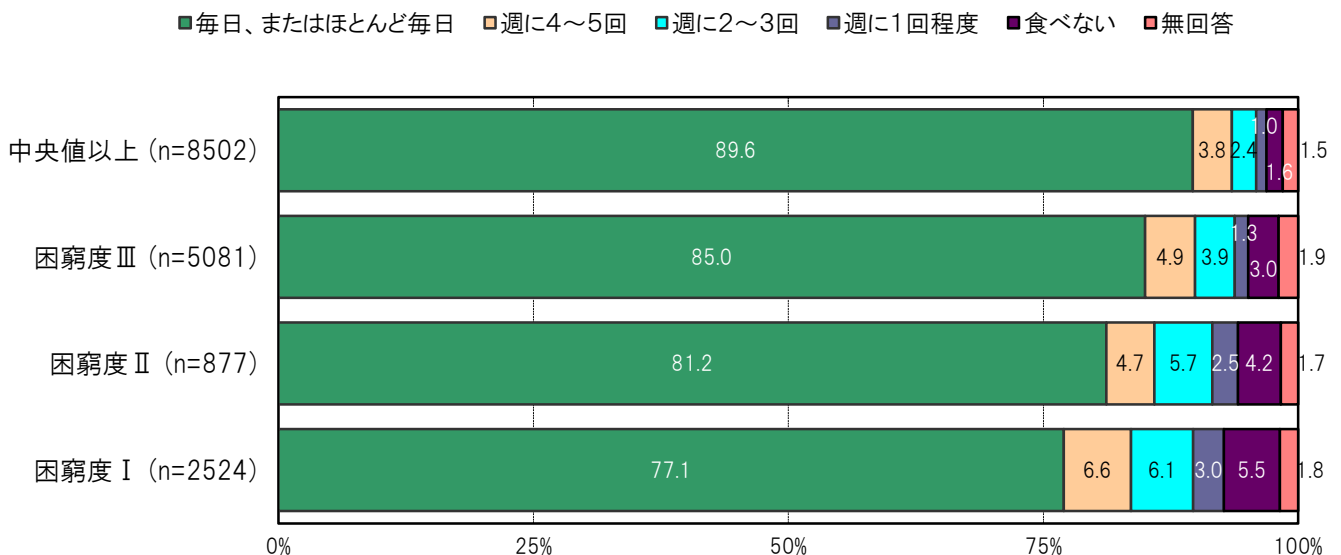
大阪市中央区の困窮度Ⅰ群においては、「毎日、またはほとんど毎日」76.7%、「週に4～5回」10.5%、「週に2～3回」5.8%、「週に1回程度」1.2%、「食べない」4.7%となっている。

大阪市中央区の中央値以上群においては、「毎日、またはほとんど毎日」90.3%、「週に4～5回」3.8%、「週に2～3回」2.5%、「週に1回程度」0.4%、「食べない」0.8%となっている。

〔大阪市中央区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

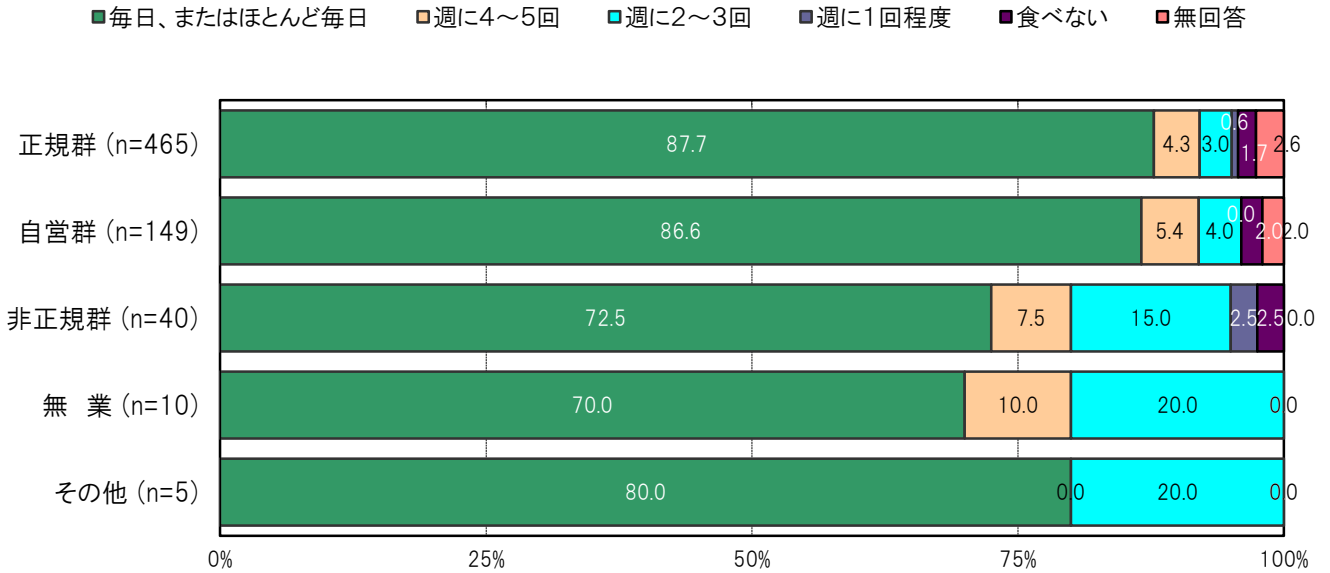


A-214.就労状況別にみた朝食を食べる頻度〔子ども 問4(1)〕

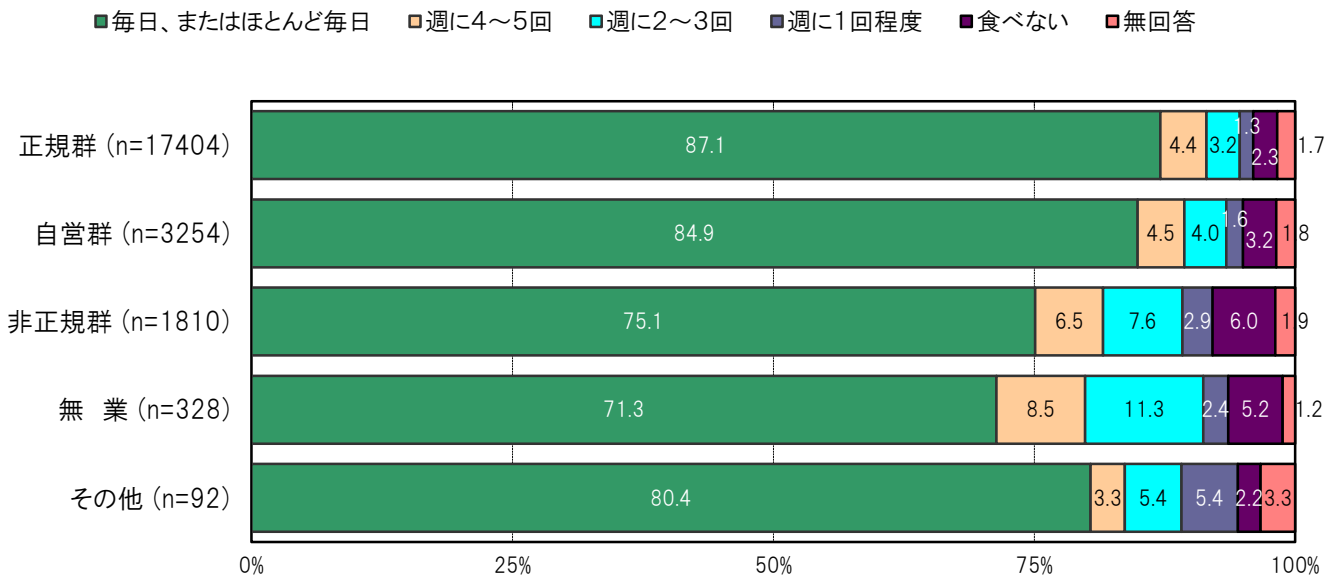
大阪市中央区の就労状況／正規群においては、「毎日、またはほとんど毎日」87.7%、「週に4～5回」4.3%、「週に2～3回」3.0%、「週に1回程度」0.6%、「食べない」1.7%となっている。

大阪市中央区の就労状況／自営群においては、「毎日、またはほとんど毎日」86.6%、「週に4～5回」5.4%、「週に2～3回」4.0%、「週に1回程度」0.0%、「食べない」2.0%となっている。

〔大阪市中央区／就労状況別〕



〔大阪市24区／就労状況別〕

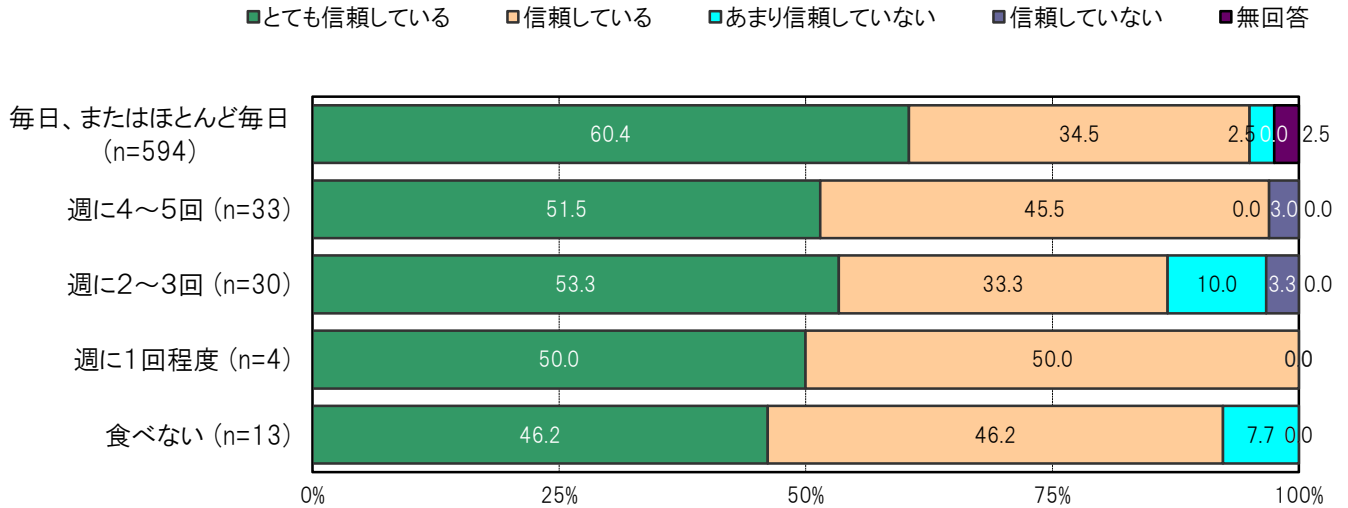


A-215.朝食を食べる頻度別 子どもを信頼しているか【保護者 問14(1)】

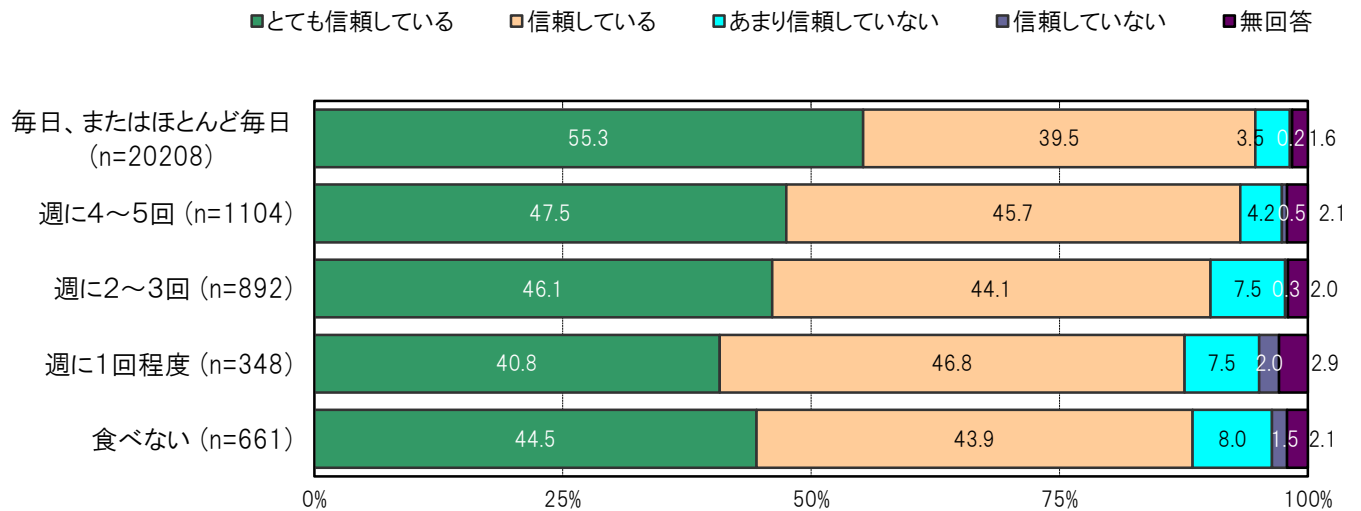
大阪市中央区の朝食を食べる頻度／毎日、またはほとんど毎日群においては、「とても信頼している」60.4%、「信頼している」34.5%、「あまり信頼していない」2.5%、「信頼していない」0.0%となっている。

大阪市中央区の朝食を食べる頻度／週に4～5回群においては、「とても信頼している」51.5%、「信頼している」45.5%、「あまり信頼していない」0.0%、「信頼していない」3.0%となっている。

〔大阪市中央区／朝食を食べる頻度別〕



〔大阪市24区／朝食を食べる頻度別〕

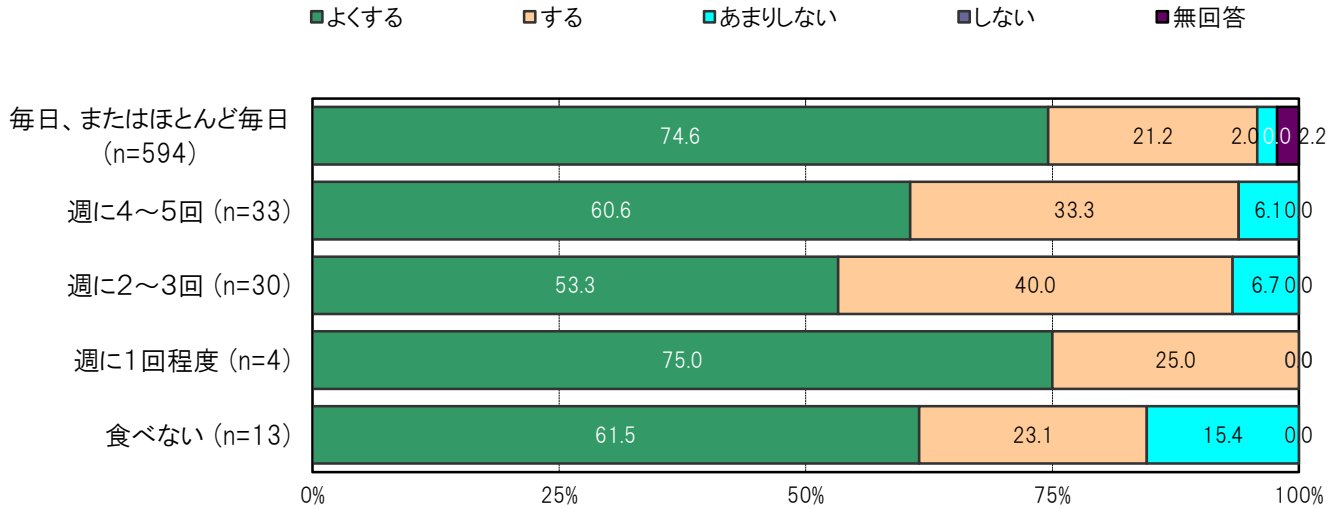


A-216.朝食を食べる頻度別 子どもとよく会話をするか【保護者 問14(2)】

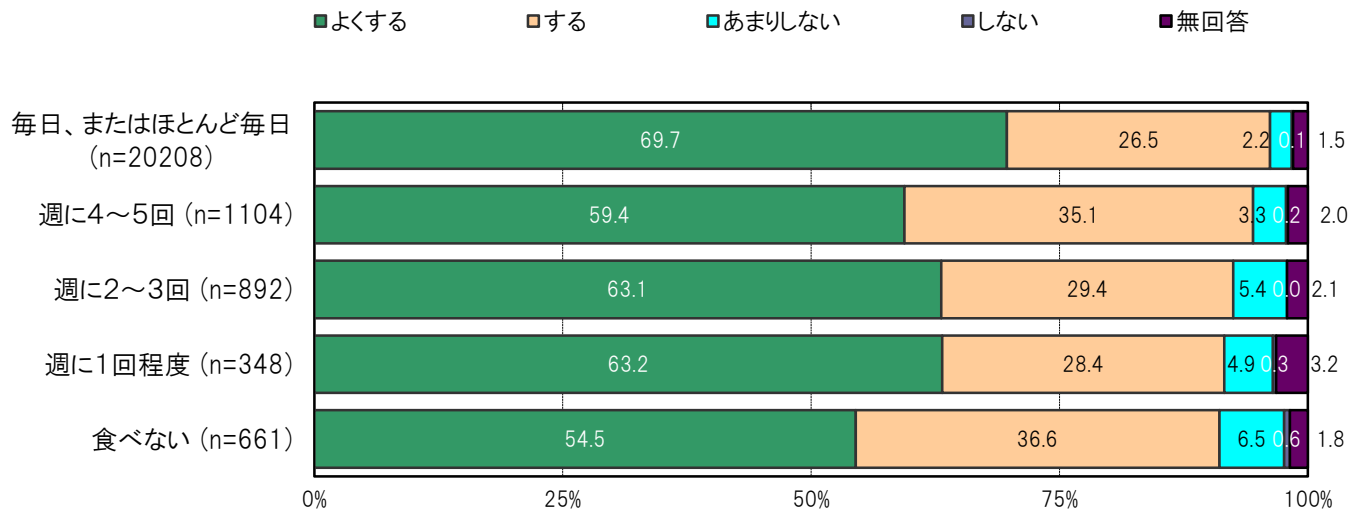
大阪市中央区の朝食を食べる頻度／毎日、またはほとんど毎日群においては、「よくする」74.6%、「する」21.2%、「あまりしない」2.0%、「しない」0.0%となっている。

大阪市中央区の朝食を食べる頻度／週に4～5回群においては、「よくする」60.6%、「する」33.3%、「あまりしない」6.1%、「しない」0.0%となっている。

〔大阪市中央区／朝食を食べる頻度別〕



〔大阪市24区／朝食を食べる頻度別〕

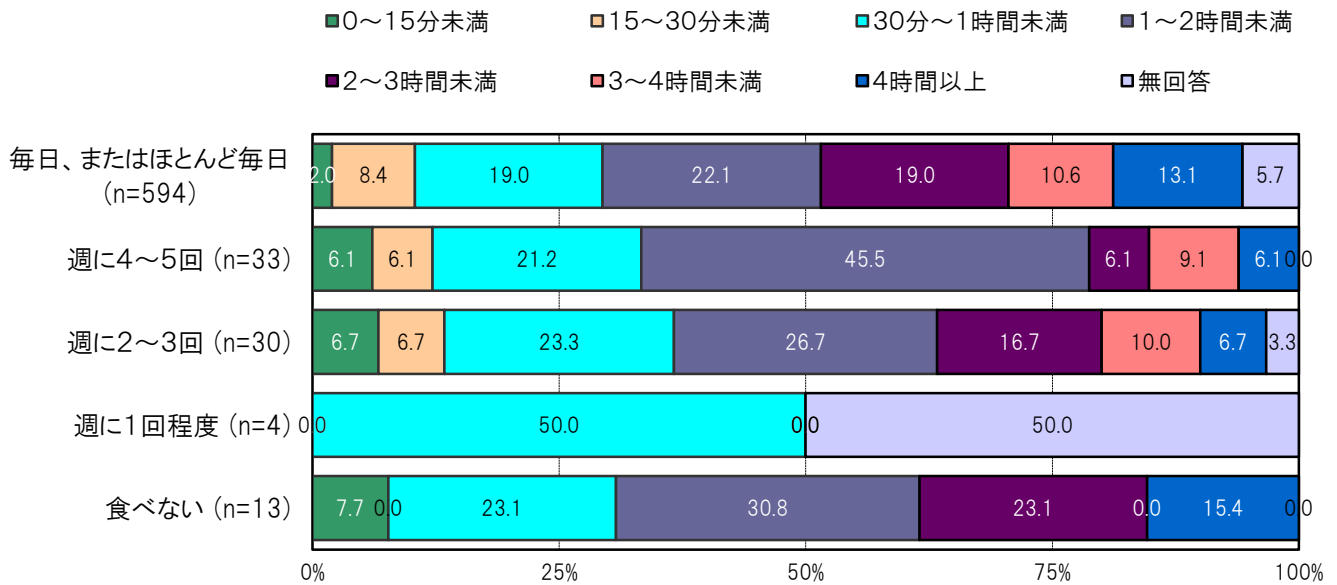


A-217.朝食を食べる頻度別 平日に子どもと過ごす時間【保護者 問14(3)】

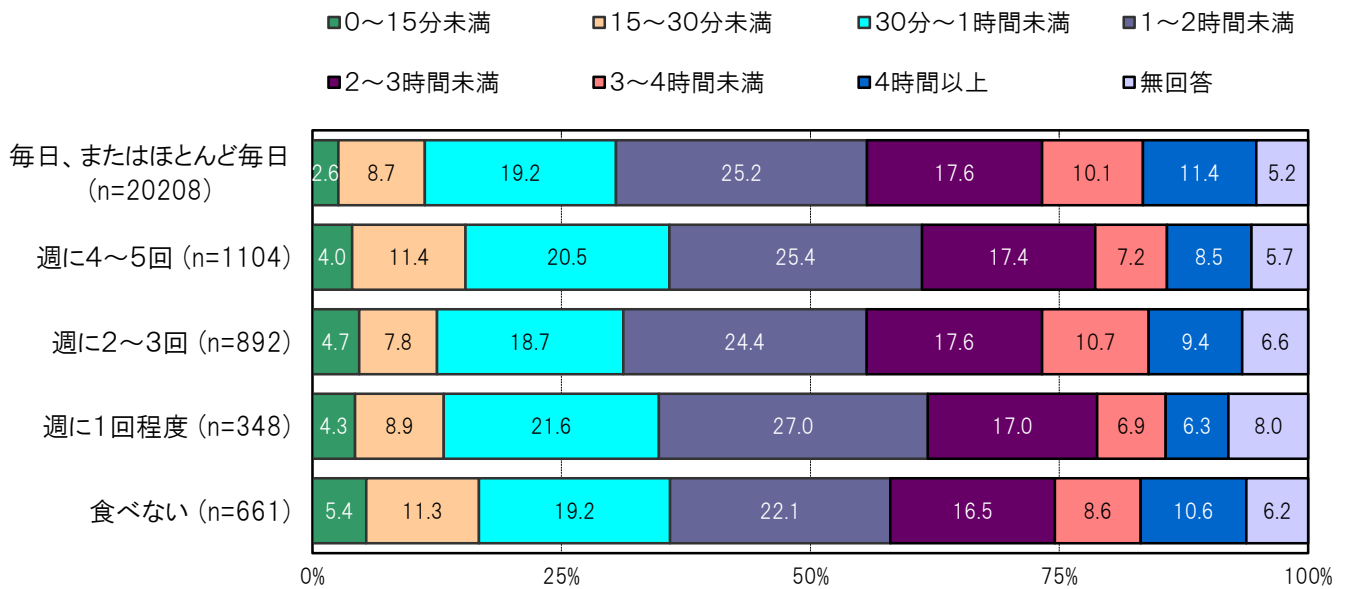
大阪市中央区の朝食を食べる頻度／毎日、またはほとんど毎日群においては、「0～15分未満」2.0%、「15～30分未満」8.4%、「30分～1時間未満」19.0%、「1～2時間未満」22.1%、「2～3時間未満」19.0%、「3～4時間未満」10.6%、「4時間以上」13.1%となっている。

大阪市中央区の朝食を食べる頻度／週に4～5回群においては、「0～15分未満」6.1%、「15～30分未満」6.1%、「30分～1時間未満」21.2%、「1～2時間未満」45.5%、「2～3時間未満」6.1%、「3～4時間未満」9.1%、「4時間以上」6.1%となっている。

〔大阪市中央区／朝食を食べる頻度別〕



〔大阪市24区／朝食を食べる頻度別〕

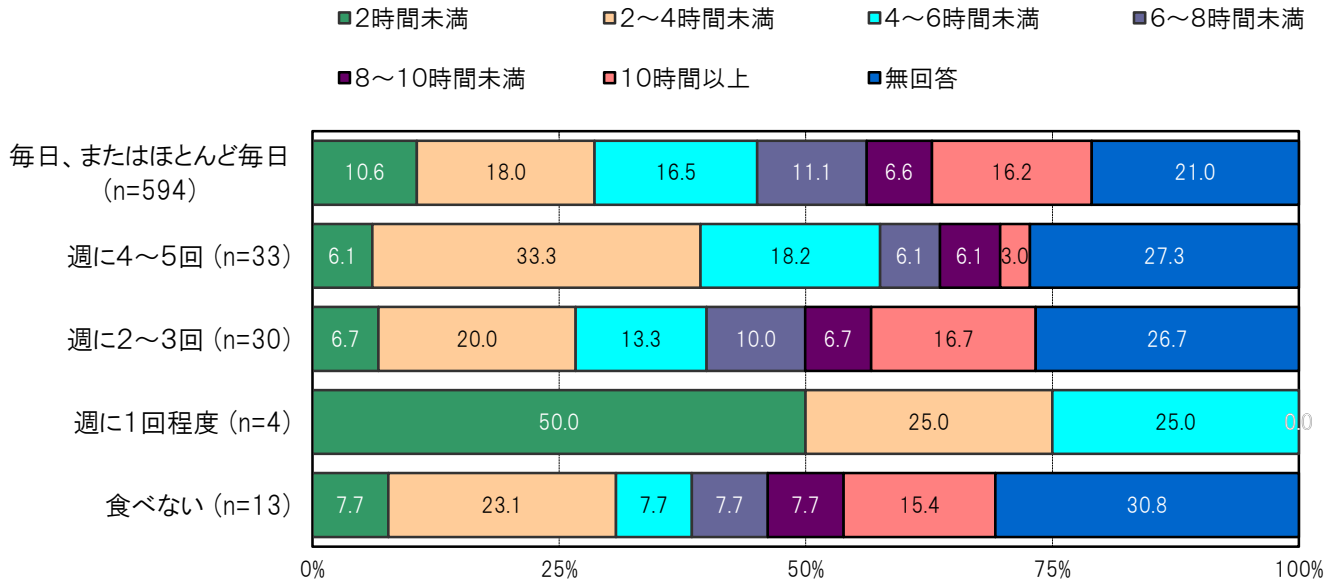


A-218.朝食を食べる頻度別 休日に子どもと過ごす時間【保護者 問14(3)】

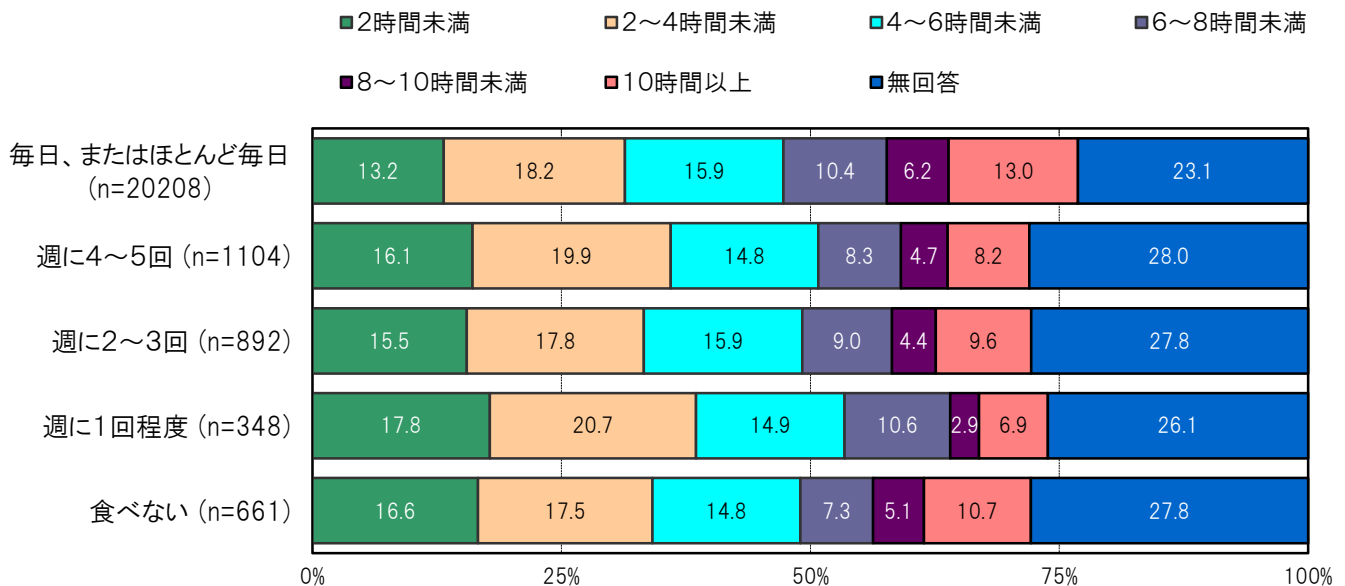
大阪市中央区の朝食を食べる頻度／毎日、またはほとんど毎日群においては、「2時間未満」10.6%、「2～4時間未満」18.0%、「4～6時間未満」16.5%、「6～8時間未満」11.1%、「8～10時間未満」6.6%、「10時間以上」16.2%となっている。

大阪市中央区の朝食を食べる頻度／週に4～5回群においては、「2時間未満」6.1%、「2～4時間未満」33.3%、「4～6時間未満」18.2%、「6～8時間未満」6.1%、「8～10時間未満」6.1%、「10時間以上」3.0%となっている。

〔大阪市中央区／朝食を食べる頻度別〕



〔大阪市24区／朝食を食べる頻度別〕

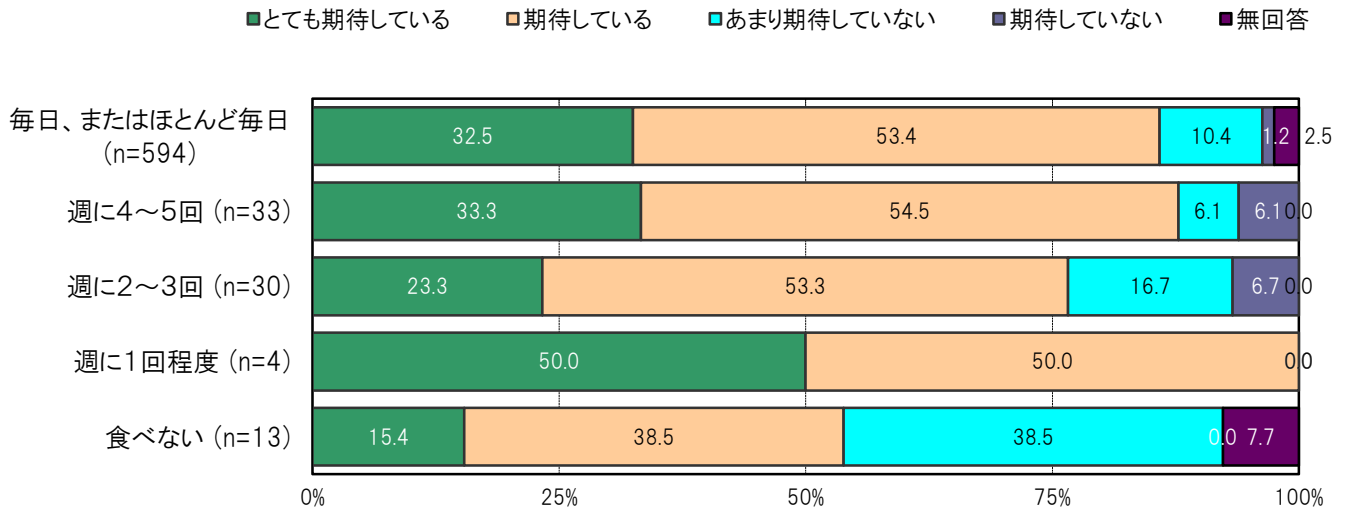


A-219.朝食を食べる頻度別 子どもの将来に期待しているか【保護者 問14(4)】

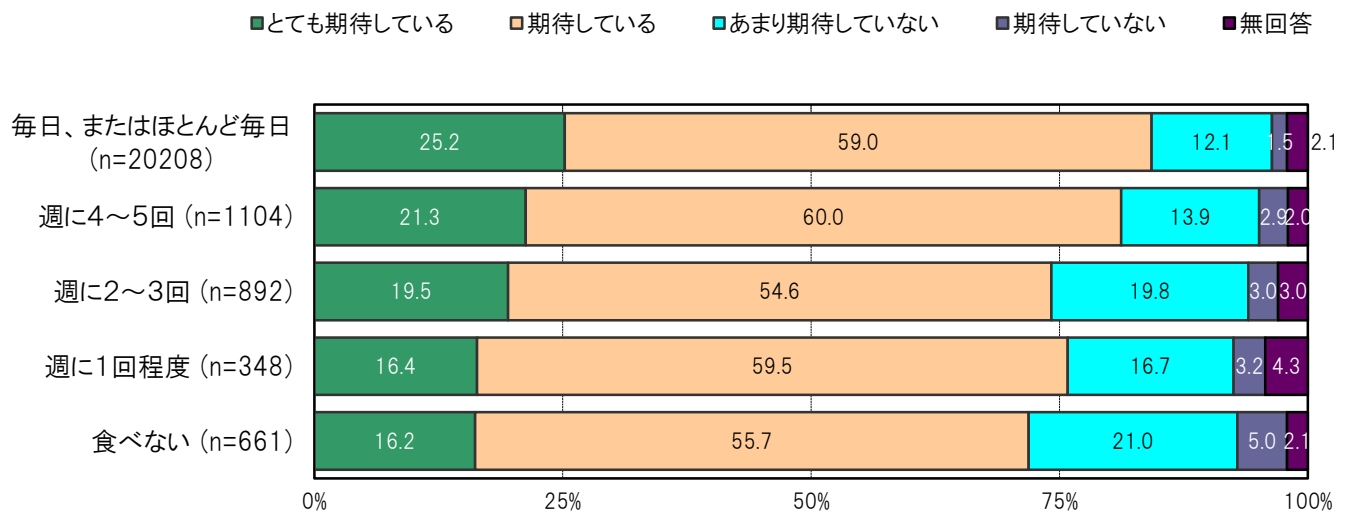
大阪市中央区の朝食を食べる頻度／毎日、またはほとんど毎日群においては、「とても期待している」32.5%、「期待している」53.4%、「あまり期待していない」10.4%、「期待していない」1.2%となっている。

大阪市中央区の朝食を食べる頻度／週に4～5回群においては、「とても期待している」33.3%、「期待している」54.5%、「あまり期待していない」6.1%、「期待していない」6.1%となっている。

〔大阪市中央区／朝食を食べる頻度別〕



〔大阪市24区／朝食を食べる頻度別〕

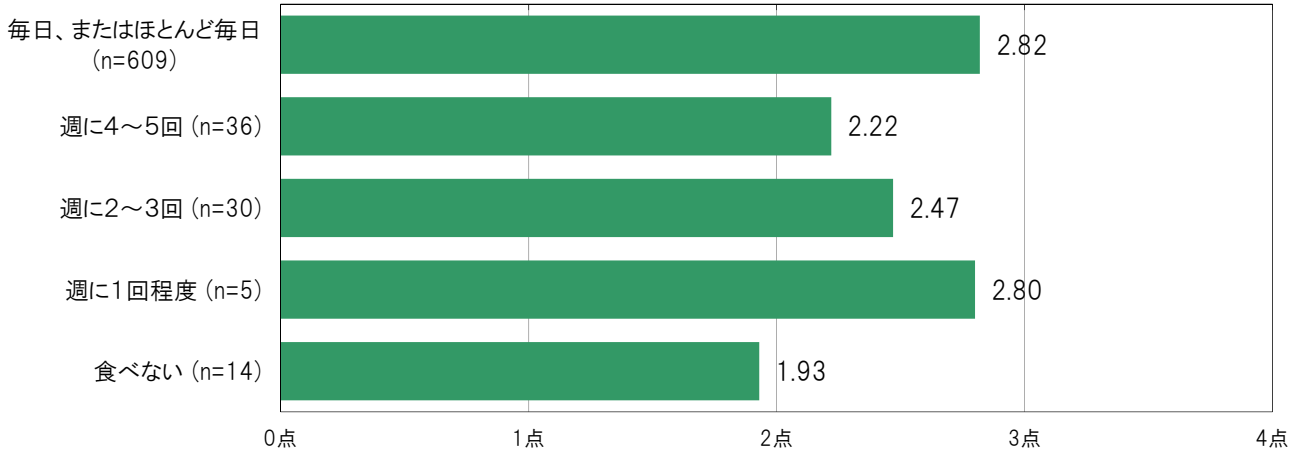


A-220.朝食を食べる頻度別 自分に自信がある【子ども 問26(1)】

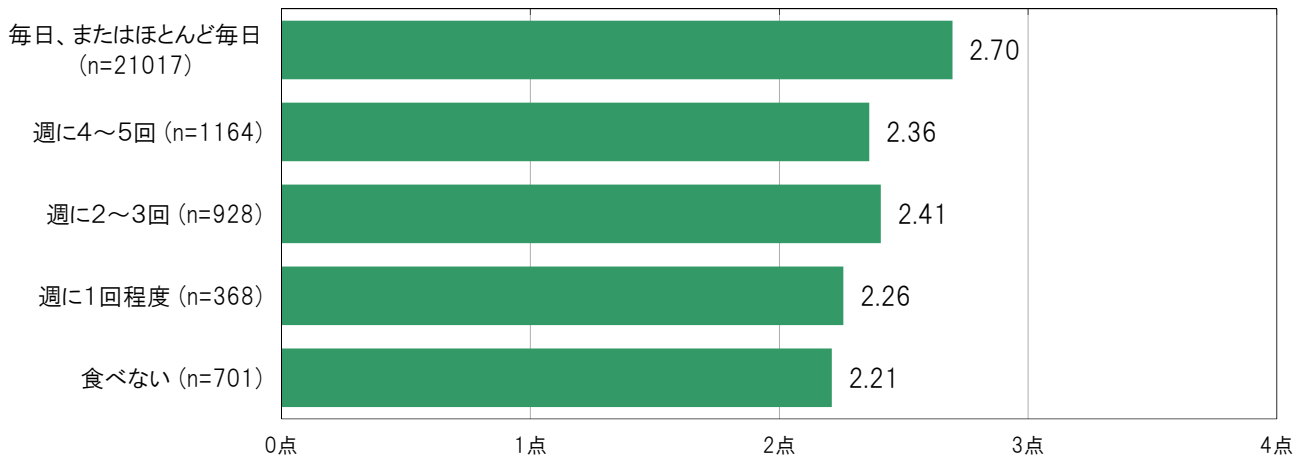
大阪市中央区の朝食を食べる頻度別の自己効力感(セルフ・エフィカシー)の得点は、「毎日、またはほとんど毎日」2.82点、「週に4～5回」2.22点、「週に2～3回」2.47点、「週に1回程度」2.80点、「食べない」1.93点となっている。

※加重得点「ある」= 4点、「どちらかというところある」= 3点、「どちらかというところない」= 2点、「ない」= 1点

〔大阪市中央区／朝食を食べる頻度別〕



〔大阪市24区／朝食を食べる頻度別〕

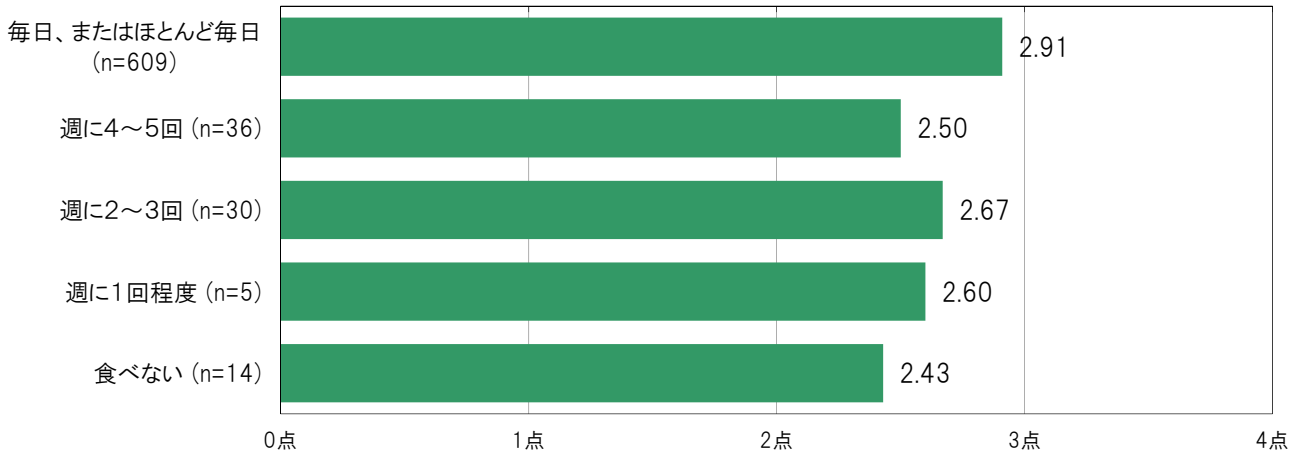


A-221.朝食を食べる頻度別 自分の考えをはっきり相手に伝えられる【子ども 問26(2)】

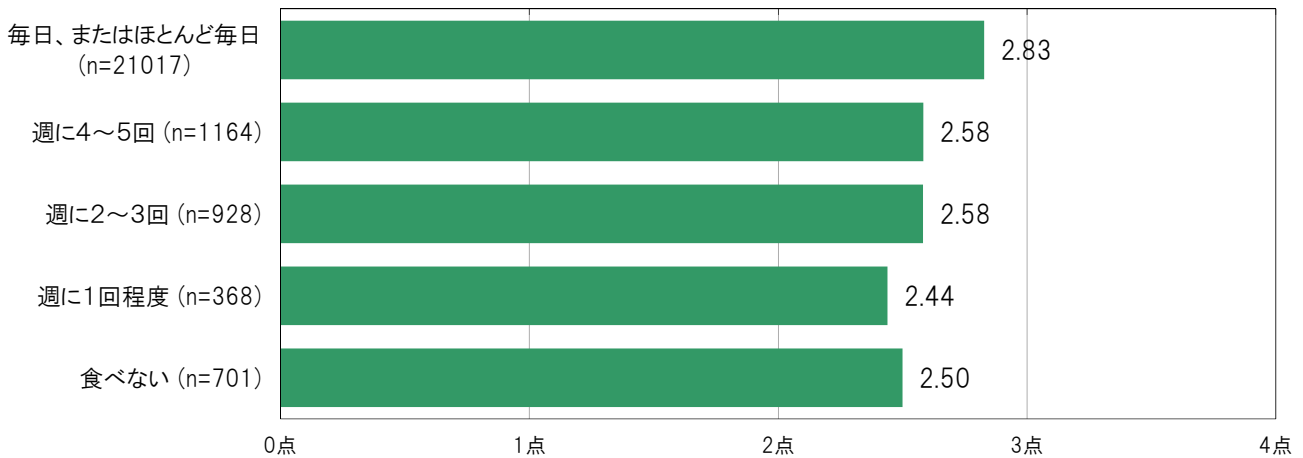
大阪市中央区の朝食を食べる頻度別の自己効力感(セルフ・エフィカシー)の得点は、「毎日、またはほとんど毎日」2.91点、「週に4～5回」2.50点、「週に2～3回」2.67点、「週に1回程度」2.60点、「食べない」2.43点となっている。

※加重得点「できる」= 4点、「どちらかというところできる」= 3点、「どちらかというところできない」= 2点、「できない」= 1点

〔大阪市中央区／朝食を食べる頻度別〕



〔大阪市24区／朝食を食べる頻度別〕

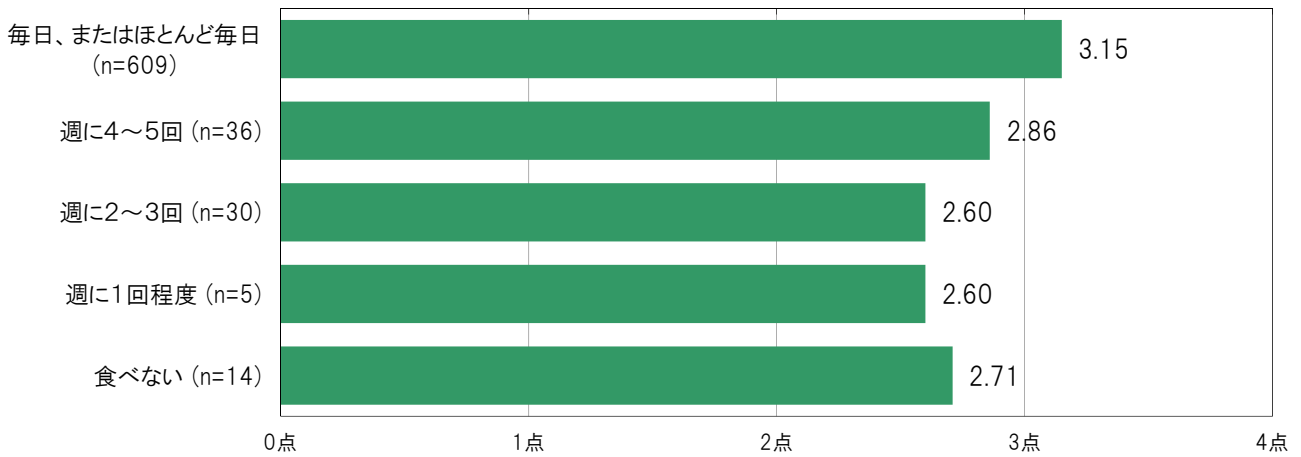


A-222.朝食を食べる頻度別 自分の将来の夢や目標を持っている【子ども 問26(3)】

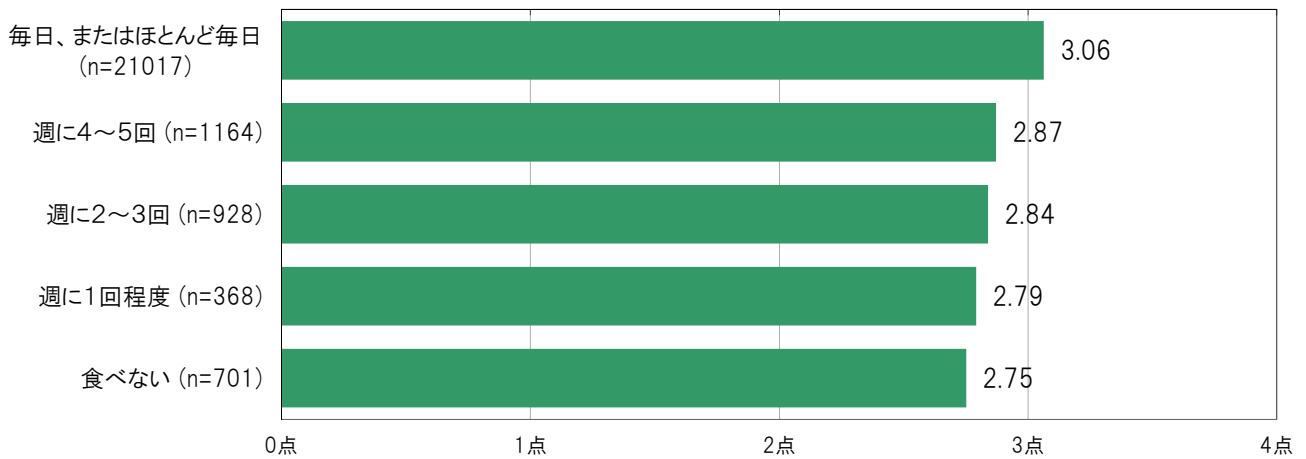
大阪市中央区の朝食を食べる頻度別の自己効力感(セルフ・エフィカシー)の得点は、「毎日、またはほとんど毎日」3.15点、「週に4～5回」2.86点、「週に2～3回」2.60点、「週に1回程度」2.60点、「食べない」2.71点となっている。

※加重得点「持っている」= 4点、「どちらかというを持っている」= 3点、
「どちらかというを持っていない」= 2点、「持ってない」= 1点

〔大阪市中央区／朝食を食べる頻度別〕



〔大阪市24区／朝食を食べる頻度別〕

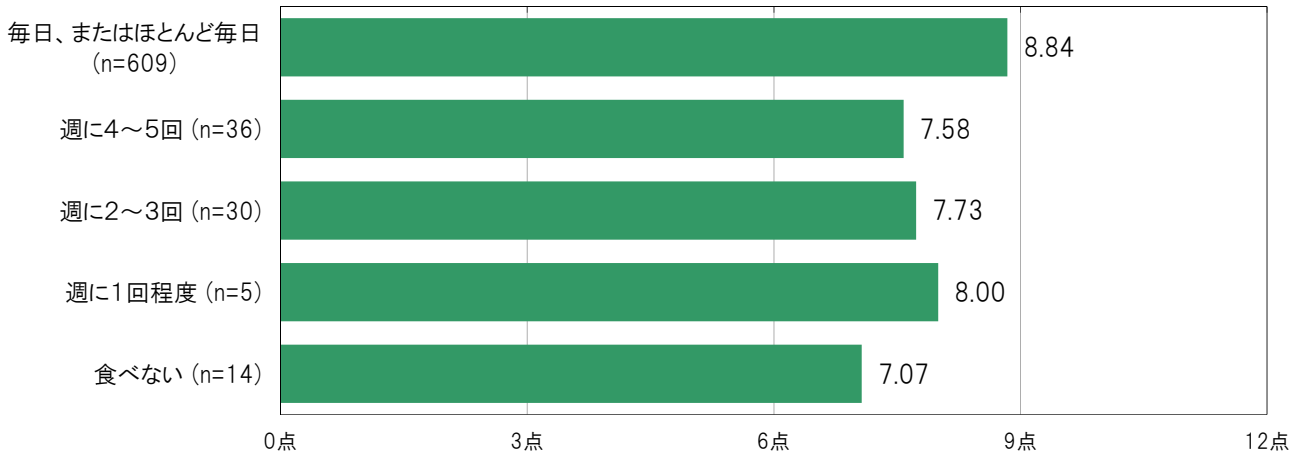


A-223.朝食を食べる頻度別 子どもの自己効力感の合計得点(最大12点)【子ども 問26(1)~(3)】

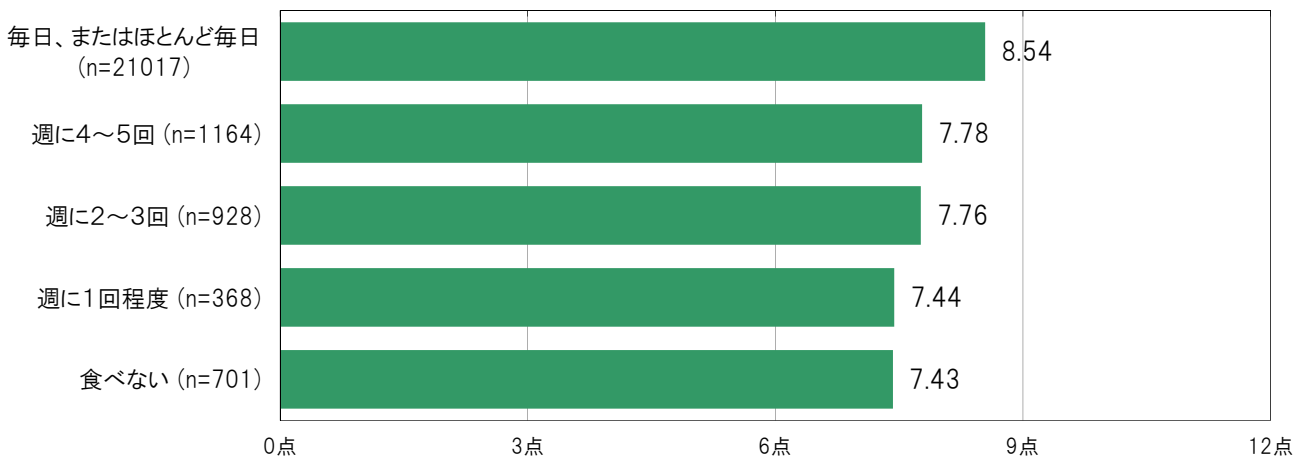
大阪市中央区の朝食を食べる頻度別の自己効力感(セルフ・エフィカシー)の合計得点は、「毎日、またはほとんど毎日」8.84点、「週に4~5回」7.58点、「週に2~3回」7.73点、「週に1回程度」8.00点、「食べない」7.07点となっている。

「自分に自信がある」、「自分の考えをはっきり相手に伝えることができる」、「大人は信用できる」、「自分の将来の夢や目標を持っている」の3項目について、それぞれ4段階で評価させ、その値を合計した得点を、セルフ・エフィカシー得点とした。得点が高いほど、自己効力感(セルフ・エフィカシー)が高いことを表す。

〔大阪市中央区／朝食を食べる頻度別〕



〔大阪市24区／朝食を食べる頻度別〕

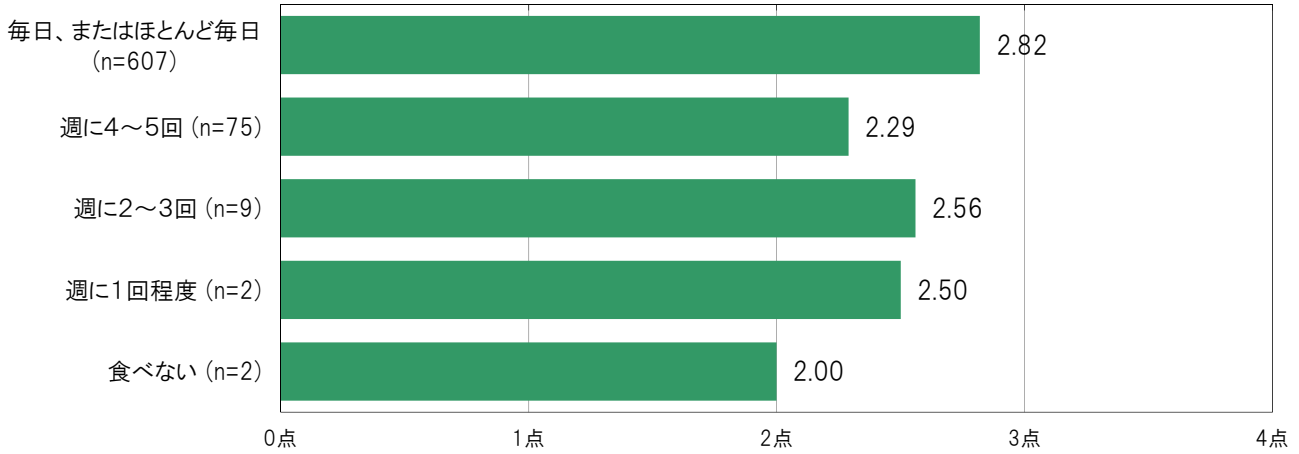


A-224.休日に昼食を食べる頻度別 自分に自信がある【子ども 問26(1)】

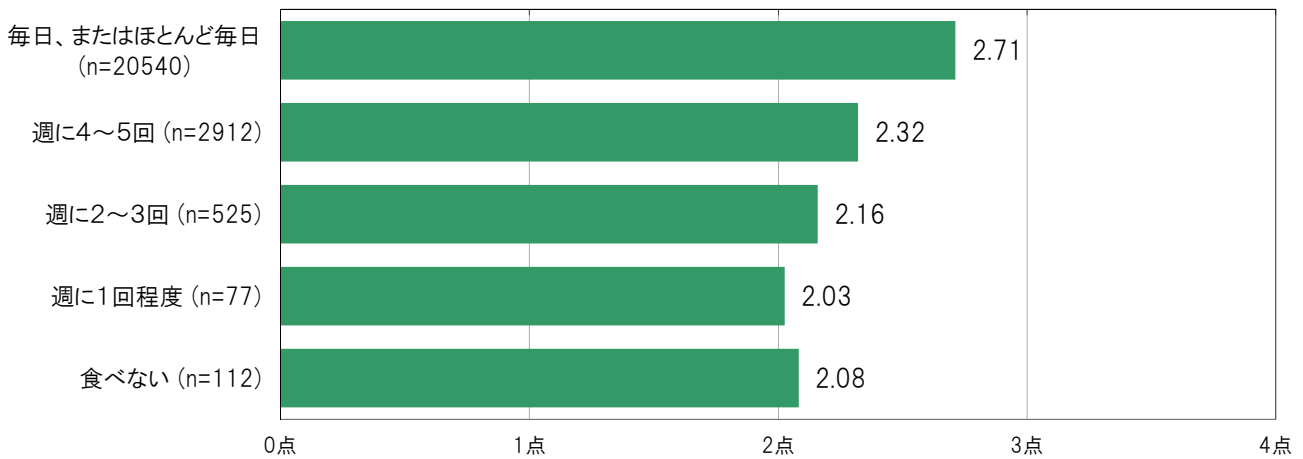
大阪市中央区の休日に昼食を食べる頻度別の自己効力感(セルフ・エフィカシー)の得点は、「毎日、またはほとんど毎日」2.82点、「週に4～5回」2.29点、「週に2～3回」2.56点、「週に1回程度」2.50点、「食べない」2.00点となっている。

※加重得点「ある」= 4点、「どちらかというところ」= 3点、「どちらかというところない」= 2点、「ない」= 1点

〔大阪市中央区／休日に昼食を食べる頻度別〕



〔大阪市24区／休日に昼食を食べる頻度別〕

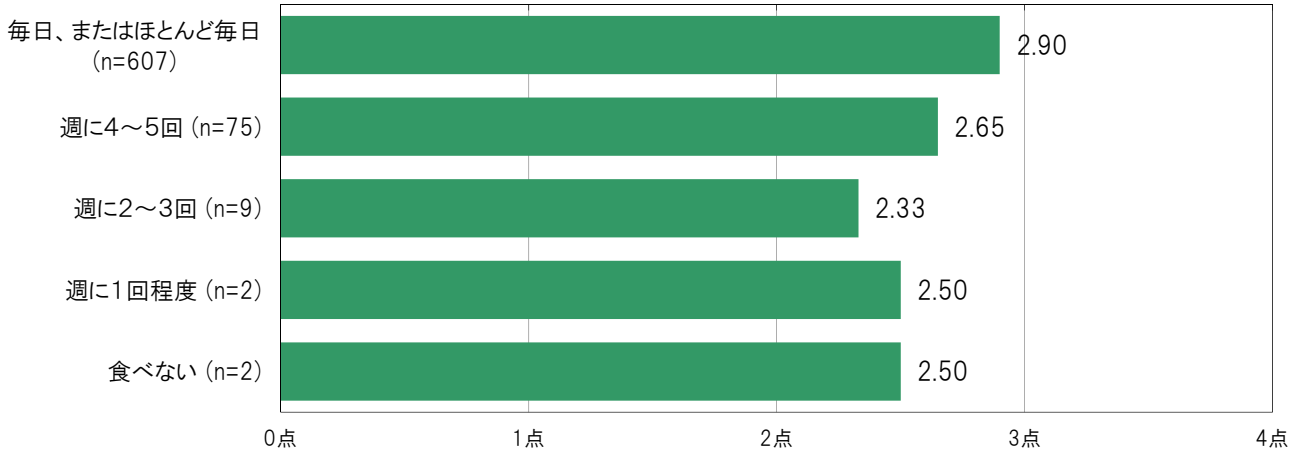


A-225.休日に昼食を食べる頻度別 自分の考えをはっきり相手に伝えられる【子ども 問26(2)】

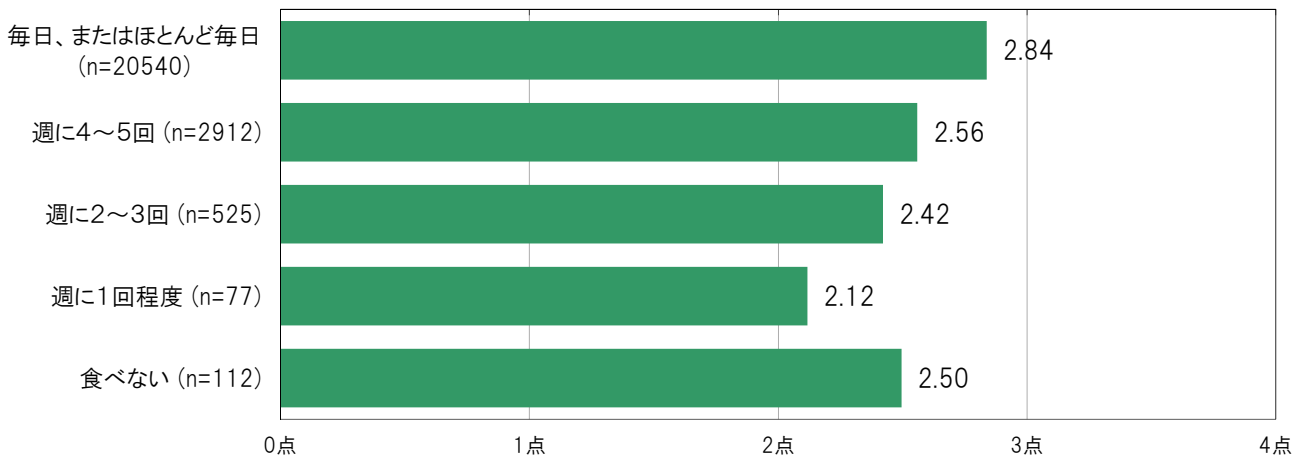
大阪市中央区の休日に昼食を食べる頻度別の自己効力感(セルフ・エフィカシー)の得点は、「毎日、またはほとんど毎日」2.90点、「週に4～5回」2.65点、「週に2～3回」2.33点、「週に1回程度」2.50点、「食べない」2.50点となっている。

※加重得点「できる」= 4点、「どちらかというところできる」= 3点、「どちらかというところできない」= 2点、「できない」= 1点

〔大阪市中央区／休日に昼食を食べる頻度別〕



〔大阪市24区／休日に昼食を食べる頻度別〕

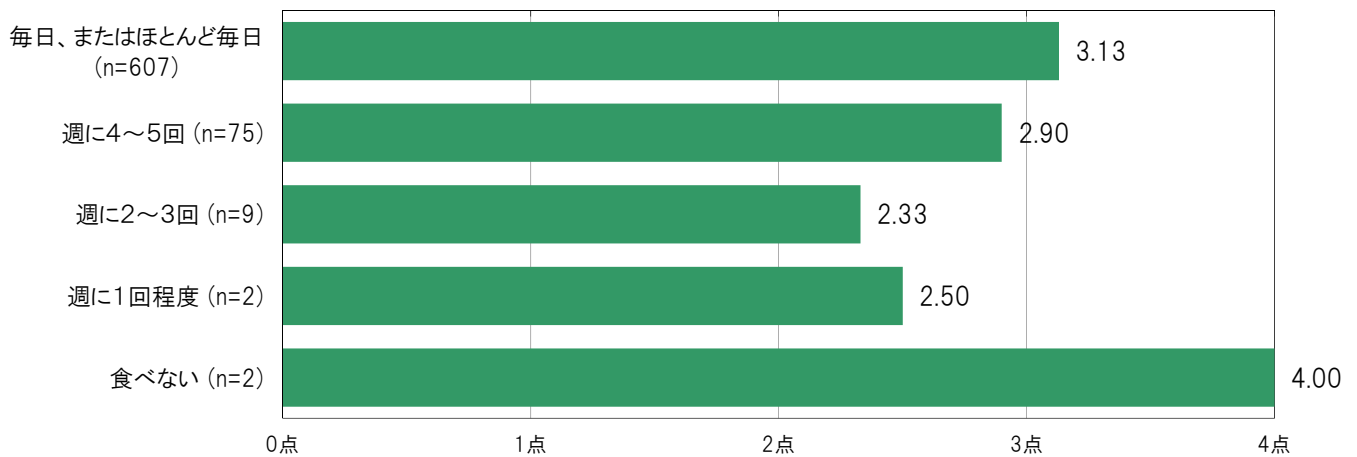


A-226.休日に昼食を食べる頻度別 自分の将来の夢や目標を持っている【子ども 問26(3)】

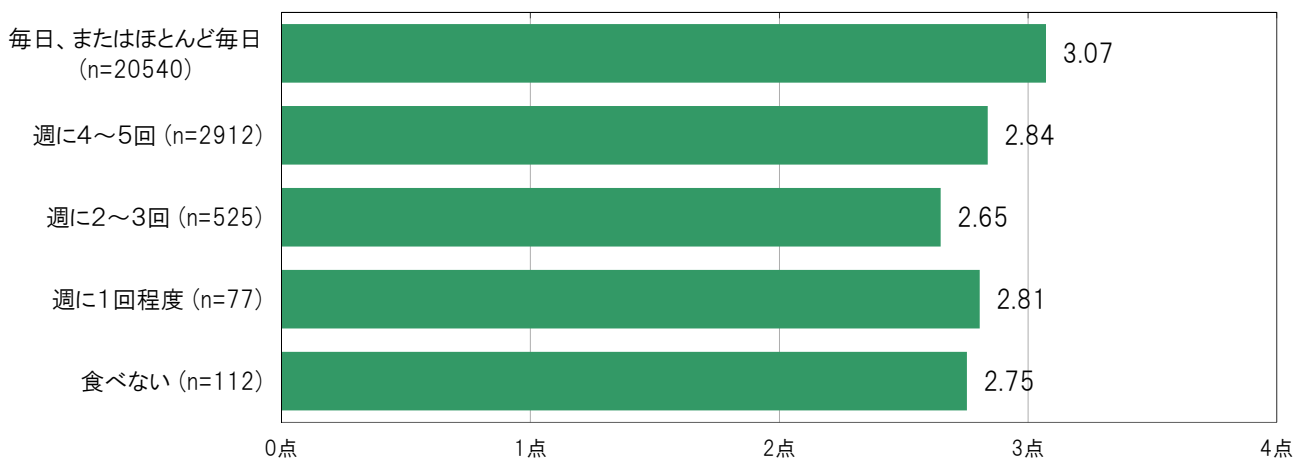
大阪市中央区の休日に昼食を食べる頻度別の自己効力感(セルフ・エフィカシー)の得点は、「毎日、またはほとんど毎日」3.13点、「週に4～5回」2.90点、「週に2～3回」2.33点、「週に1回程度」2.50点、「食べない」4.00点となっている。

※加重得点「持っている」= 4点、「どちらかというを持っている」= 3点、
「どちらかというを持っていない」= 2点、「持ってない」= 1点

〔大阪市中央区／休日に昼食を食べる頻度別〕



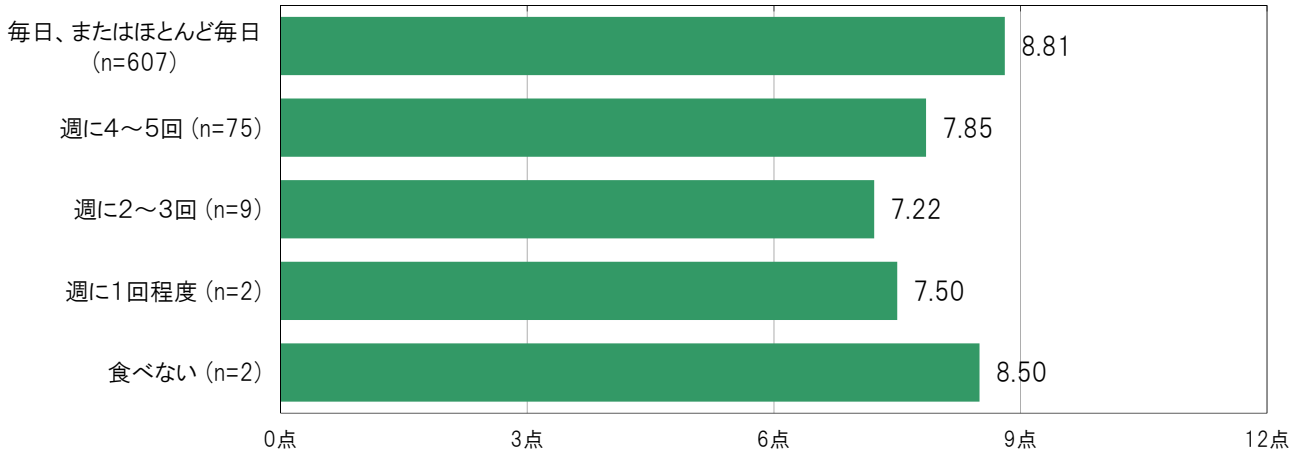
〔大阪市24区／休日に昼食を食べる頻度別〕



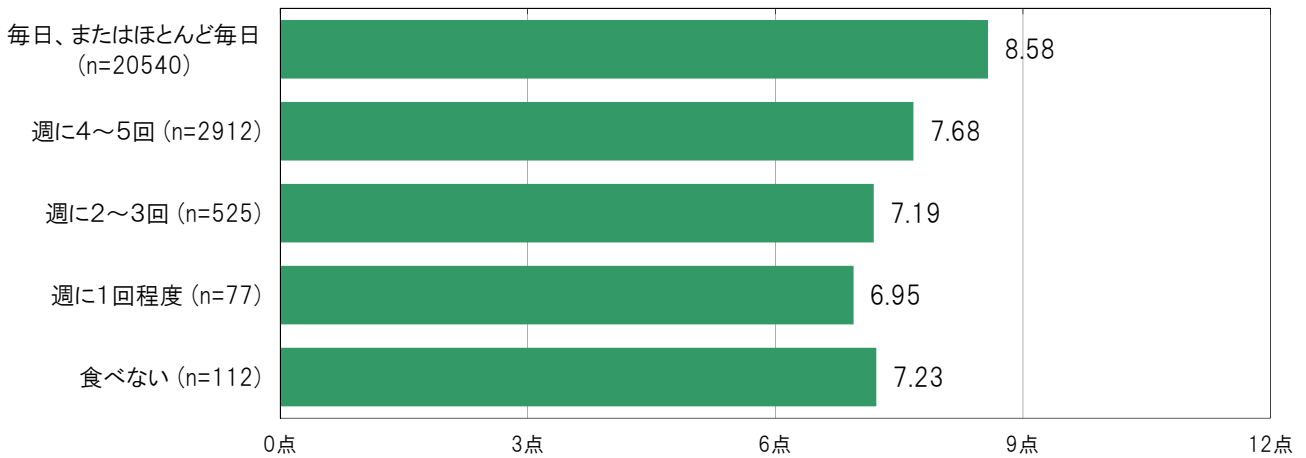
A-227.休日に昼食を食べる頻度別 子どもの自己効力感の合計得点(最大12点)【子ども 問26(1)~(3)】

大阪市中央区の休日に昼食を食べる頻度別の自己効力感(セルフ・エフィカシー)の合計得点は、「毎日、またはほとんど毎日」8.81点、「週に4~5回」7.85点、「週に2~3回」7.22点、「週に1回程度」7.50点、「食べない」8.50点となっている。

〔大阪市中央区／休日に昼食を食べる頻度別〕



〔大阪市24区／休日に昼食を食べる頻度別〕

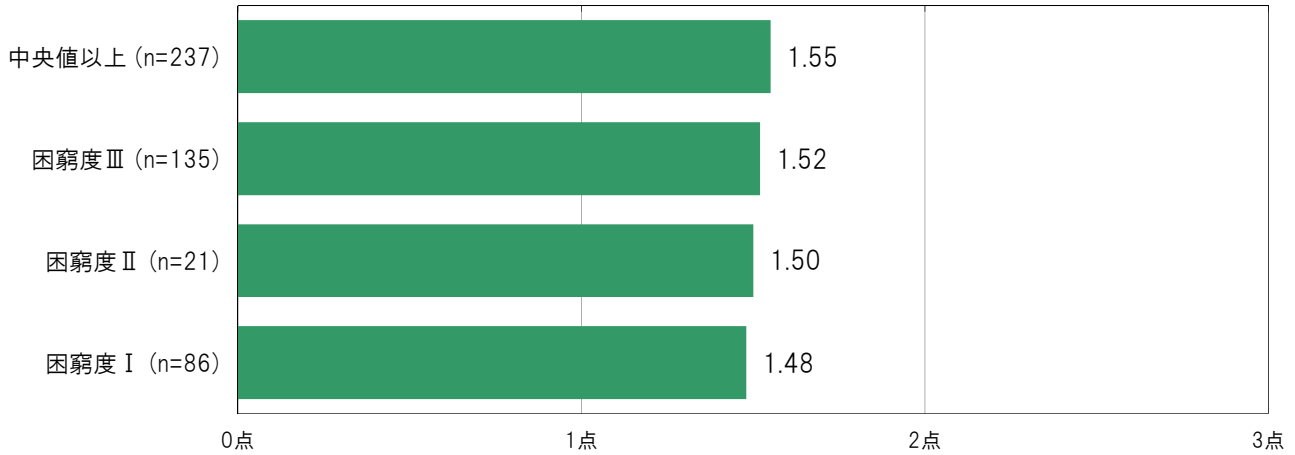


A-228.困窮度別 楽しみにしていることがたくさんある【子ども 問22①】

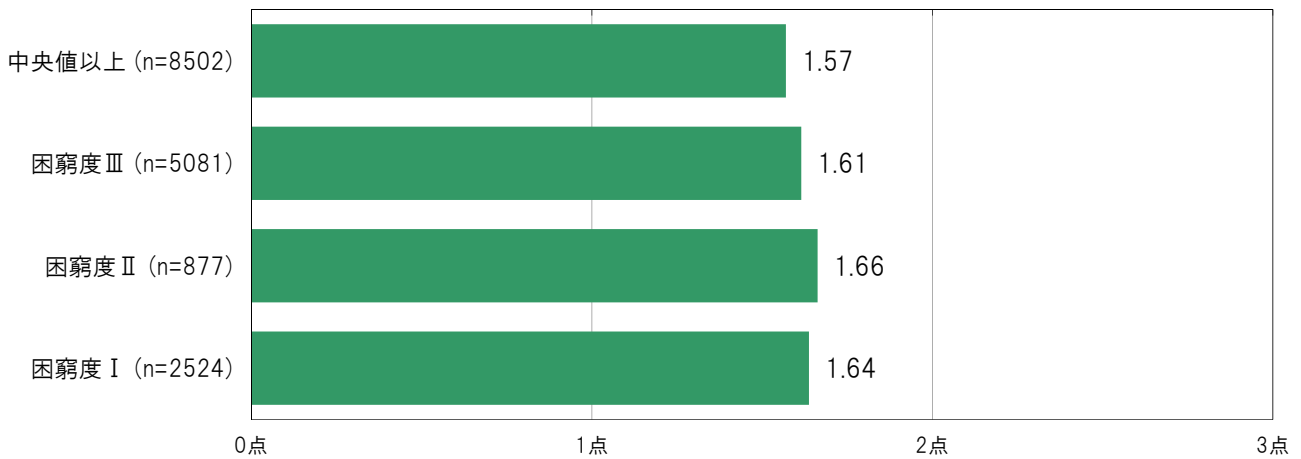
大阪市中央区の困窮度別の加重得点平均は、「中央値以上」1.55点、「困窮度Ⅲ」1.52点、「困窮度Ⅱ」1.50点、「困窮度Ⅰ」1.48点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市中央区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

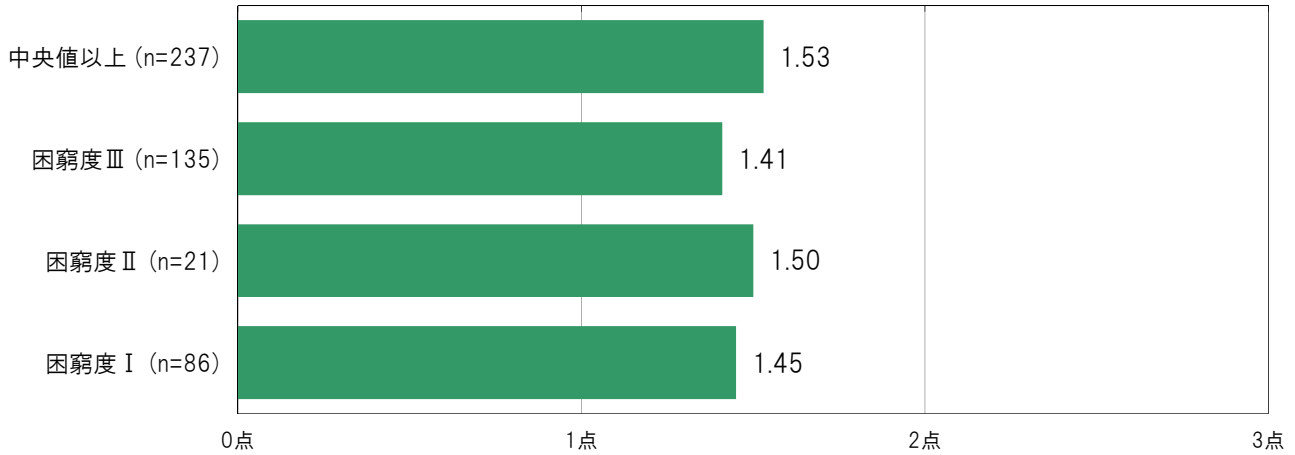


A-229.困窮度別 遊びにでかけるのが好きだ【子ども 問22②】

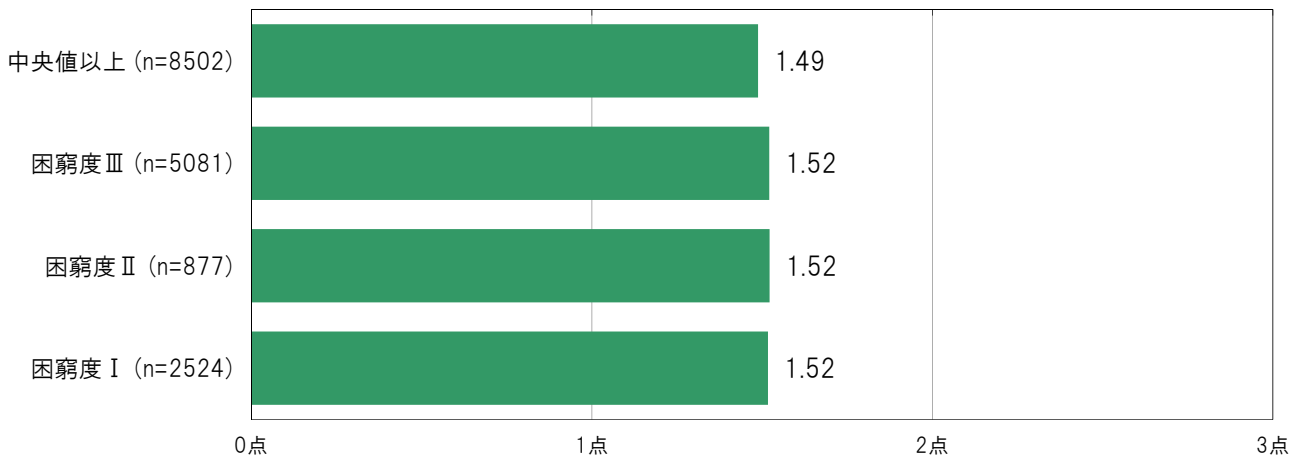
大阪市中央区の困窮度別の加重得点平均は、「中央値以上」1.53点、「困窮度Ⅲ」1.41点、「困窮度Ⅱ」1.50点、「困窮度Ⅰ」1.45点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市中央区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

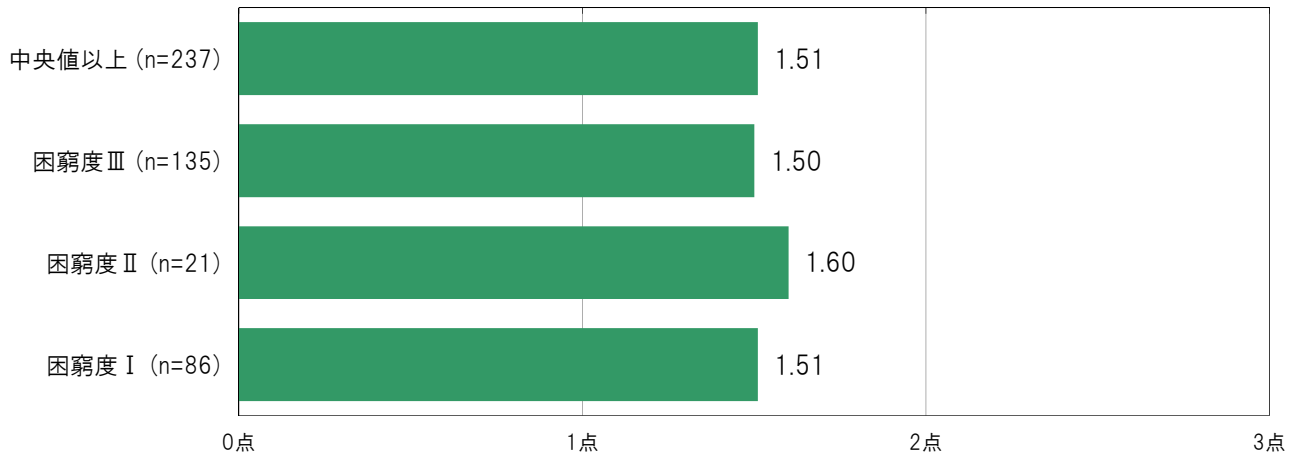


A-230.困窮度別 元気いっぱい【子ども 問22③】

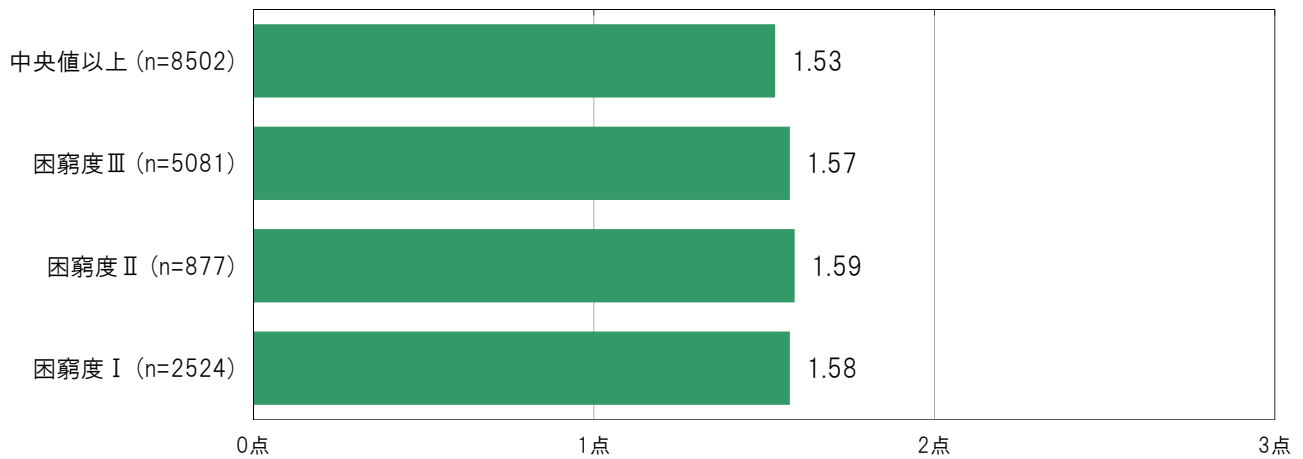
大阪市中央区の困窮度別の加重得点平均は、「中央値以上」1.51点、「困窮度Ⅲ」1.50点、「困窮度Ⅱ」1.60点、「困窮度Ⅰ」1.51点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市中央区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

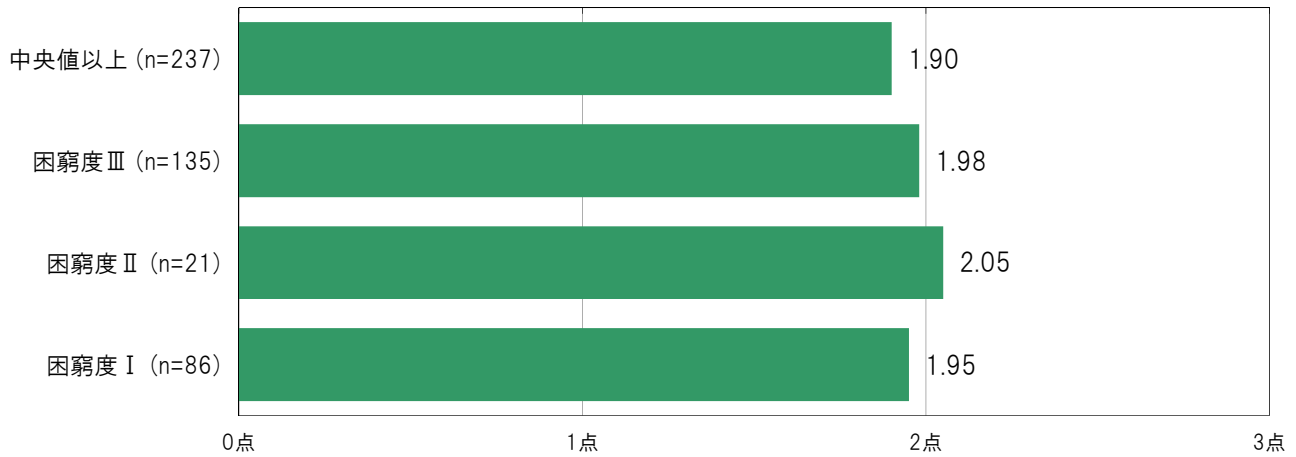


A-231.困窮度別 やろうと思ったことがうまくできる【子ども 問22④】

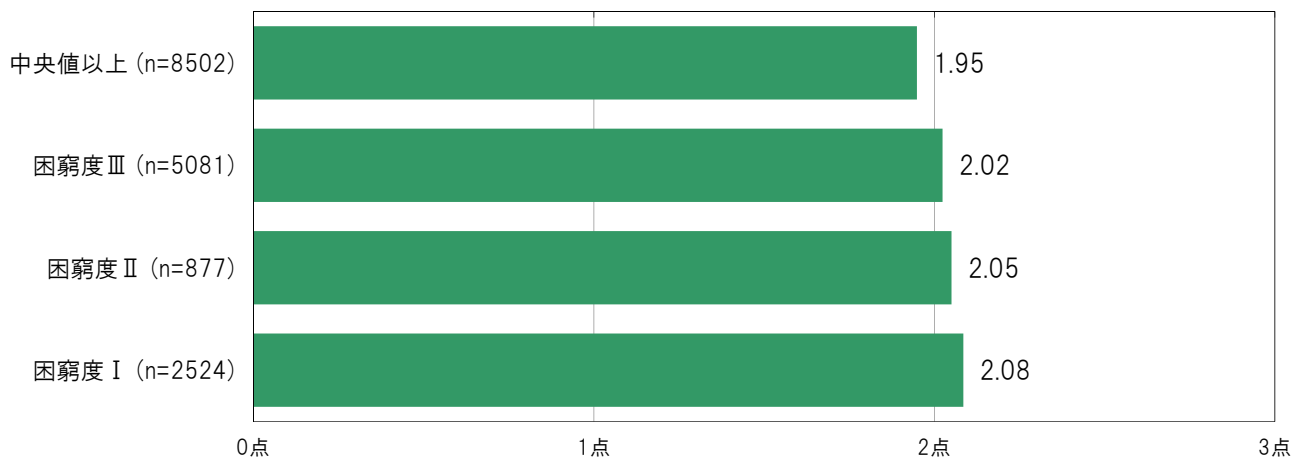
大阪市中央区の困窮度別の加重得点平均は、「中央値以上」1.90点、「困窮度Ⅲ」1.98点、「困窮度Ⅱ」2.05点、「困窮度Ⅰ」1.95点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市中央区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

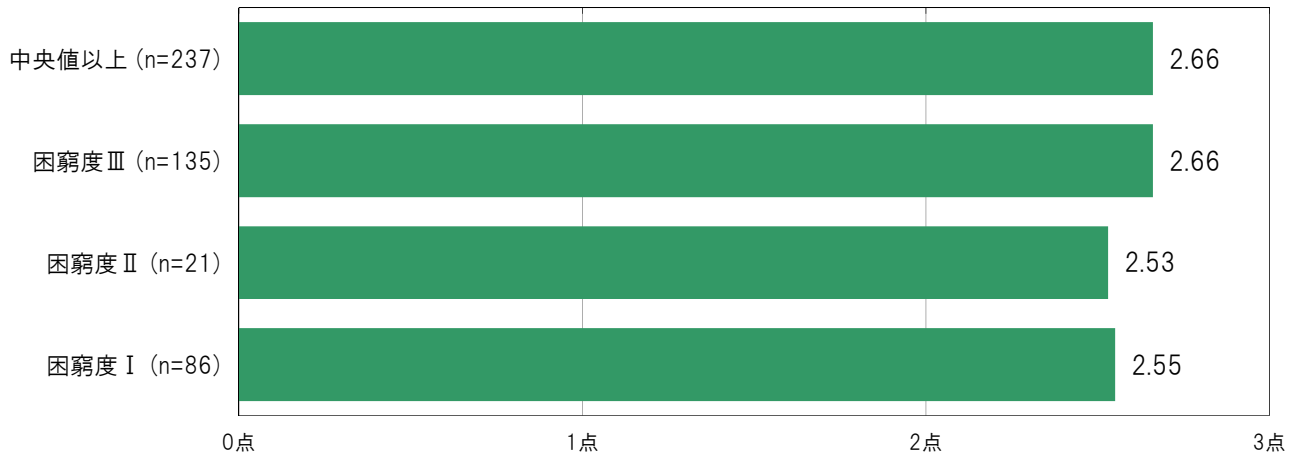


A-232.困窮度別 一人ぼっちのような気がする【子ども 問22⑤】

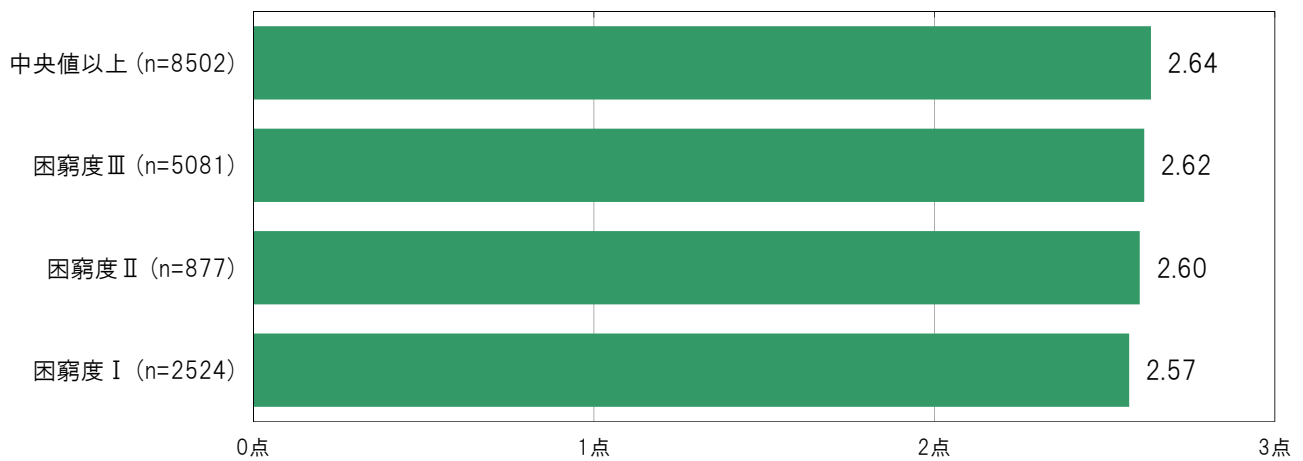
大阪市中央区の困窮度別の加重得点平均は、「中央値以上」2.66点、「困窮度Ⅲ」2.66点、「困窮度Ⅱ」2.53点、「困窮度Ⅰ」2.55点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市中央区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

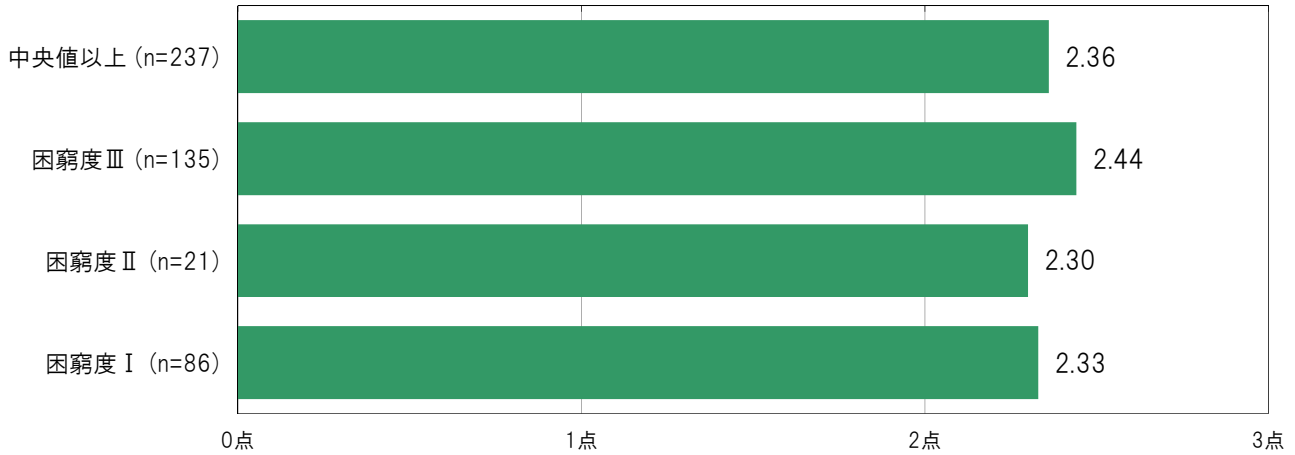


A-233.困窮度別 不安な気持ちになる【子ども 問22⑥】

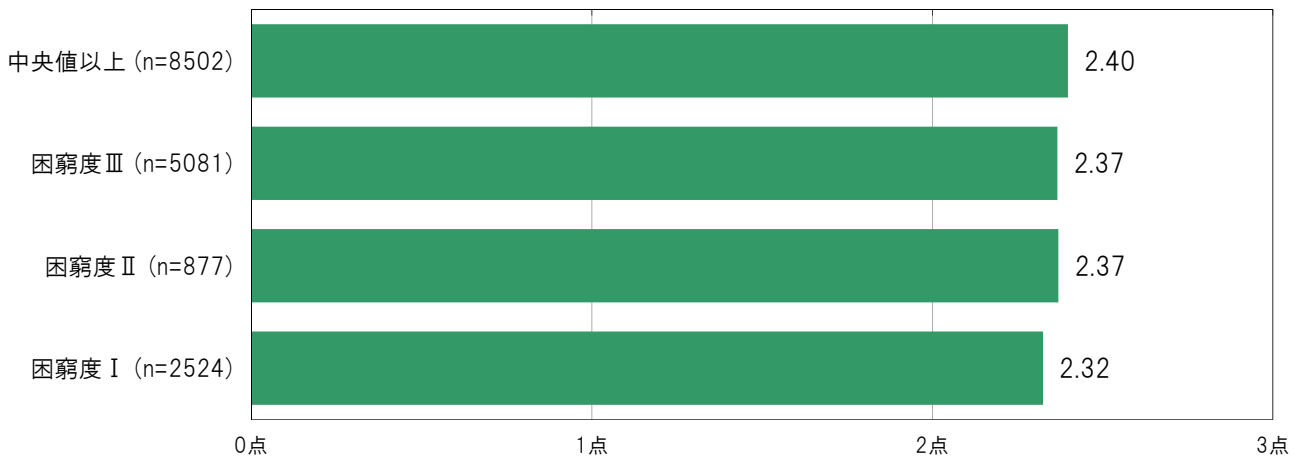
大阪市中央区の困窮度別の加重得点平均は、「中央値以上」2.36点、「困窮度Ⅲ」2.44点、「困窮度Ⅱ」2.30点、「困窮度Ⅰ」2.33点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市中央区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

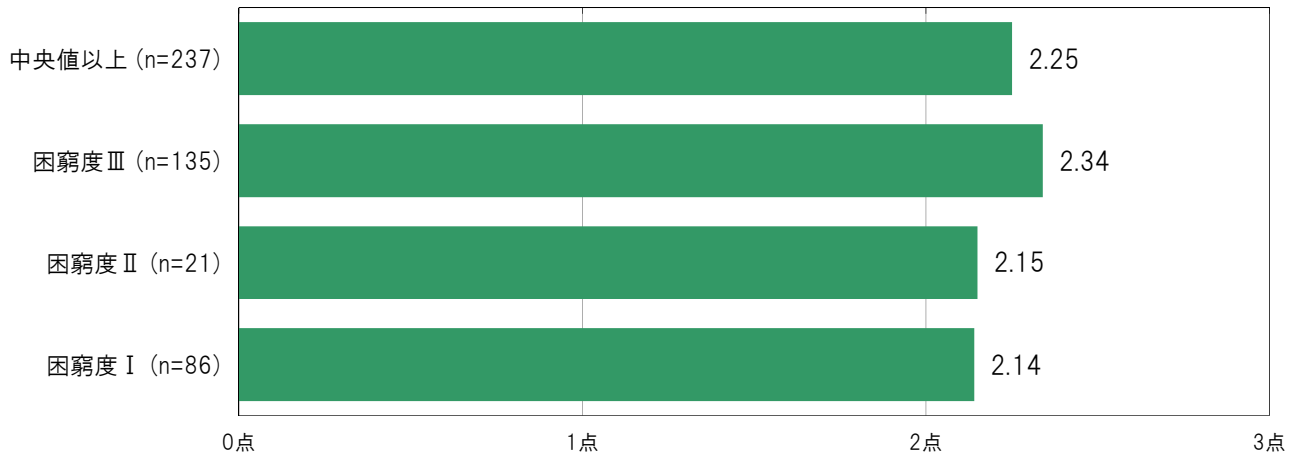


A-234.困窮度別 まわりが気になる【子ども 問22⑦】

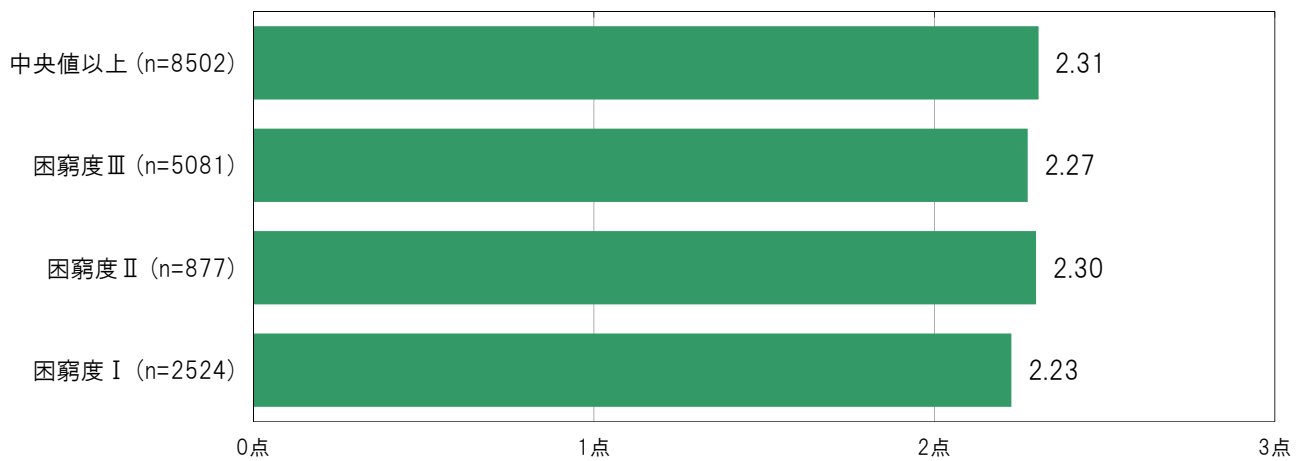
大阪市中央区の困窮度別の加重得点平均は、「中央値以上」2.25点、「困窮度Ⅲ」2.34点、「困窮度Ⅱ」2.15点、「困窮度Ⅰ」2.14点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市中央区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

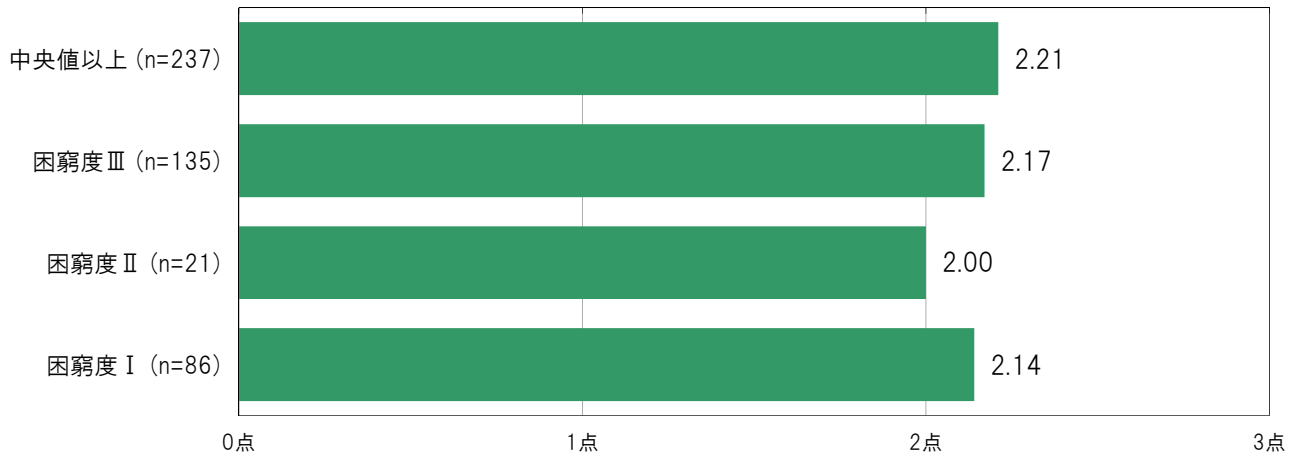


A-235.困窮度別 やる気が起きない〔子ども 問22⑧〕

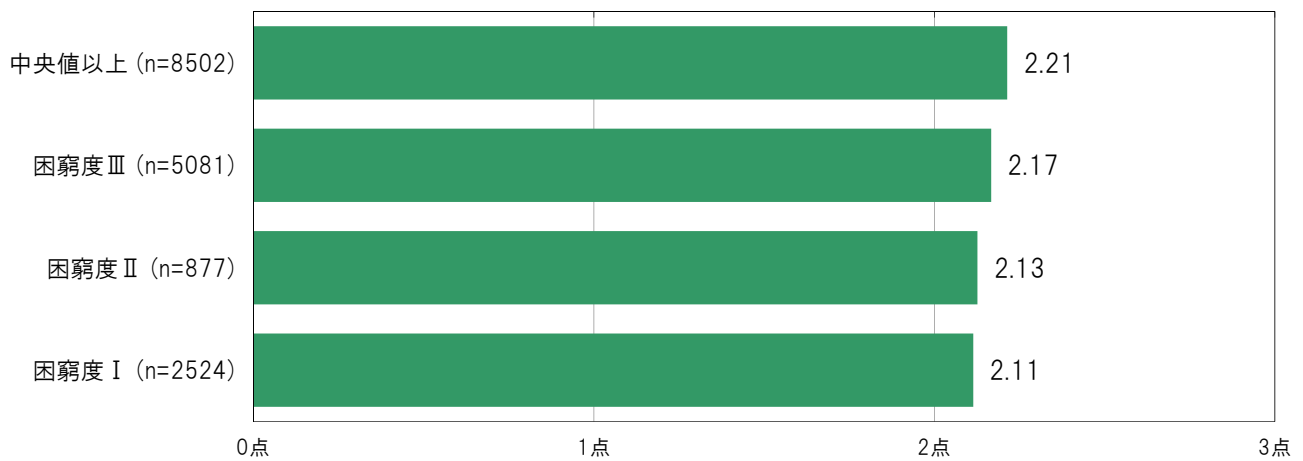
大阪市中央区の困窮度別の加重得点平均は、「中央値以上」2.21点、「困窮度Ⅲ」2.17点、「困窮度Ⅱ」2.00点、「困窮度Ⅰ」2.14点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市中央区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

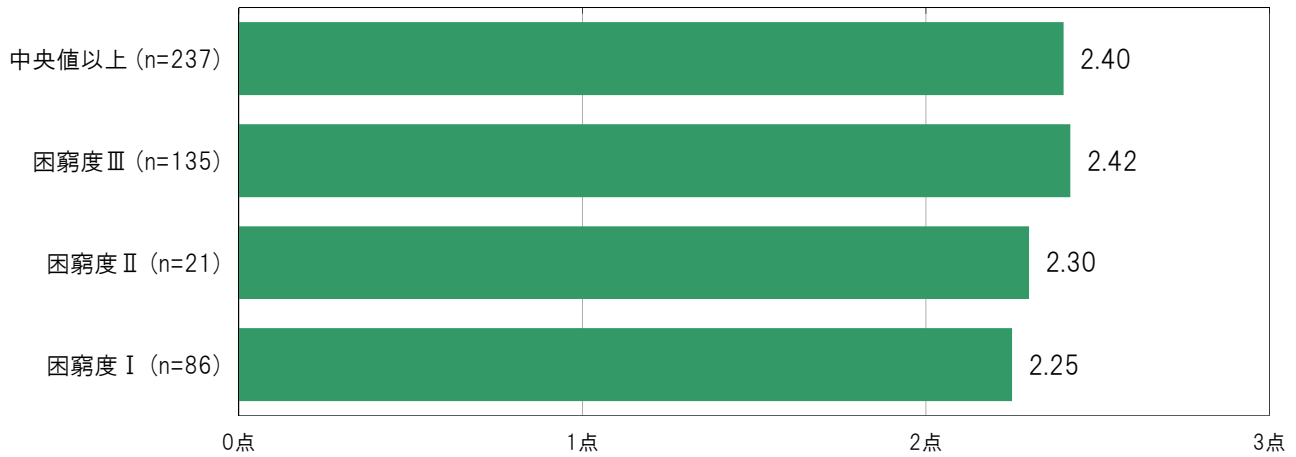


A-236.困窮度別 いろいろする【子ども 問22㊹】

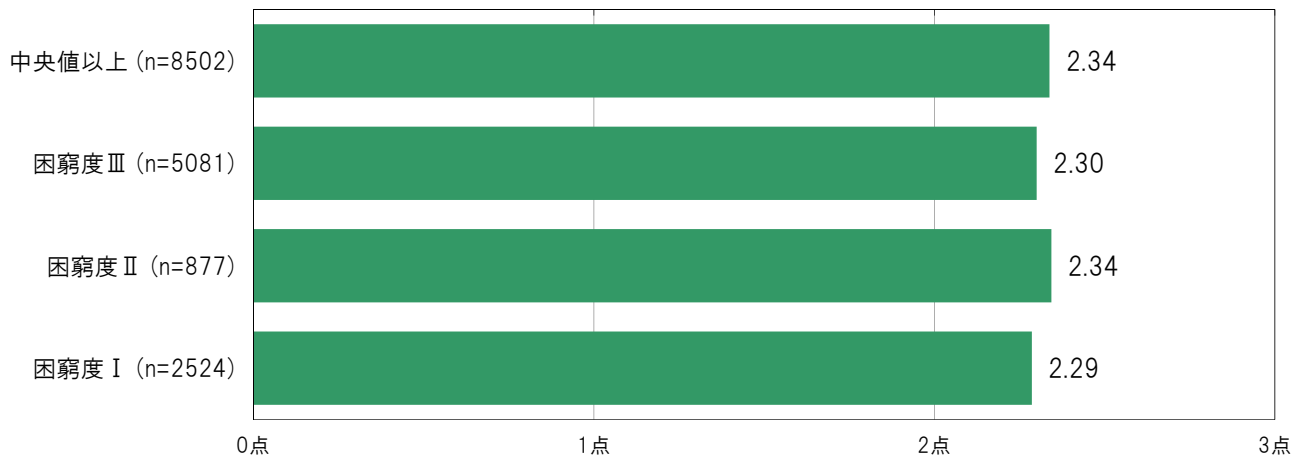
大阪市中央区の困窮度別の加重得点平均は、「中央値以上」2.40点、「困窮度Ⅲ」2.42点、「困窮度Ⅱ」2.30点、「困窮度Ⅰ」2.25点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市中央区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

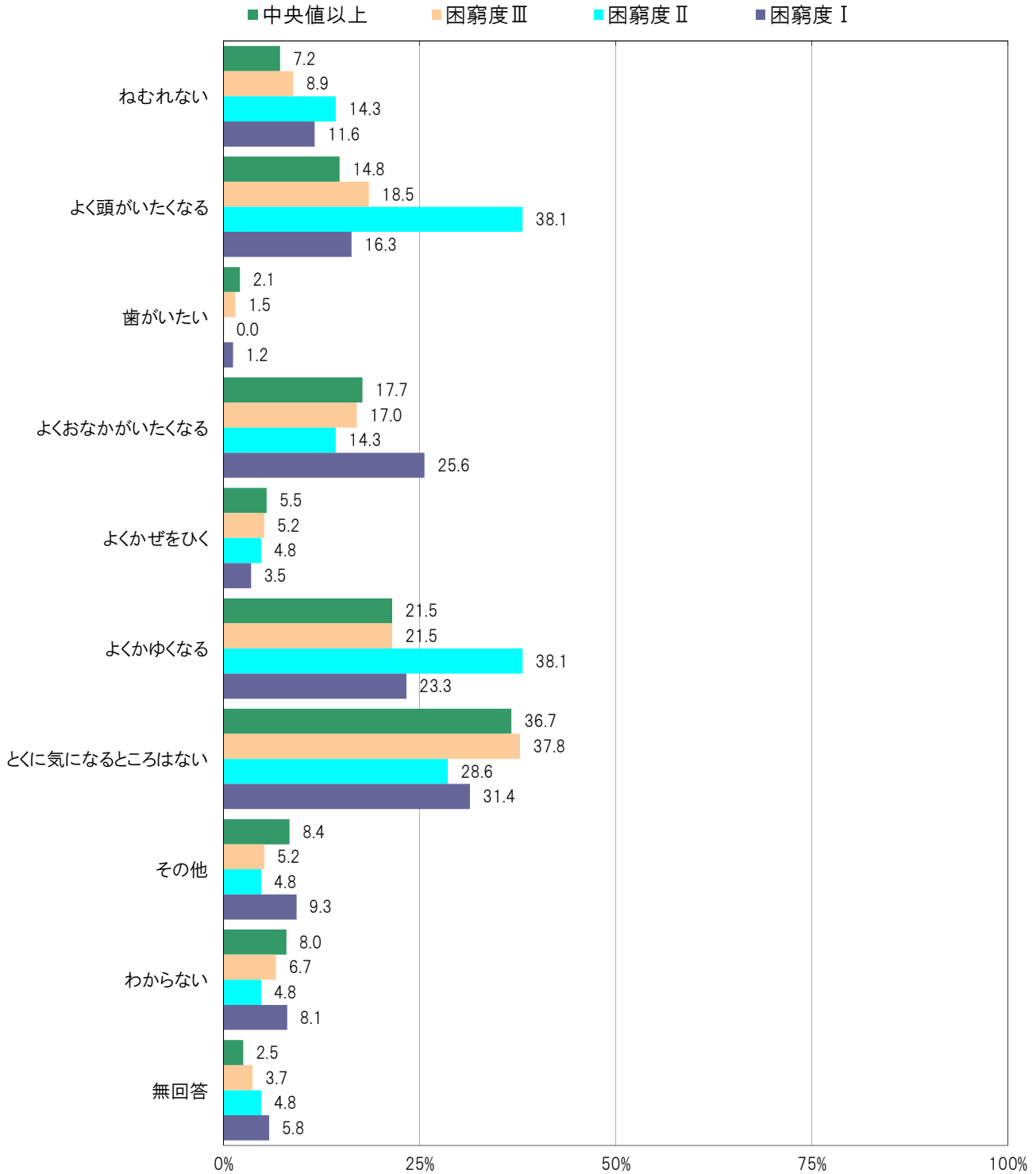


A-237.困窮度別 自分の体の状態で気になること【子ども 問23】

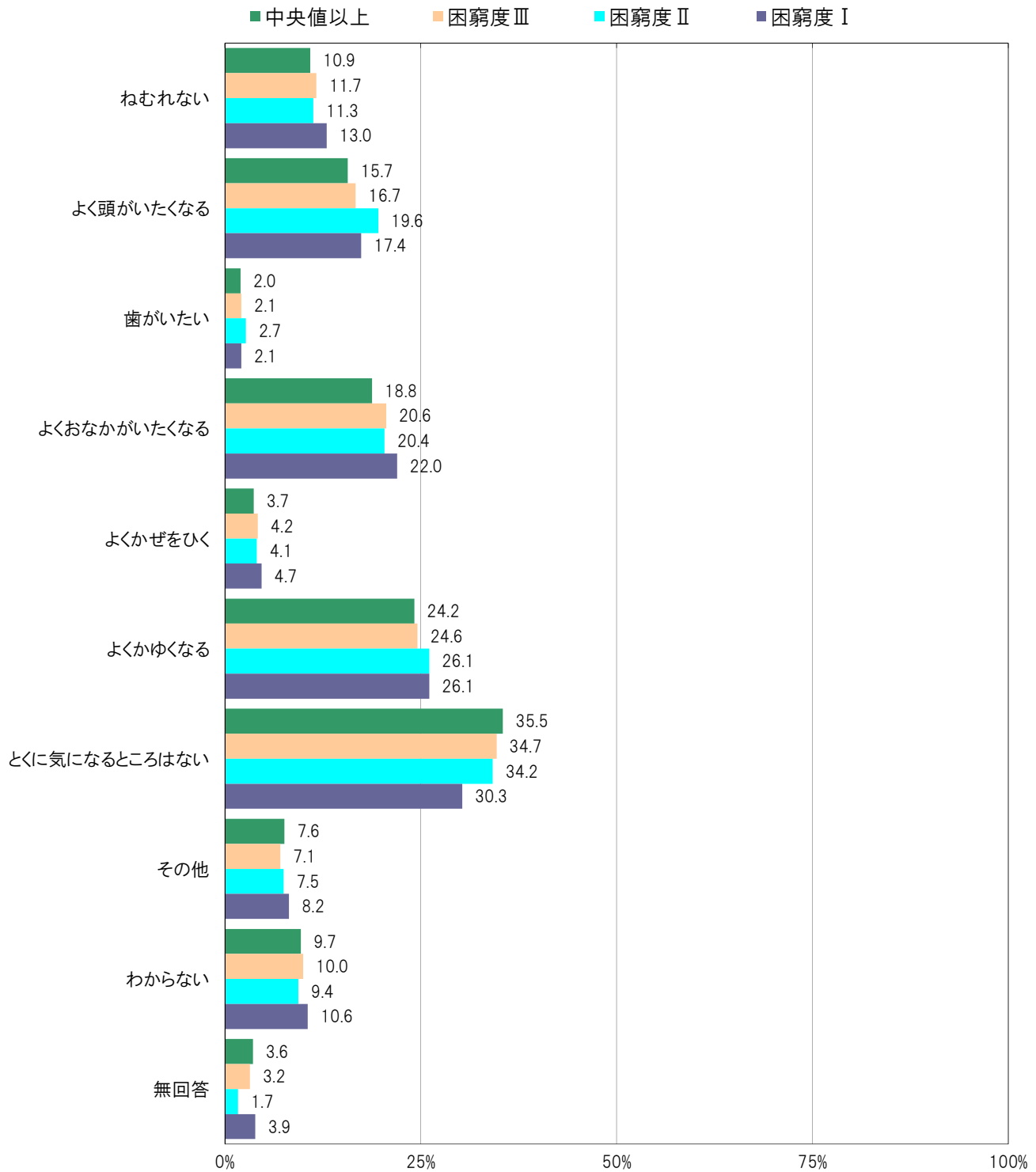
大阪市中央区の困窮度Ⅰ群においては、「とくに気になるところはない」31.4%、「よくおなかがいたくなる」25.6%、「よくかゆくなる」23.3%の順に高くなっている。

大阪市中央区の中央値以上群においては、「とくに気になるところはない」36.7%、「よくかゆくなる」21.5%、「よくおなかがいたくなる」17.7%の順に高くなっている。

〔大阪市中央区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

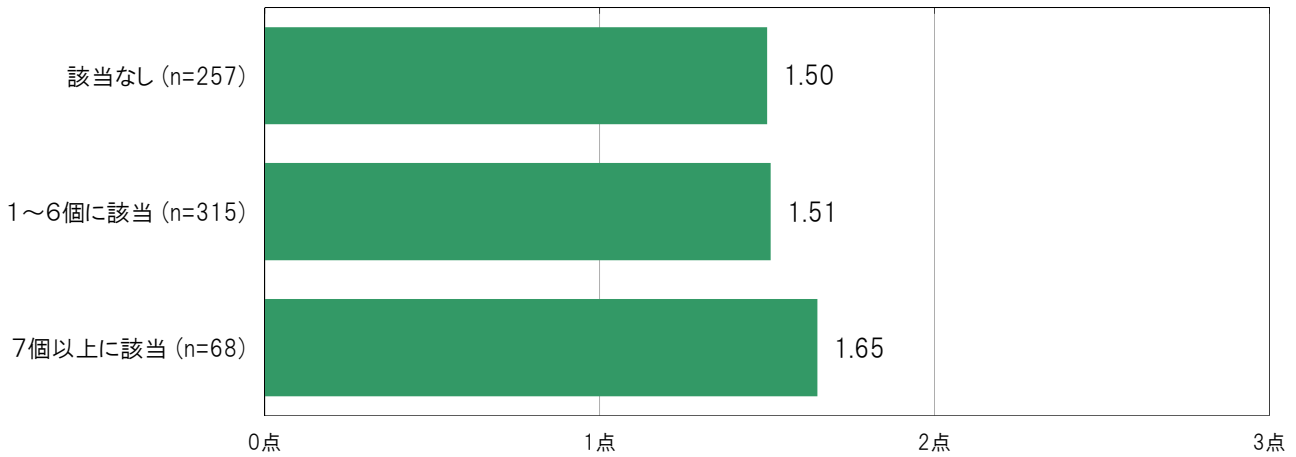


A-238.はく奪指標別 楽しみにしていることがたくさんある【子ども 問22①】

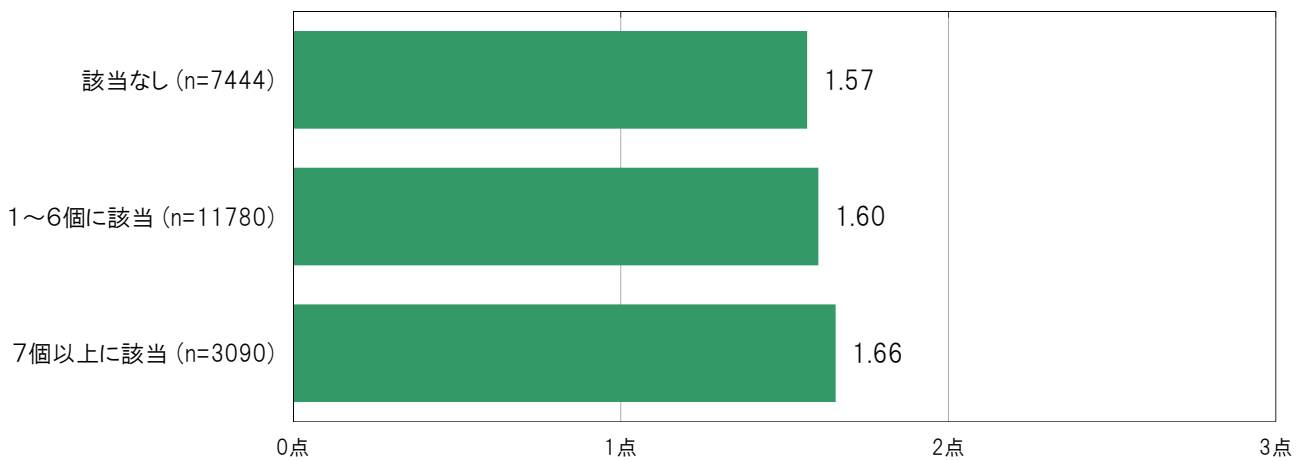
大阪市中央区のはく奪指標別の加重得点平均は、「該当なし」1.50点、「1～6個に該当」1.51点、「7個以上に該当」1.65点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市中央区／はく奪指標別〕



〔大阪市24区／はく奪指標別〕

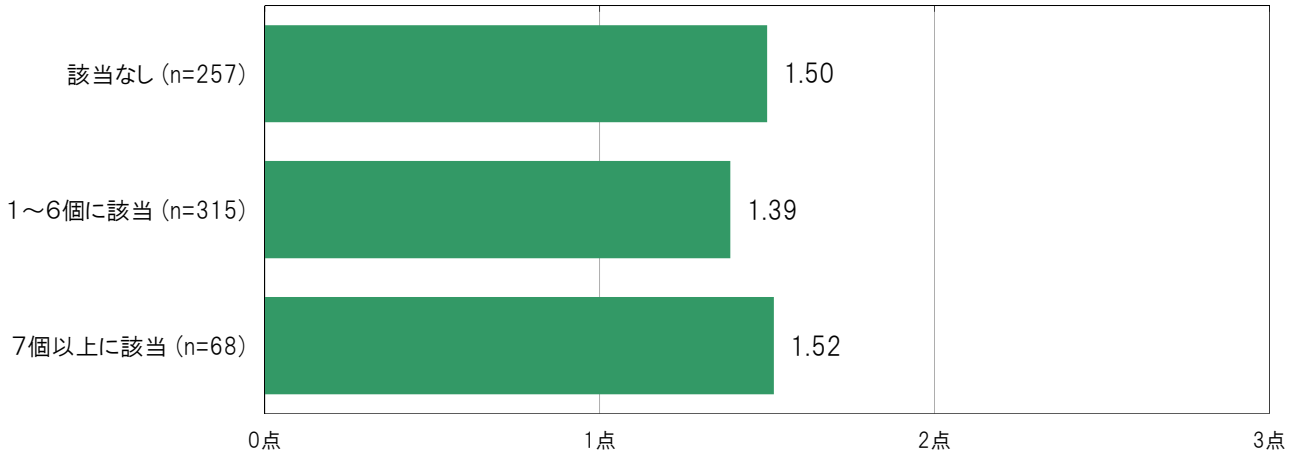


A-239.はく奪指標別 遊びにでかけるのが好きだ【子ども 問22②】

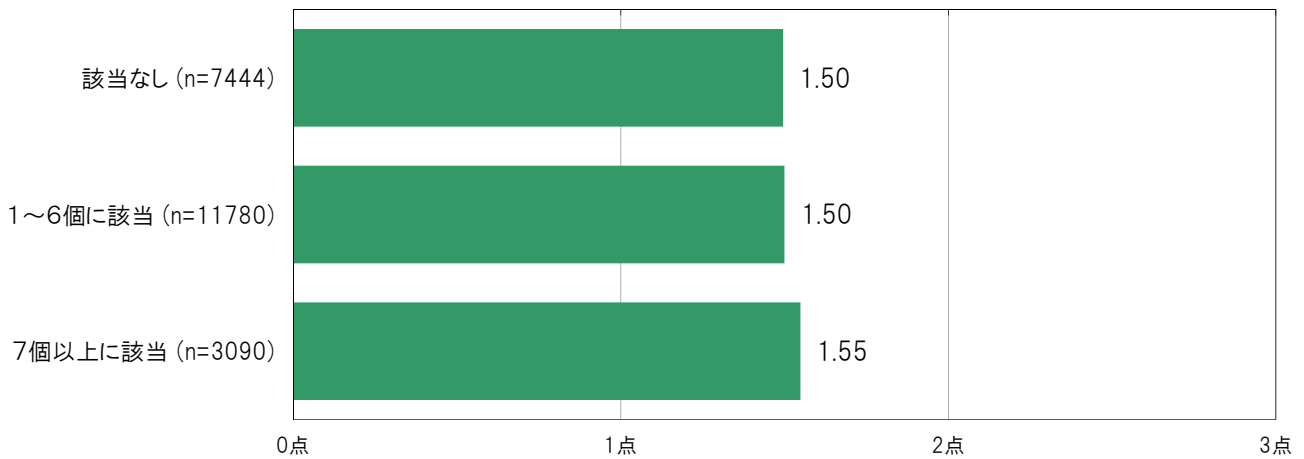
大阪市中央区のはく奪指標別の加重得点平均は、「該当なし」1.50点、「1～6個に該当」1.39点、「7個以上に該当」1.52点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市中央区／はく奪指標別〕



〔大阪市24区／はく奪指標別〕

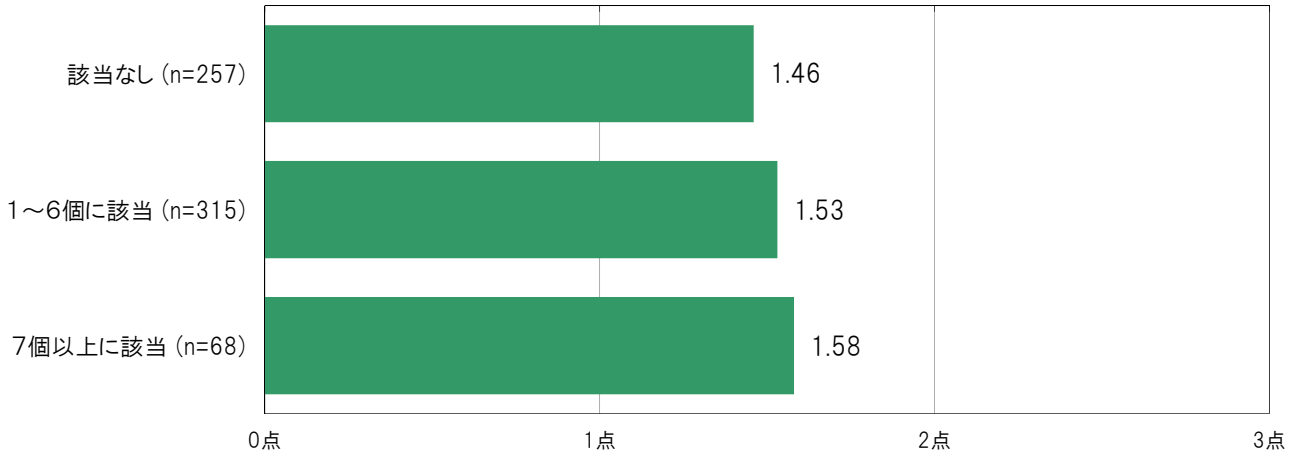


A-240.はく奪指標別 元気いっぱい【子ども 問22③】

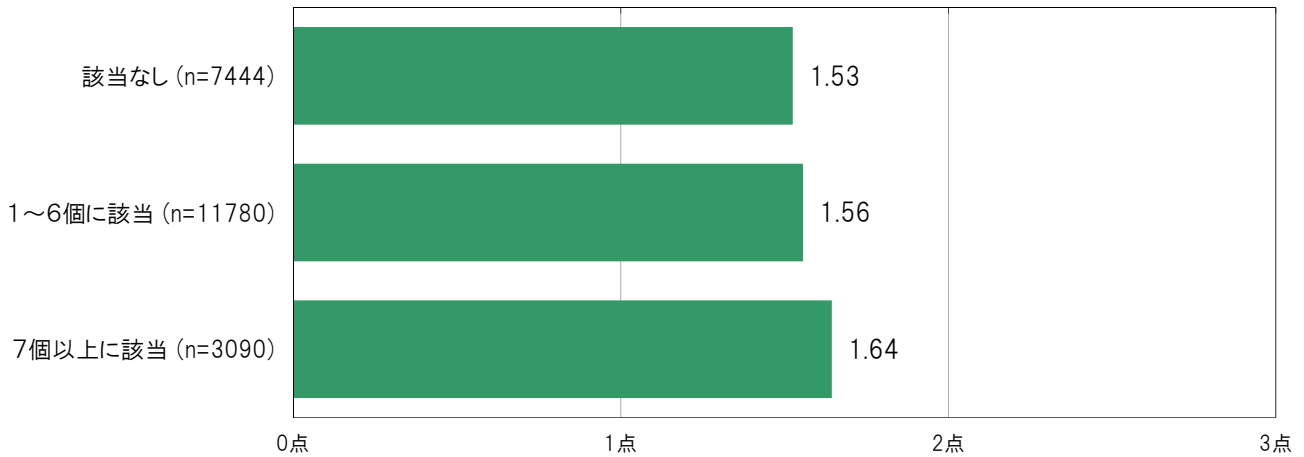
大阪市中央区のはく奪指標別の加重得点平均は、「該当なし」1.46点、「1～6個に該当」1.53点、「7個以上に該当」1.58点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市中央区／はく奪指標別〕



〔大阪市24区／はく奪指標別〕

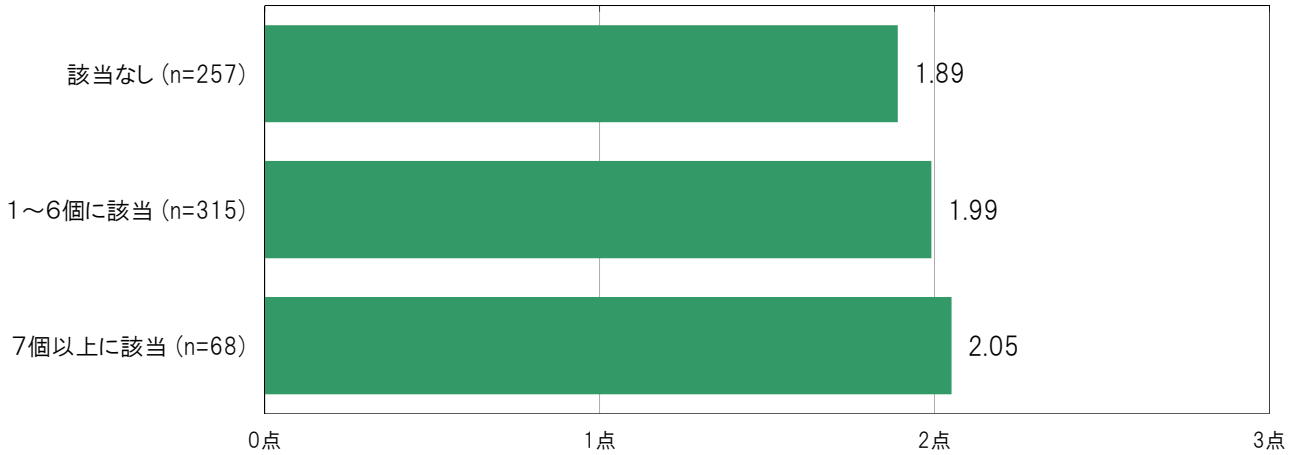


A-241.はく奪指標別 やろうと思ったことがうまくできる【子ども 問22④】

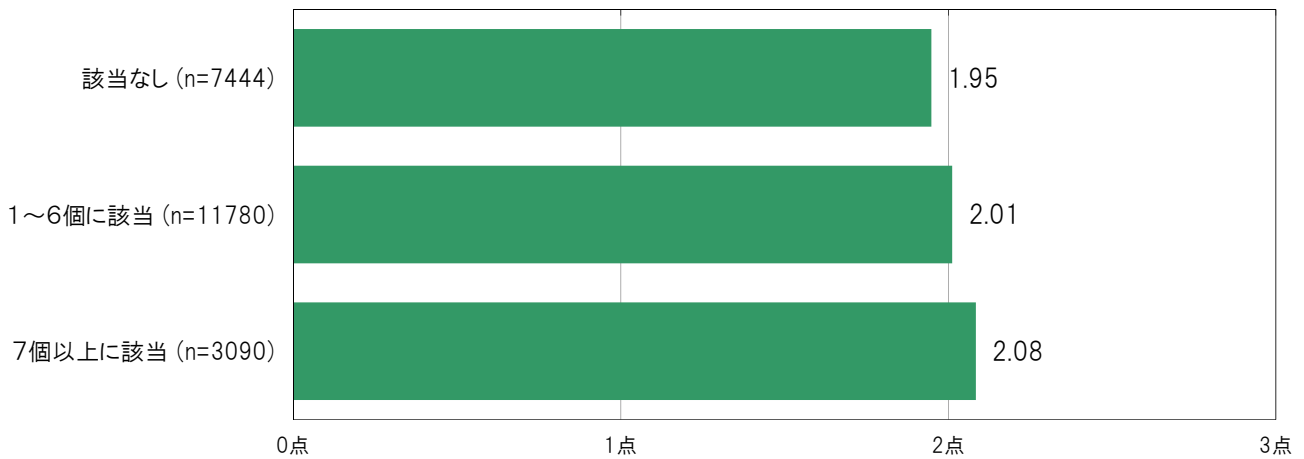
大阪市中央区のはく奪指標別の加重得点平均は、「該当なし」1.89点、「1～6個に該当」1.99点、「7個以上に該当」2.05点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市中央区／はく奪指標別〕



〔大阪市24区／はく奪指標別〕

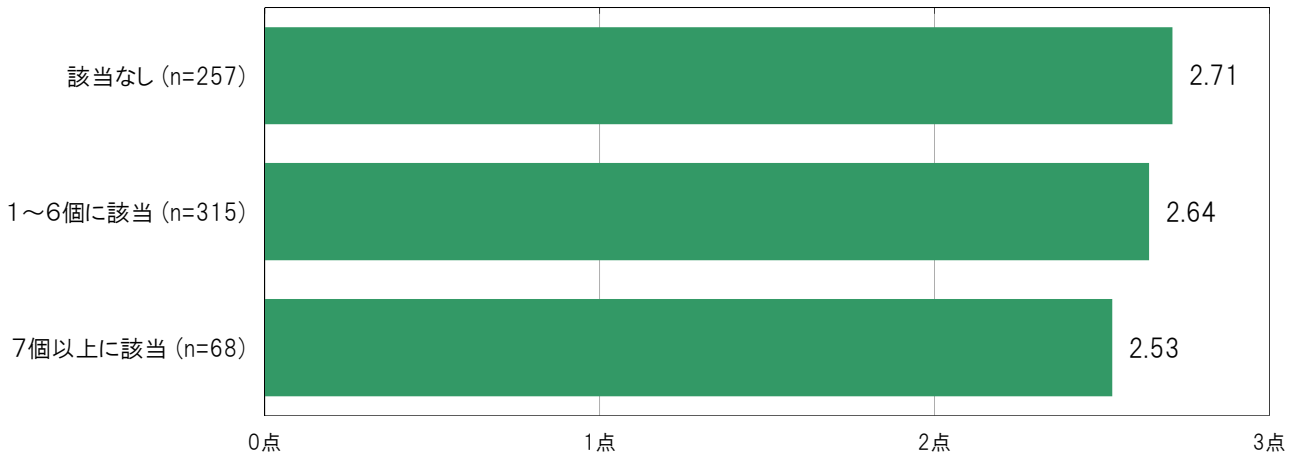


A-242.はく奪指標別 一人ぼっちのような気がする【子ども 問22⑤】

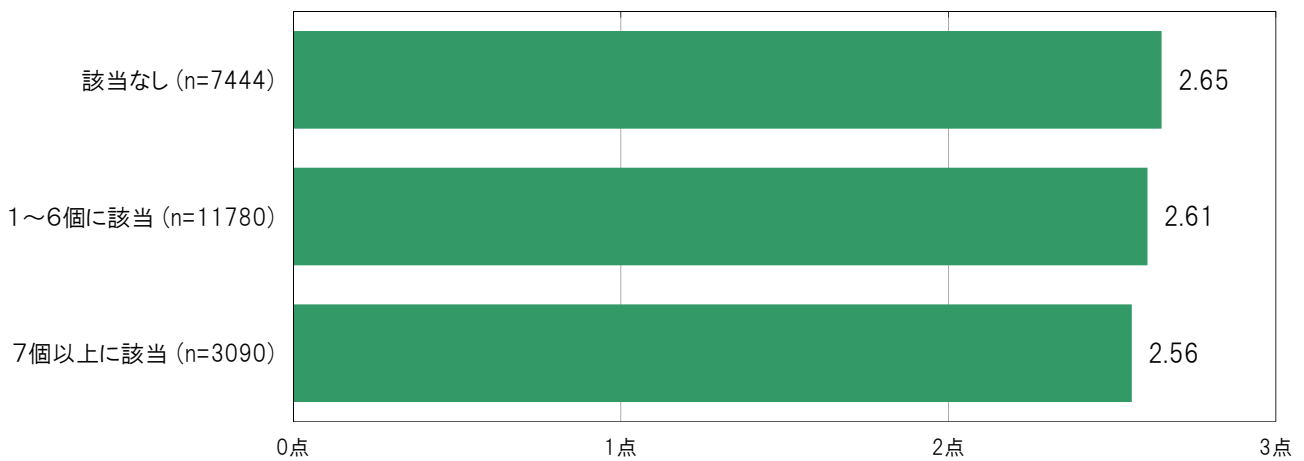
大阪市中央区のはく奪指標別の加重得点平均は、「該当なし」2.71点、「1～6個に該当」2.64点、「7個以上に該当」2.53点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市中央区／はく奪指標別〕



〔大阪市24区／はく奪指標別〕

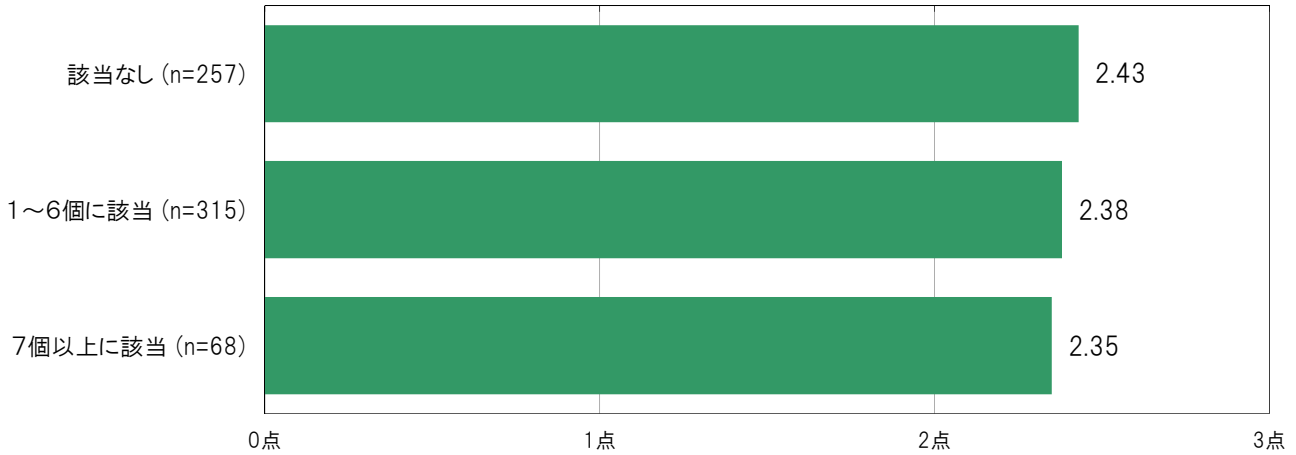


A-243.はく奪指標別 不安な気持ちになる【子ども 問22⑥】

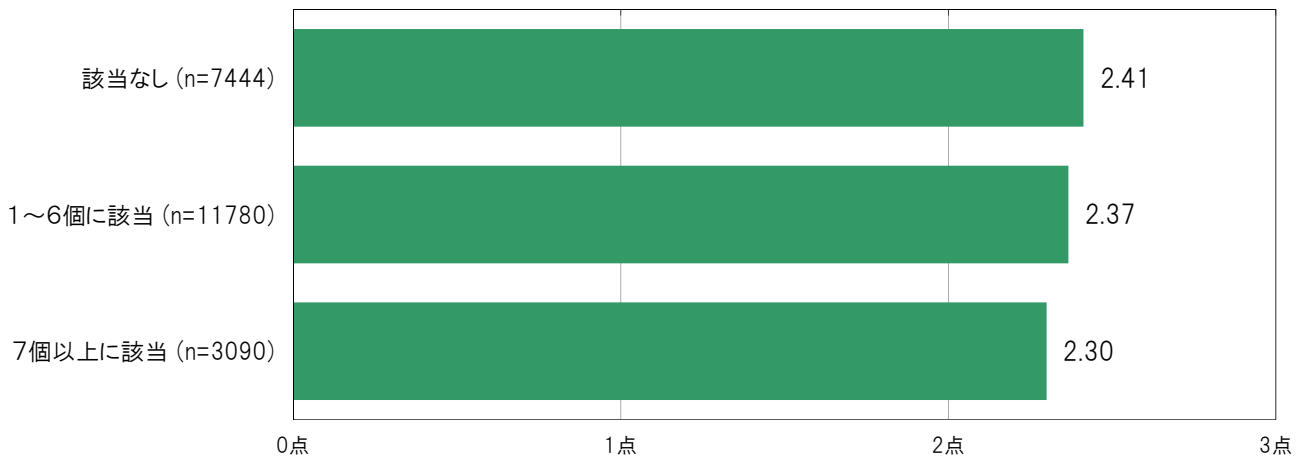
大阪市中央区のはく奪指標別の加重得点平均は、「該当なし」2.43点、「1～6個に該当」2.38点、「7個以上に該当」2.35点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市中央区／はく奪指標別〕



〔大阪市24区／はく奪指標別〕

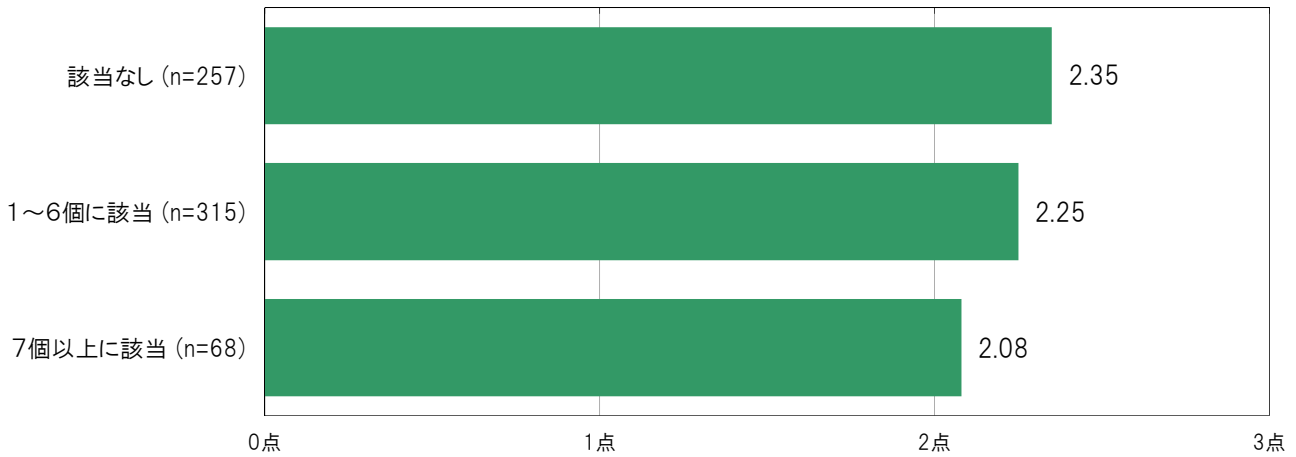


A-244.はく奪指標別 まわりが気になる【子ども 問22⑦】

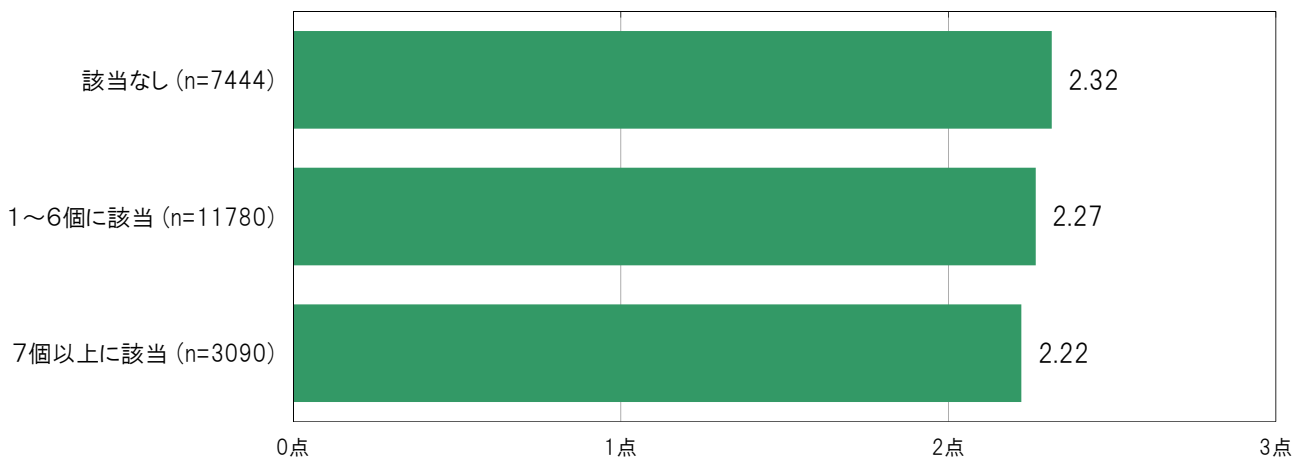
大阪市中央区のはく奪指標別の加重得点平均は、「該当なし」2.35点、「1～6個に該当」2.25点、「7個以上に該当」2.08点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市中央区／はく奪指標別〕



〔大阪市24区／はく奪指標別〕

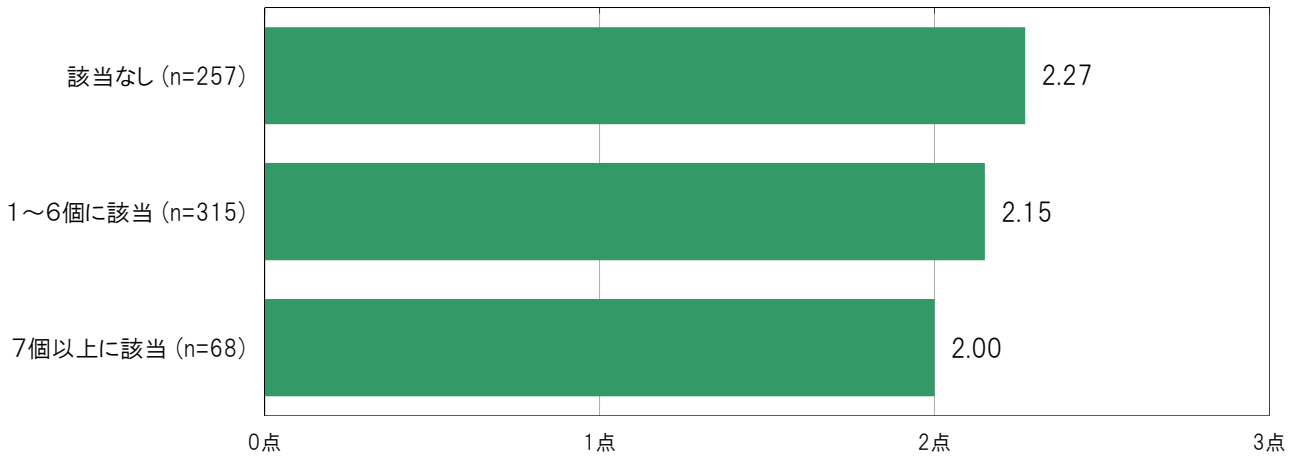


A-245.はく奪指標別 やる気が起きない【子ども 問22⑧】

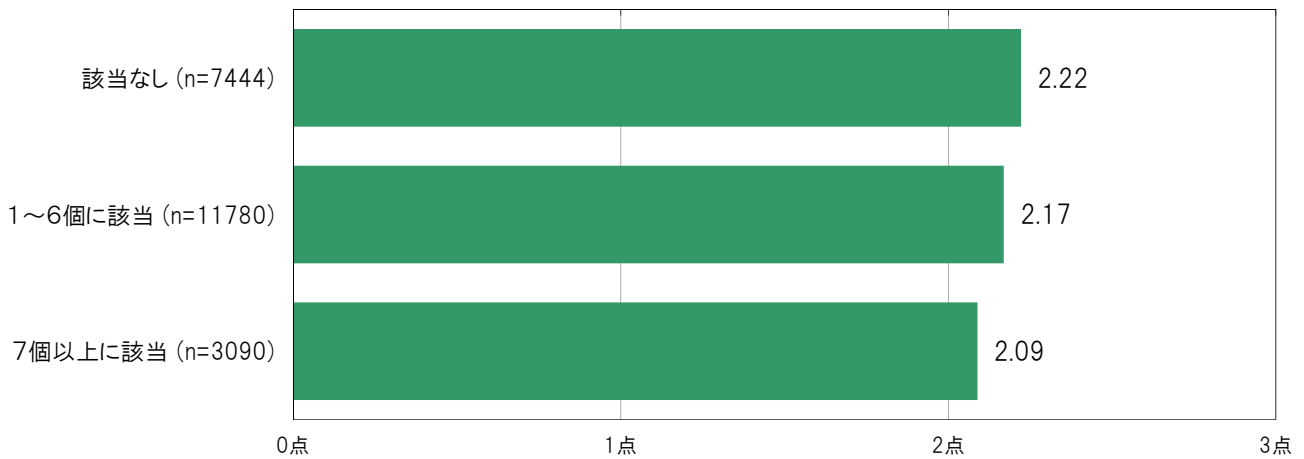
大阪市中央区のはく奪指標別の加重得点平均は、「該当なし」2.27点、「1～6個に該当」2.15点、「7個以上に該当」2.00点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市中央区／はく奪指標別〕



〔大阪市24区／はく奪指標別〕

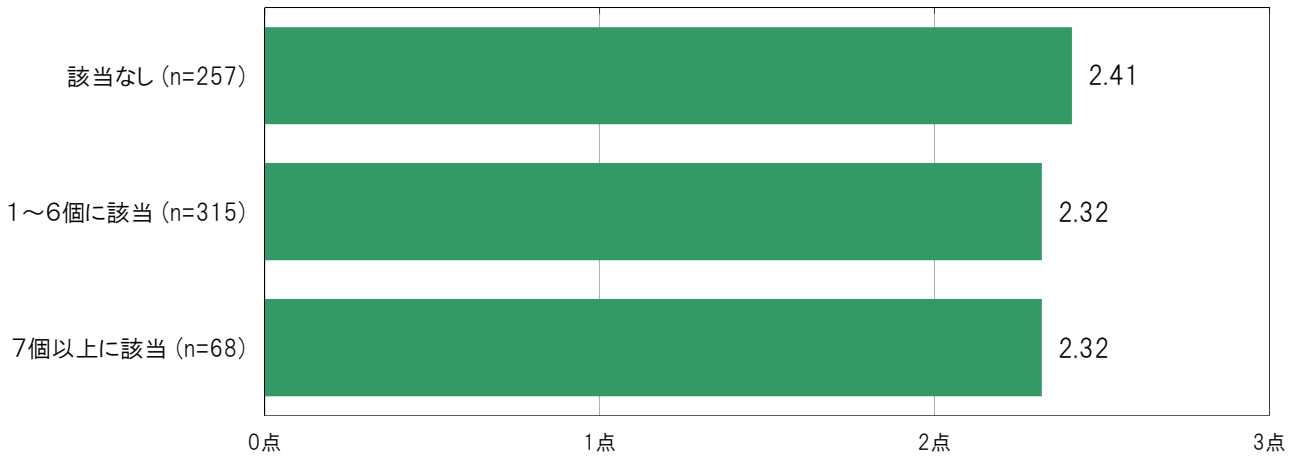


A-246.はく奪指標別 いろいろする【子ども 問22㉑】

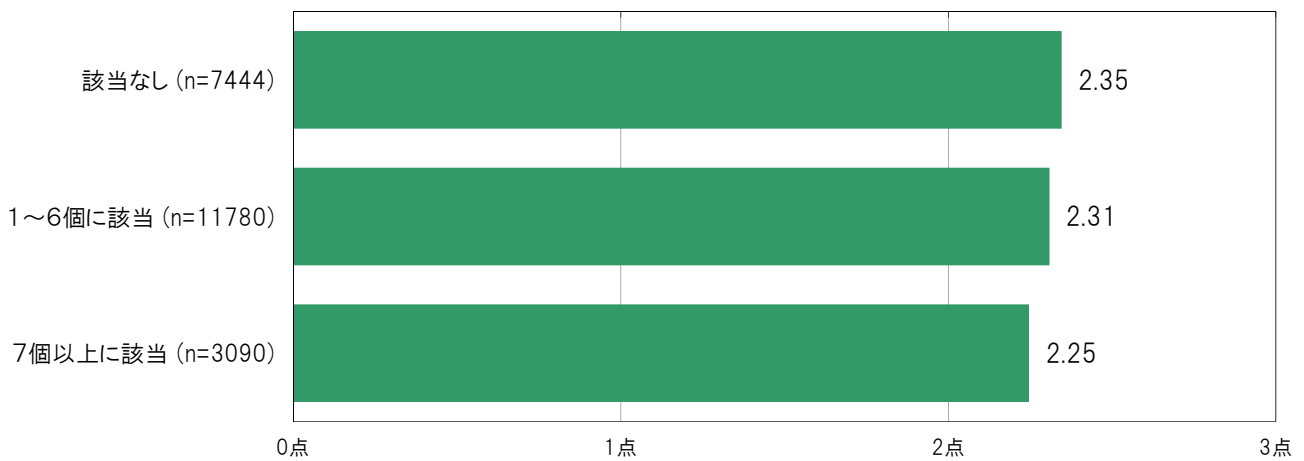
大阪市中央区のはく奪指標別の加重得点平均は、「該当なし」2.41点、「1～6個に該当」2.32点、「7個以上に該当」2.32点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市中央区／はく奪指標別〕



〔大阪市24区／はく奪指標別〕

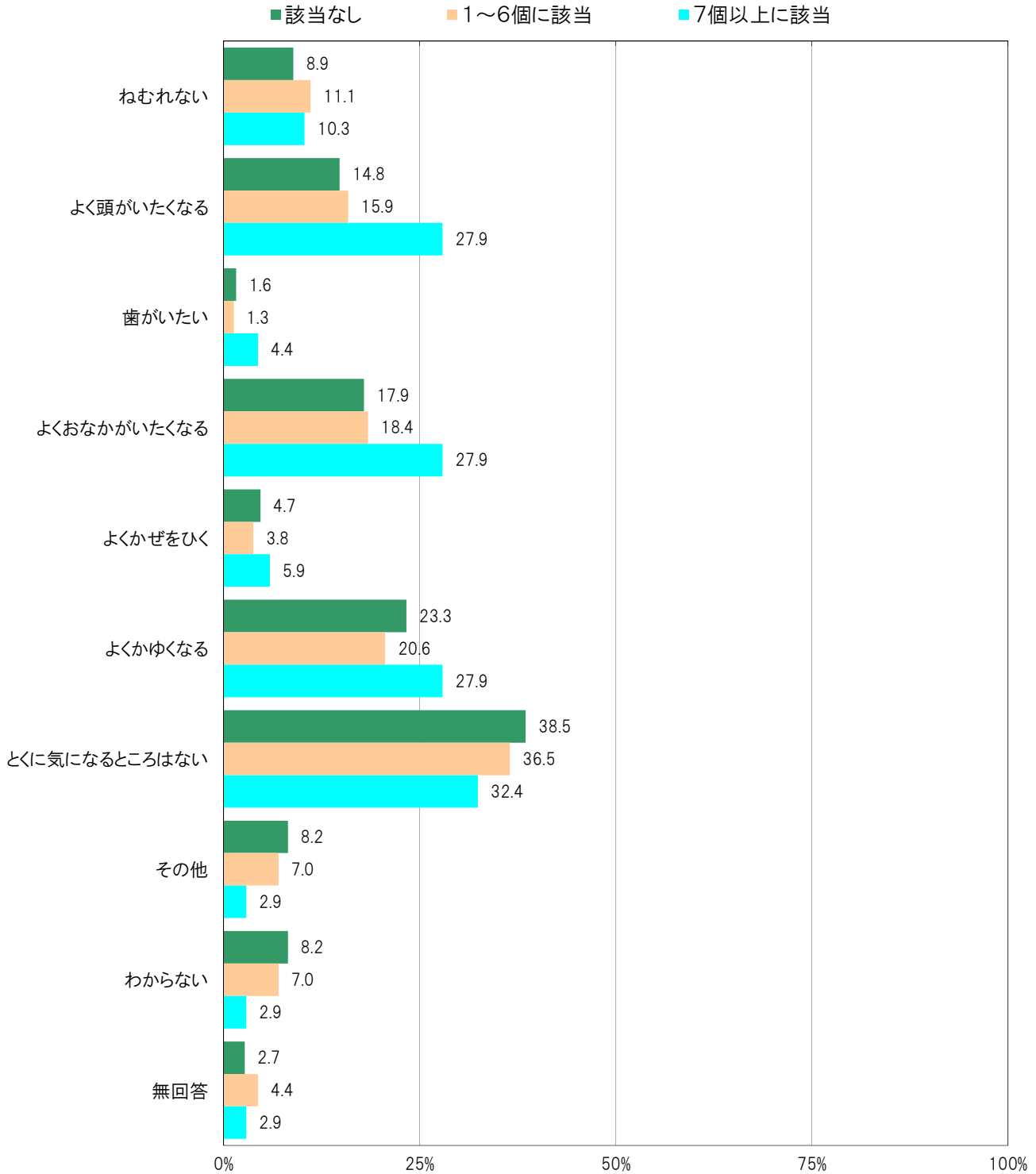


A-247.はく奪指標別 自分の体の状態で気になること〔子ども 問23〕

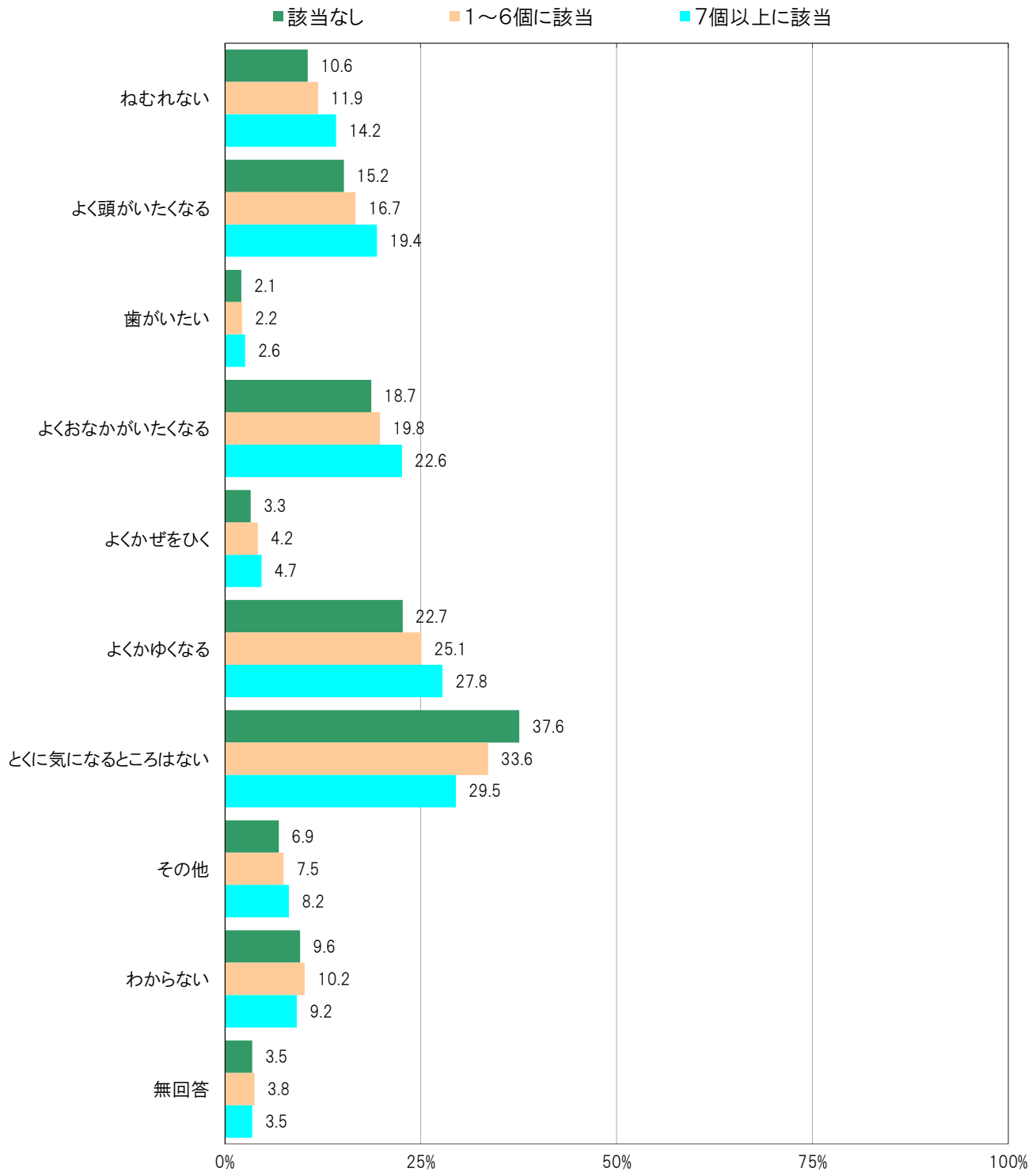
大阪市中央区のはく奪指標／1～6個に該当群においては、「とくに気になるところはない」36.5%、「よくかゆくなる」20.6%、「よくおなかがいたくなる」18.4%の順に高くなっている。

大阪市中央区のはく奪指標／該当なし群においては、「とくに気になるところはない」38.5%、「よくかゆくなる」23.3%、「よくおなかがいたくなる」17.9%の順に高くなっている。

〔大阪市中央区／はく奪指標別〕



〔大阪市24区／はく奪指標別〕

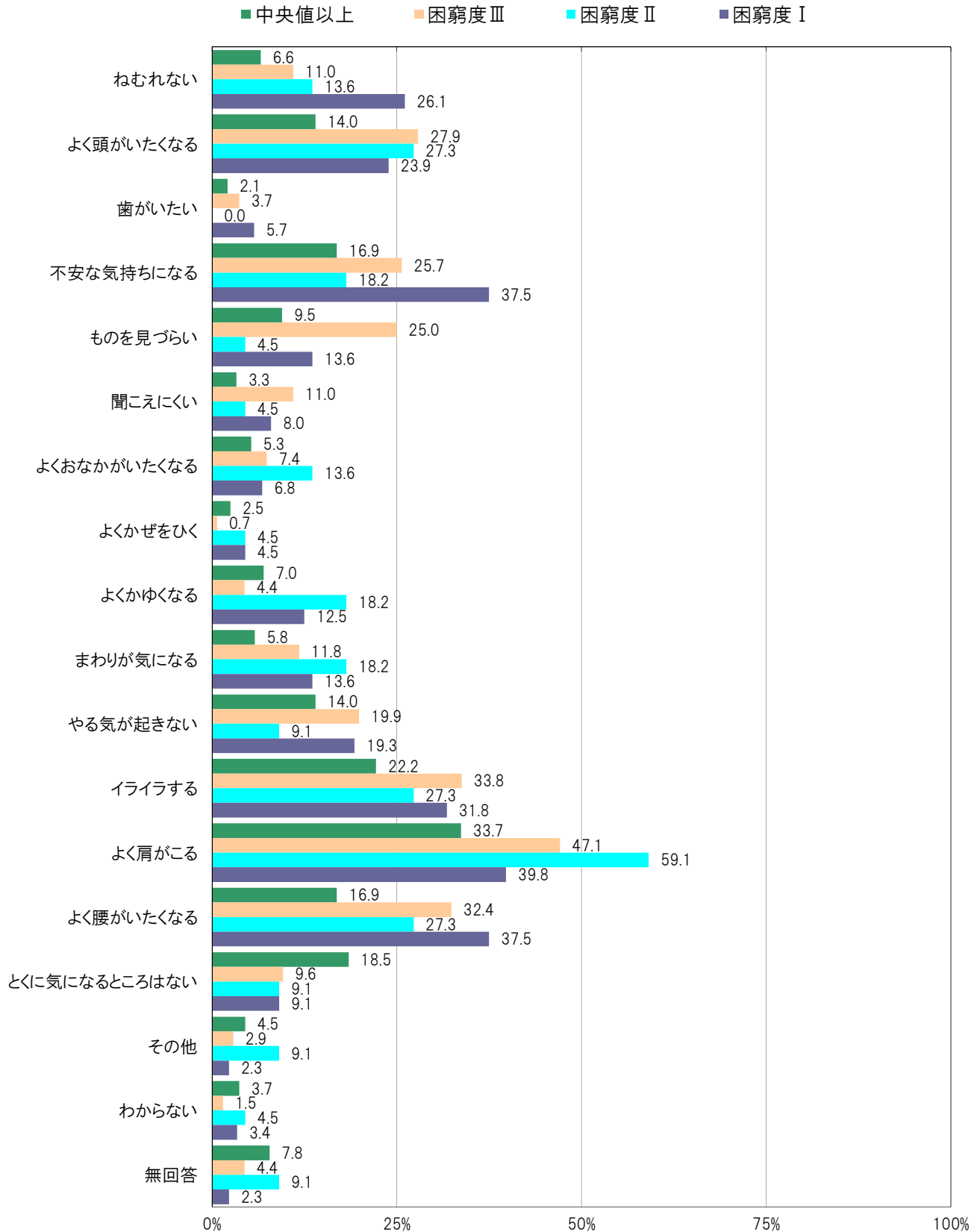


A-248.困窮度別にみた自分の体や気持ちについて気になること【保護者 問23】

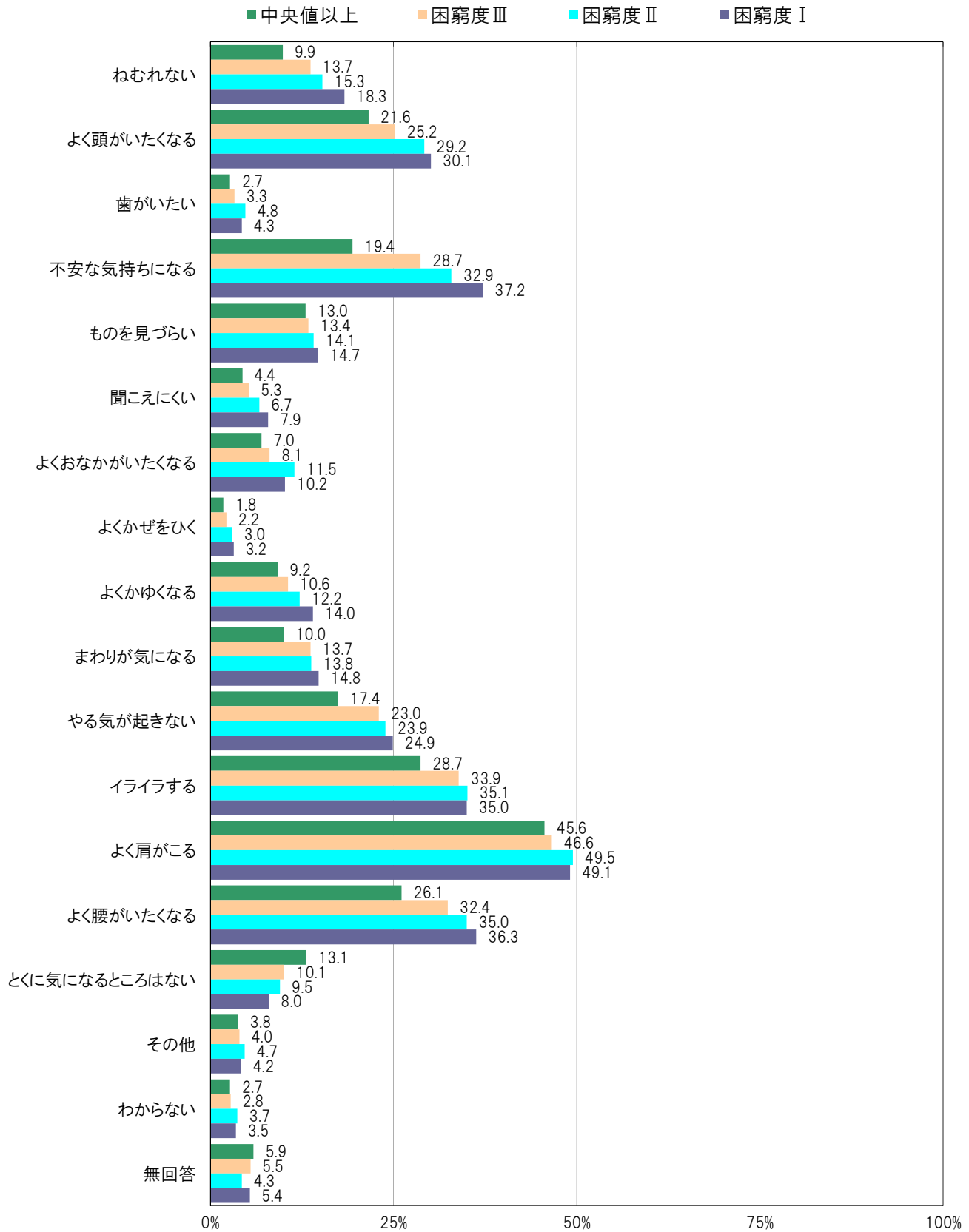
大阪市中央区の困窮度Ⅰ群においては、「よく肩がこる」39.8%、「不安な気持ちになる」37.5%、「よく腰がいたくなる」37.5%の順に高くなっている。

大阪市中央区の中央値以上群においては、「よく肩がこる」33.7%、「イライラする」22.2%、「とくに気になるところはない」18.5%の順に高くなっている。

〔大阪市中央区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

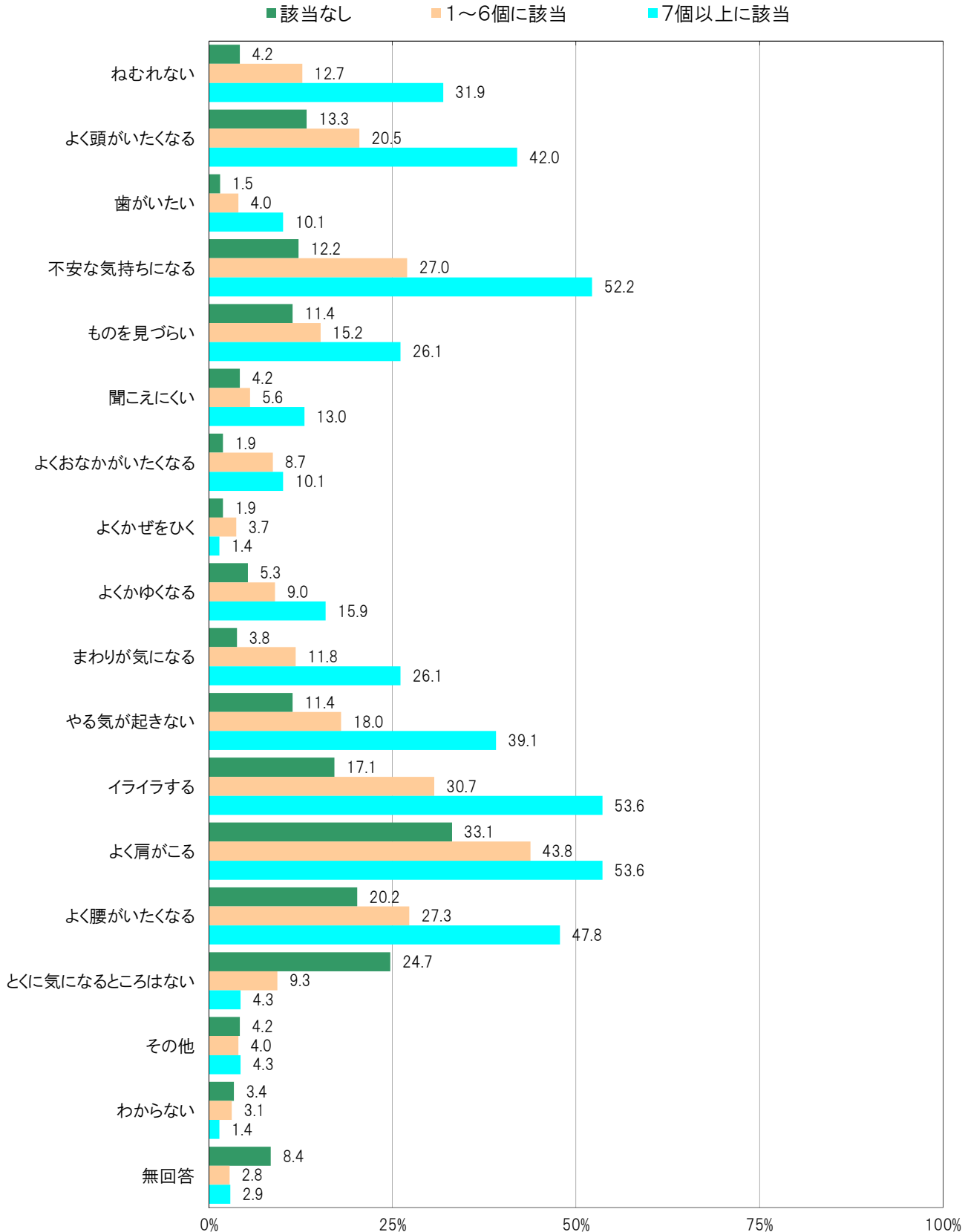


A-249.はく奪指標別にみた自分の体や気持ちについて気になること【保護者 問23】

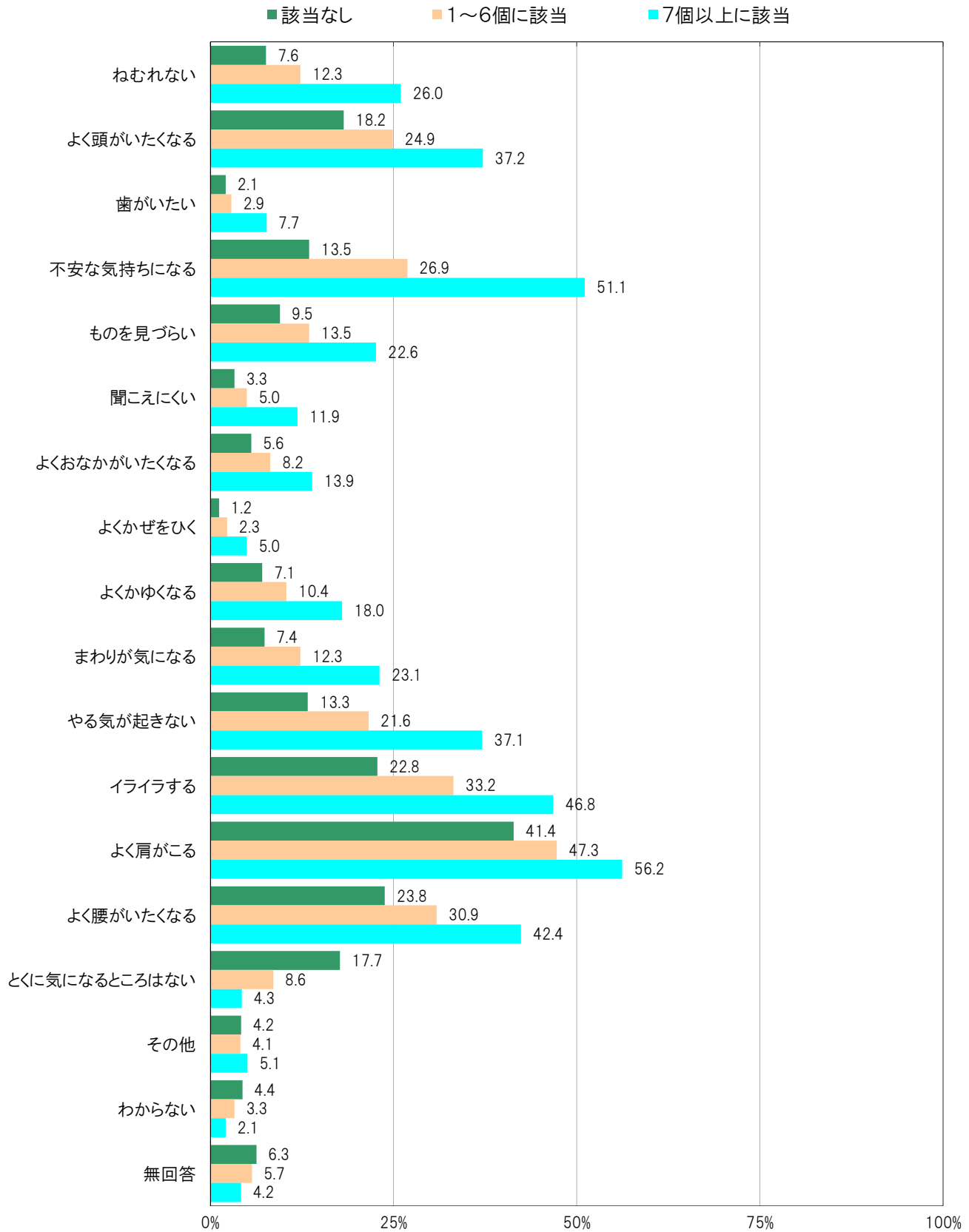
大阪市中央区のはく奪指標／1～6個に該当群においては、「よく肩がこる」43.8%、「イライラする」30.7%、「よく腰がいたくなる」27.3%の順に高くなっている。

大阪市中央区のはく奪指標／該当なし群においては、「よく肩がこる」33.1%、「とくに気になるところはない」24.7%、「よく腰がいたくなる」20.2%の順に高くなっている。

〔大阪市中央区／はく奪指標別〕



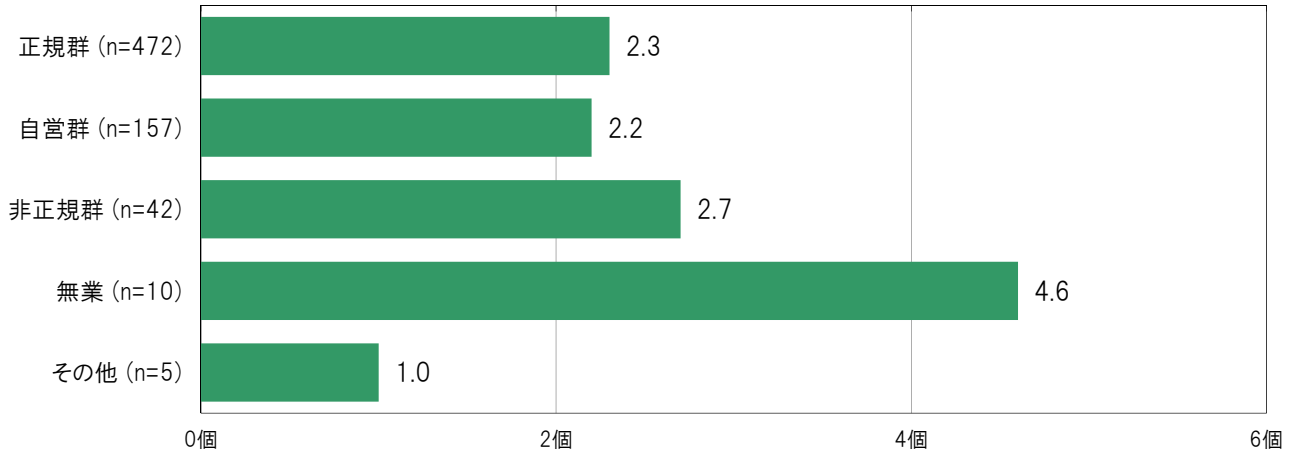
〔大阪市24区／はく奪指標別〕



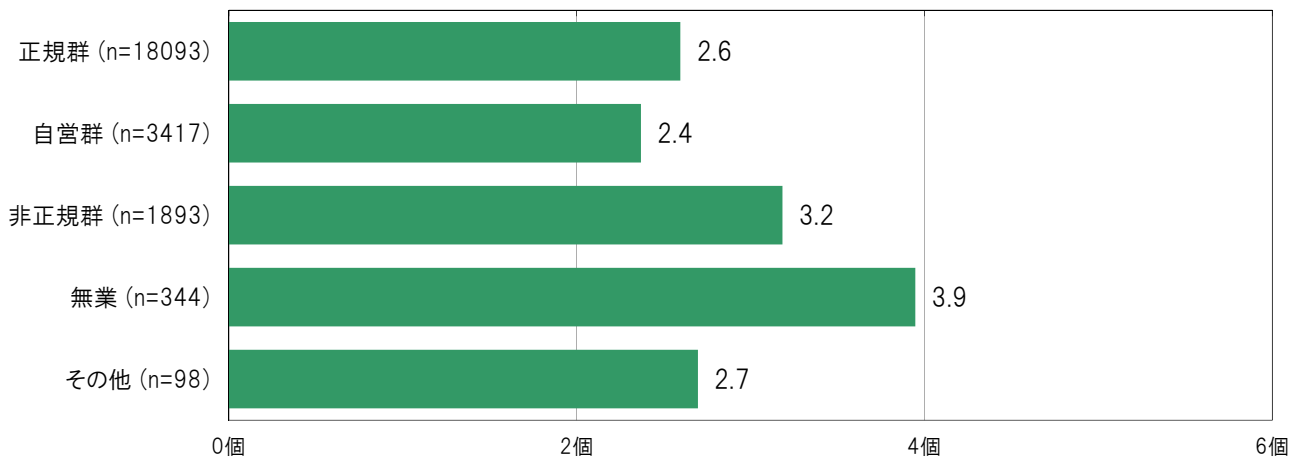
A-250.就労状況別にみた自分の体や気持ちについて気になること／該当数【保護者 問23】

大阪市中央区の就労状況別の該当数平均は、「正規群」2.3個、「自営群」2.2個、「非正規群」2.7個、「無業」4.6個、「その他」1.0個となっている。

〔大阪市中央区／就労状況別〕



〔大阪市24区／就労状況別〕

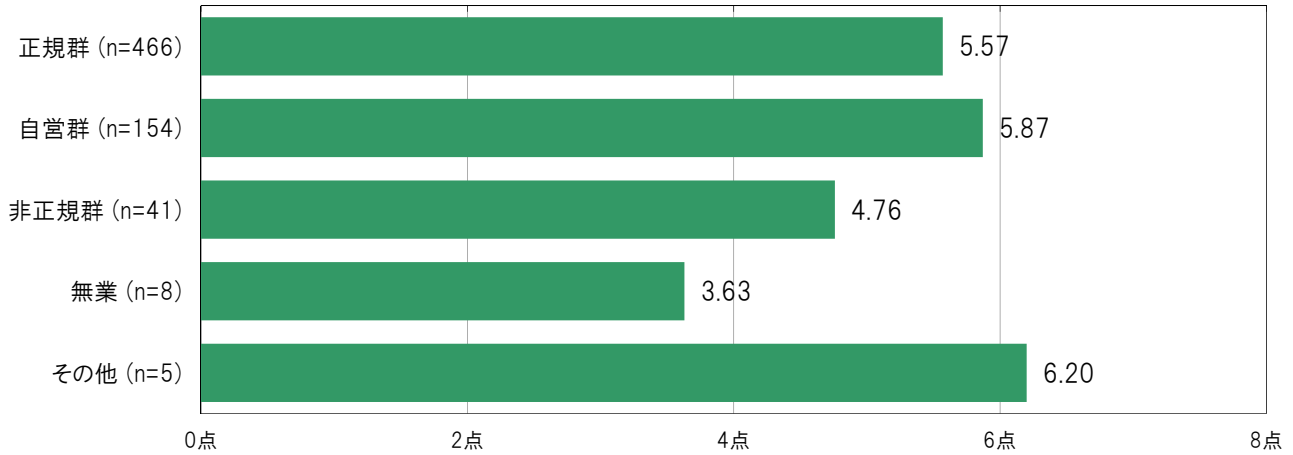


A-251.就労状況別 支えてくれる人／①～⑦の合計点【保護者 問19①～⑦】

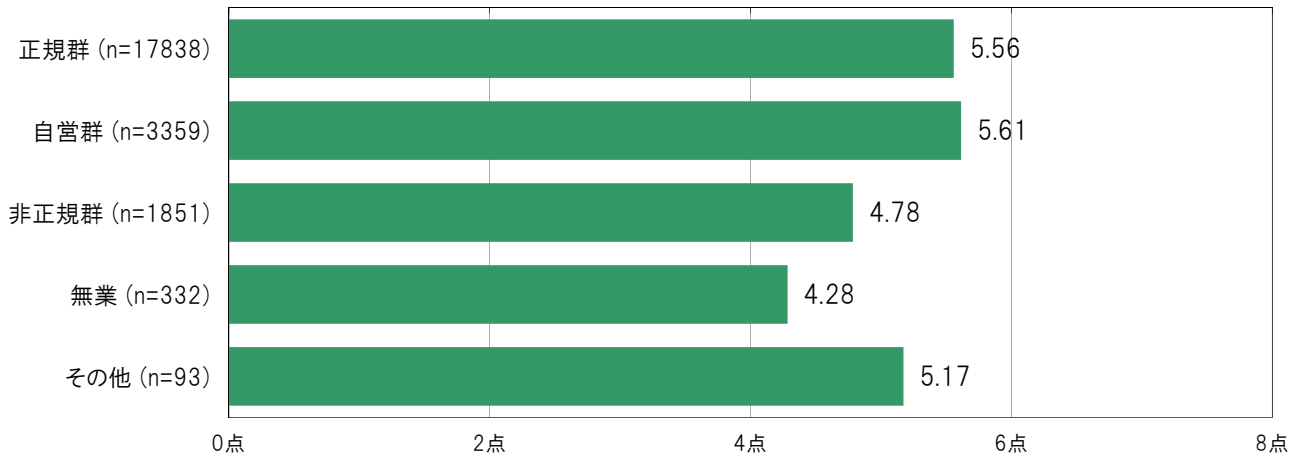
大阪市中央区の就労状況別の加重得点平均は、「正規群」5.57点、「自営群」5.87点、「非正規群」4.76点、「無業」3.63点、「その他」6.20点となっている。

※加重得点「いる」= 1点、「いない」= 0点

〔大阪市中央区／就労状況別〕



〔大阪市24区／就労状況別〕



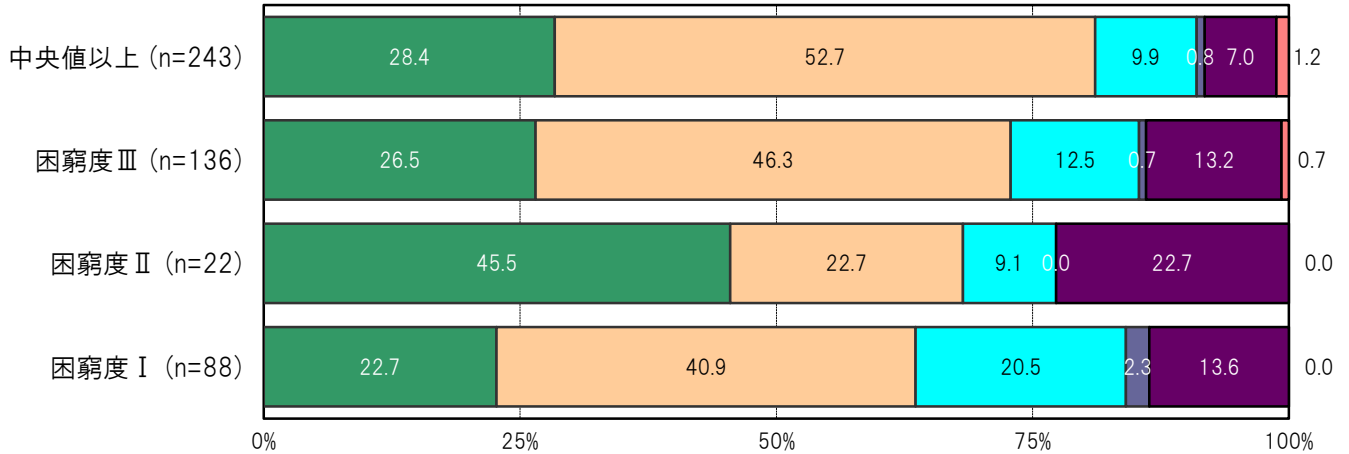
A-252.困窮度別 生活を楽しんでいるか【保護者 問22(1)】

大阪市中央区の困窮度Ⅰ群においては、「とても楽しんでいる」22.7%、「楽しんでいる」40.9%、「あまり楽しんでいない」20.5%、「楽しんでいない」2.3%、「わからない」13.6%となっている。

大阪市中央区の中央値以上群においては、「とても楽しんでいる」28.4%、「楽しんでいる」52.7%、「あまり楽しんでいない」9.9%、「楽しんでいない」0.8%、「わからない」7.0%となっている。

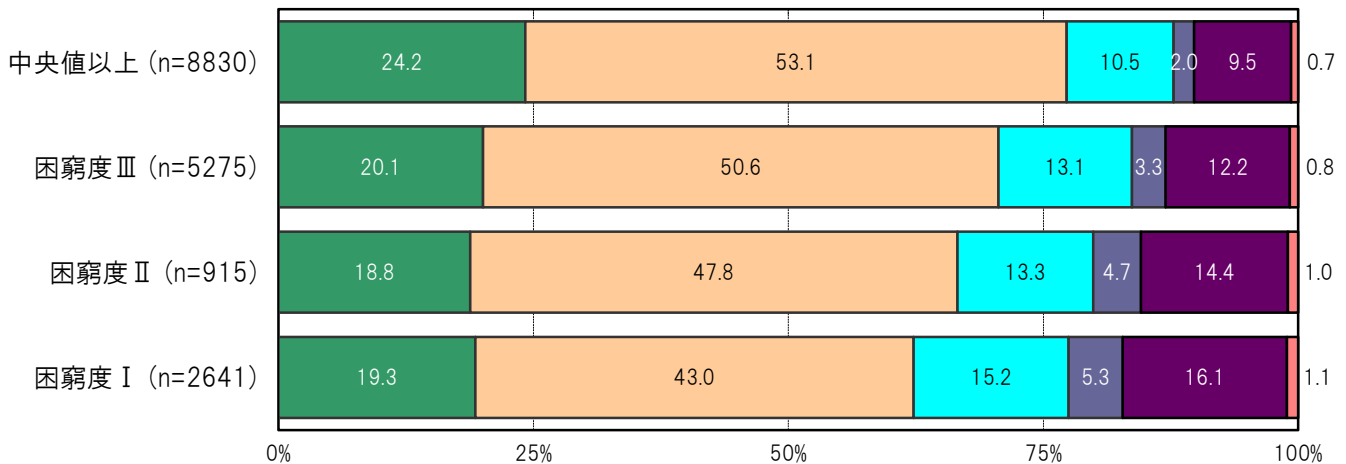
〔大阪市中央区／困窮度別〕

■とても楽しんでいる ■楽しんでいる ■あまり楽しんでいない ■楽しんでいない ■わからない ■無回答



〔大阪市24区／困窮度別〕

■とても楽しんでいる ■楽しんでいる ■あまり楽しんでいない ■楽しんでいない ■わからない ■無回答

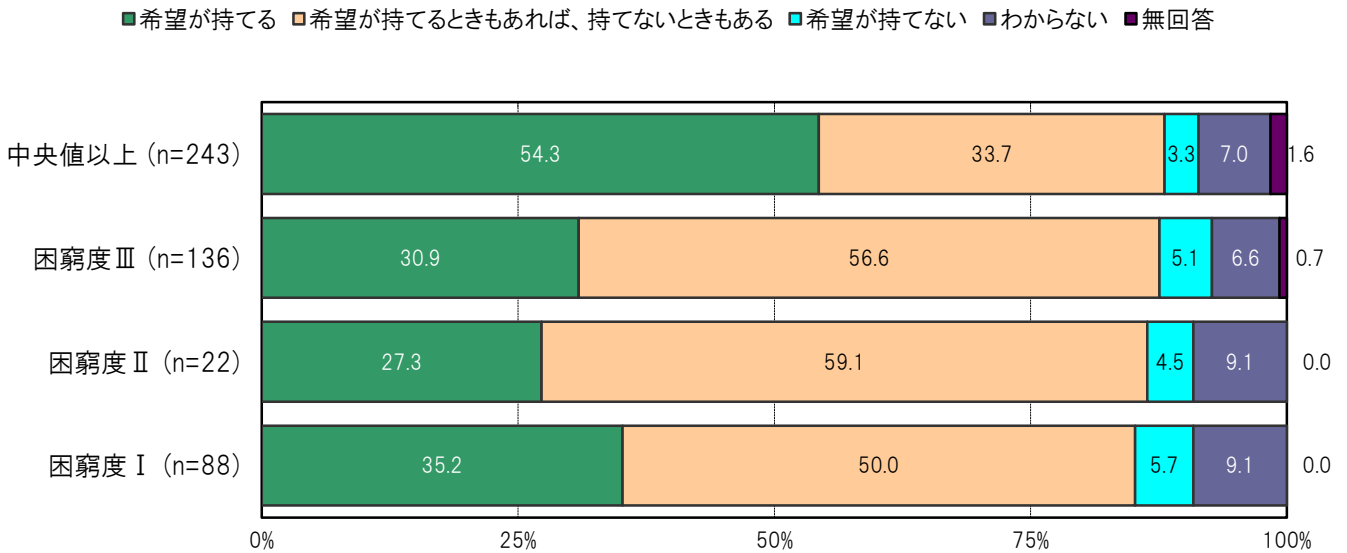


A-253.困窮度別 将来に対する希望【保護者 問22(2)】

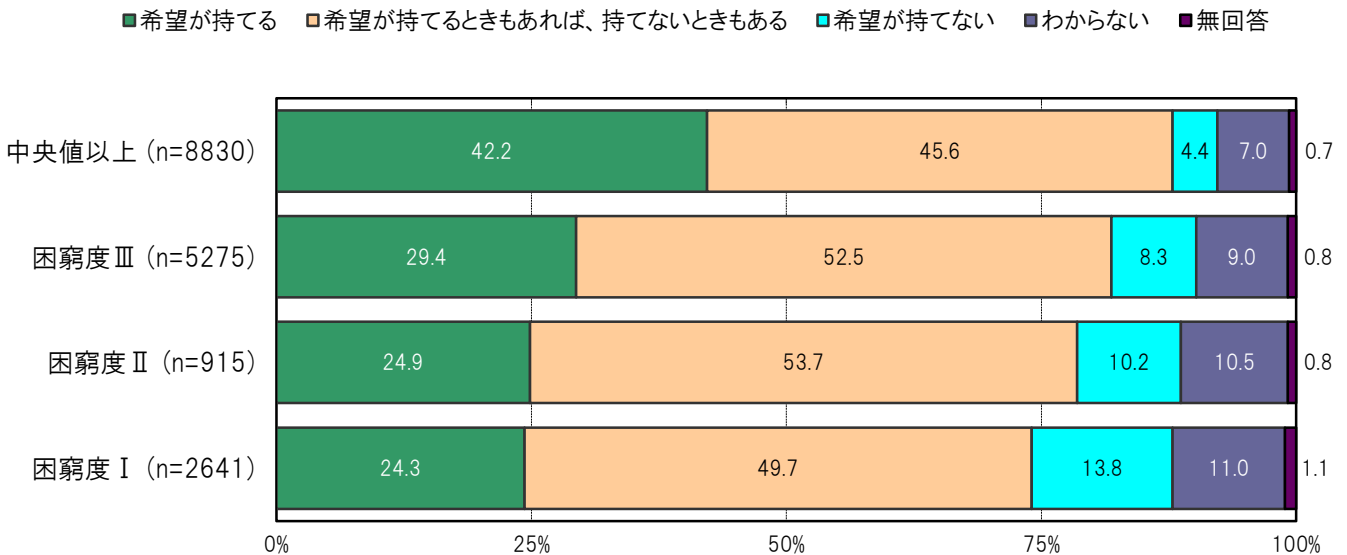
大阪市中央区の困窮度Ⅰ群においては、「希望が持てる」35.2%、「希望が持てるときもあれば、持てないときもある」50.0%、「希望が持てない」5.7%、「わからない」9.1%となっている。

大阪市中央区の中央値以上群においては、「希望が持てる」54.3%、「希望が持てるときもあれば、持てないときもある」33.7%、「希望が持てない」3.3%、「わからない」7.0%となっている。

〔大阪市中央区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

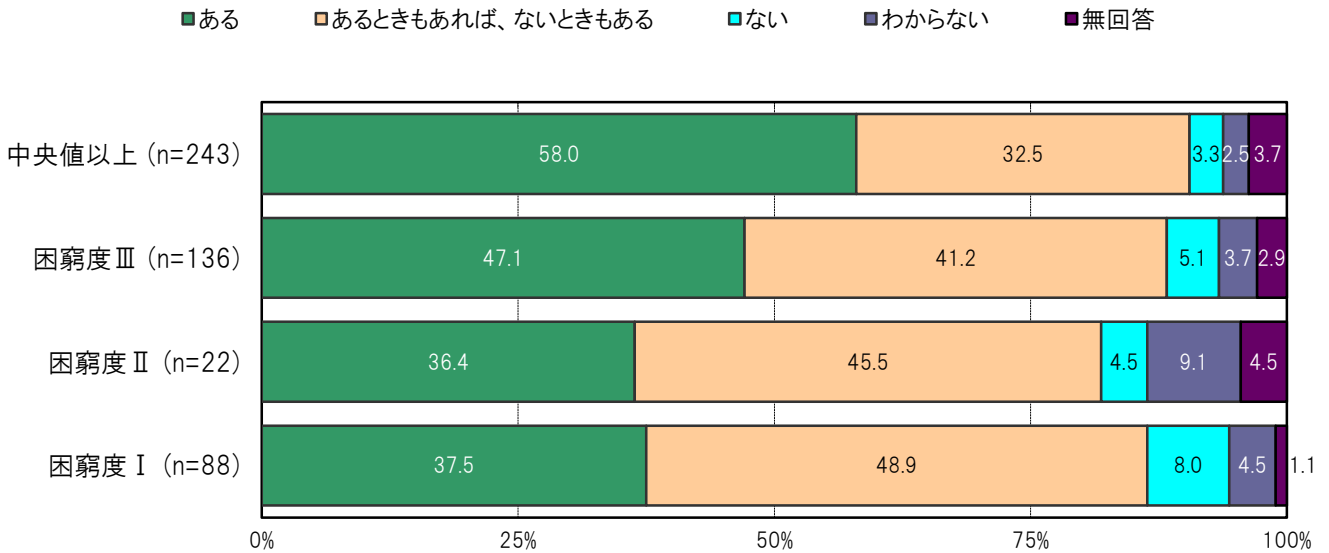


A-254. 困窮度別 ストレスを発散できるもの【保護者 問22(3)】

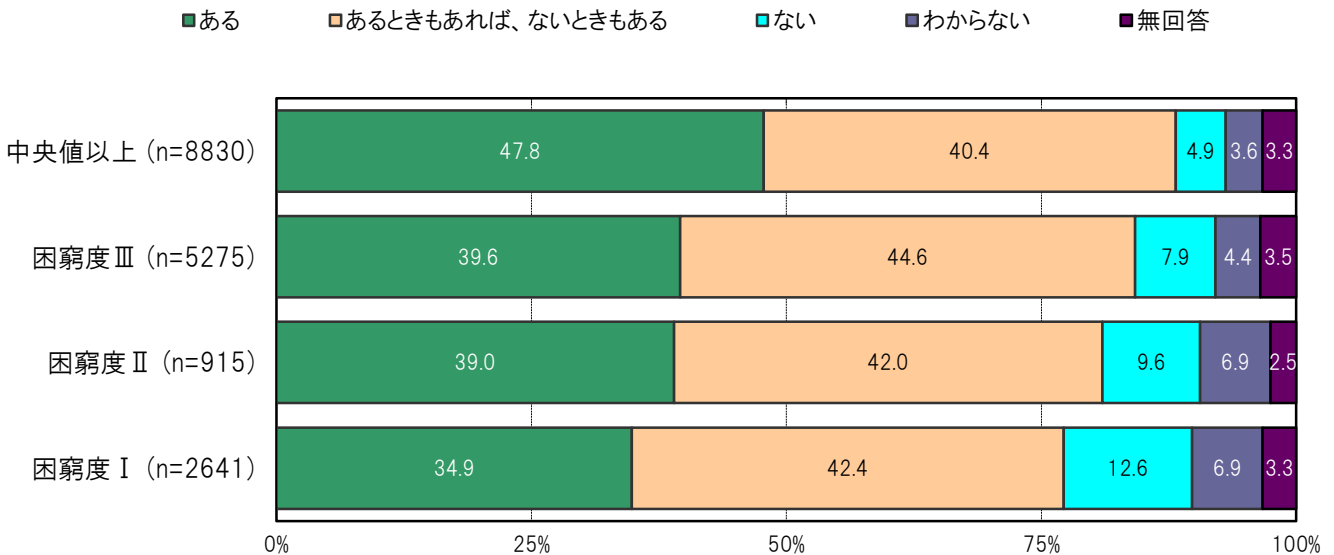
大阪市中央区の困窮度Ⅰ群においては、「ある」37.5%、「あるときもあれば、ないときもある」48.9%、「ない」8.0%、「わからない」4.5%となっている。

大阪市中央区の中央値以上群においては、「ある」58.0%、「あるときもあれば、ないときもある」32.5%、「ない」3.3%、「わからない」2.5%、「わからない」2.5%、となっている。

〔大阪市中央区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕



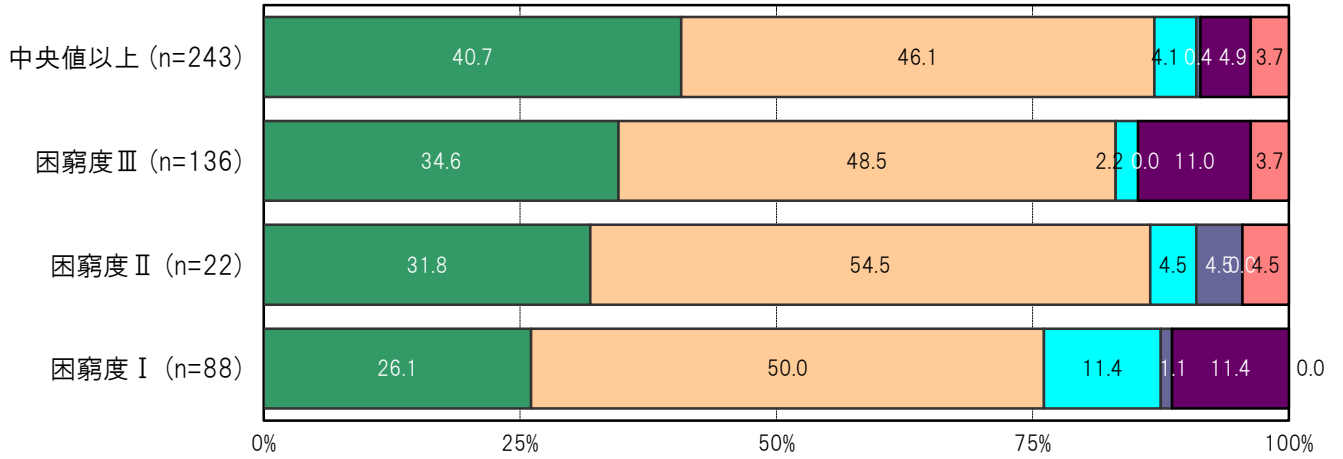
A-255.困窮度別 自分が幸せと思うか【保護者 問22(4)】

大阪市中央区の困窮度Ⅰ群においては、「とても幸せだと思う」26.1%、「幸せだと思う」50.0%、「あまり幸せだと思わない」11.4%、「幸せだと思わない」1.1%、「わからない」11.4%となっている。

大阪市中央区の中央値以上群においては、「とても幸せだと思う」40.7%、「幸せだと思う」46.1%、「あまり幸せだと思わない」4.1%、「幸せだと思わない」0.4%、「わからない」4.9%となっている。

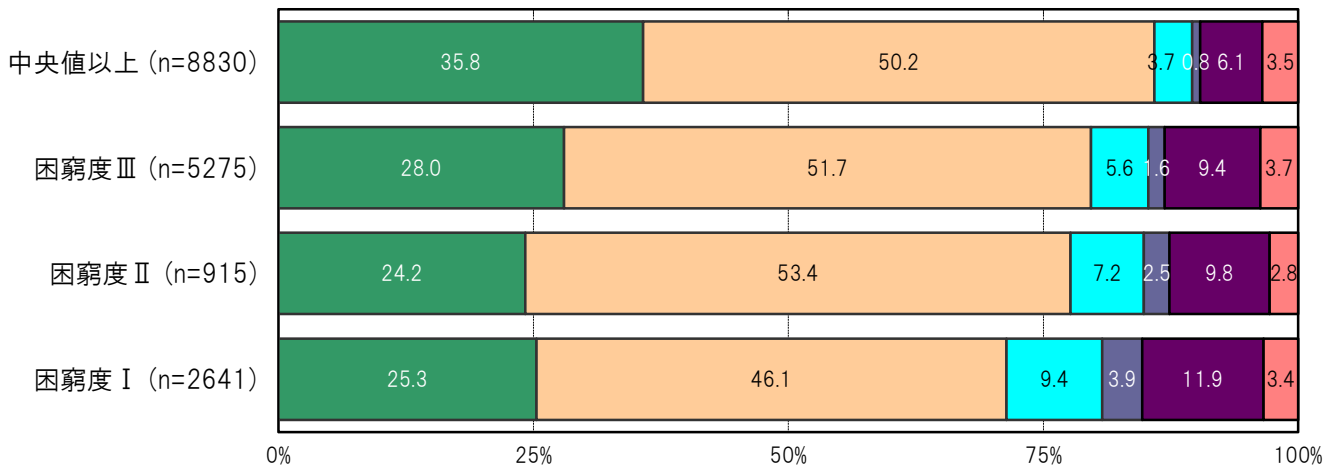
〔大阪市中央区／困窮度別〕

■とても幸せだと思う ■幸せだと思う ■あまり幸せだと思わない ■幸せだと思わない ■わからない ■無回答



〔大阪市24区／困窮度別〕

■とても幸せだと思う ■幸せだと思う ■あまり幸せだと思わない ■幸せだと思わない ■わからない ■無回答



【健康に関する考察】

まず、困窮度別に生活習慣と健康状態について、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目して述べる。朝食の頻度では、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「毎日、またはほとんど毎日」（90.3%対76.7%）が13.6ポイント高くなっている。「家族と一緒に朝食を食べる」が「ほとんど毎日」（55.7%対38.4%）で17.3ポイント高くなっている。子どもの自覚症状では、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「よくおなかがいたくなる」（25.6%対17.7%）が7.9ポイント高くなっている。中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「とくに気になるところはない」（36.7%対31.4%）が5.3ポイント高くなっている。子どもの心の状態では、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「やろうと思ったことがうまくできる」が「そんなことはない」（19.8%対14.8%）が5.0ポイント、「まわりが気になる」が「いつもそうだ」（22.1%対14.8%）が7.3ポイント、「イライラする」が「いつもそうだ」（12.8%対5.9%）が6.9ポイント高くなっている。保護者の自覚症状では、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「ねむれない」（26.1%対6.6%）「不安な気持ちになる」（37.5%対16.9%）「よく腰がいたくなる」（37.5%対16.9%）がいずれも約20ポイント、「よく頭がいたくなる」（23.9%対14.0%）「イライラする」（31.8%対22.2%）では約10ポイント高くなっている。「まわりが気になる」（13.6%対5.8%）が7.8ポイント、「よく肩がこる」（39.8%対33.7%）が5.9ポイント、「よくかゆくなる」（12.5%対7.0%）が5.5ポイント高くなっている。また、保護者の心の状態を見ると、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、将来に対して「希望が持てる」（54.3%対35.2%）が19.1ポイント、ストレスを発散できるものが「ある」（58.0%対37.5%）が20.5ポイント、自分が「とても幸せだと思う」（40.7%対26.1%）が14.6ポイント高くなっている。

次に、経済的な理由による経験の該当数を見ると、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、世帯関連および子ども関連の経験個数とも平均値が高くなっている。経験個数が増えるにしたがって、子どもは「楽しみにしていることがたくさんある」「元気いっぱい」「やろうと思ったことがうまくできる」がそれぞれ「いつもそうだ」の割合が低くなる傾向にある。また、「一人ぼっちのような気がする」「まわりが気になる」「やる気が起きない」「いらいらする」でそれぞれ「いつもそうだ」の割合が高くなる傾向にある。自覚症状では、個数が増えるにしたがって子どもは「よく頭がいたくなる」「よくおなかがいたくなる」「よくかゆくなる」の割合が高くなる傾向にある。保護者では「ねむれない」「よく頭がいたくなる」「不安な気持ちになる」「まわりが気になる」「やる気が起きない」「いらいらする」「よく肩がこる」「よく腰がいたくなる」の割合が高くなる傾向にある。これらの結果から、経済的に困難な家庭の子どもは、朝食を毎日摂取していない傾向にあった。さらに、よくおなかがいたくなる、まわりが気になる、やろうと思ったことがうまくできない、いらいらするなど、心身の不調がみられた。保護者では、ねむれない、不安な気持ちになる、いらいらするなどのメンタルヘルスに影響が出ている可能性がある。くわえて、よく頭が痛くなる、腰痛、肩こりが多く、心身の休養が不十分である可能性がうかがえる。一方で経済的に困難のない家庭の保護者は、ストレス発散ができていたり、幸せだと思ったりするなど、望ましい状態で過ごせていることが示唆される。

続いて、食習慣別の親子関係や健康状態に着目する。子どもの朝食の頻度別に見ると、朝食を「毎日、またはほとんど毎日」食べている群では、「食べない」群と比べ、子どもを「とても信頼している」（60.4%対46.2%）が14.2ポイント、子どもと会話を「よくする」（74.6%対61.5%）が13.1ポイント、子どもの将来に「とても期待している」（32.5%対15.4%）が17.1ポイント高くなっている。また、「食べない」群では「毎日、またはほとんど毎日」食べている群に比べ、平日に子どもと関わる時間が「15分未満」（7.7%対2.0%）が5.7ポイント高くなっている。子どもでは、「自分の考えをはっきり相手に伝えられる」ことが「できない」（28.6%対5.4%）が23.2ポイント、「自分に自信がない」（28.6%対8.9%）が19.7ポイント、「自分の将来の夢や目標を持っていない」（28.6%対10.5%）が18.1ポイント高くなっている。子どもの自己効力感では、朝食を「毎日、またはほとんど毎日」食べている群では、「食べない」群と比べ、合計得点の平均が1点以上高くなっている。学校が休みの日の昼食を「必ず食べる」群でも「食べない」群と比べ、合計得点の平均が1.77ポイント高くなっている。これらの結果から、ほぼ毎日規則正しく朝食・昼食を摂っている家庭では、保護者と子どもの関係が良好であり、子どもの自己効力感も高い可能性が示唆される。

さらに、保護者の就業状況別の生活習慣や健康状態を見てみる。就業状況別の子どもの朝食の頻度では、「毎日、またはほとんど毎日食べる」が「正規群」（87.7%）「自営群」（86.6%）で高く、「非正規群」（72.5%）「無業」（70.0%）において低かった。保護者の健康状態では、「無業」では「自分の体や気持ちについて気になる」ことの個数が、最も多かった。また、

「正規群」「自営群」「非正規群」は「無業」に比べ「心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人」「気持ちを察して思いやってくれる人」「趣味や関心事を話して、気分転換させてくれる人」「おこさんとの関わりについて適切な助言をくれる人」「おこさんの学びや遊びを豊かにする情報をくれる人」「おこさんの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人」「留守を頼める人」の平均点が高い傾向にある。

これらの結果から、保護者が正規の就労や自営業の場合は、非正規や無業より子どもの朝食摂取の頻度が高くなっており、保護者の健康状態では、無業で自覚症状が多いことがうかがえる。さらに、無業の場合はソーシャルサポートが得られにくいことが示唆される。